

日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告について

1 報告事業所数 54事業所 19市

2 独自に質問項目を追加している市 8市

八千代市、鎌ヶ谷市、市川市、松戸市、野田市、佐倉市、四街道市、香取市

○報告事業所一覧

No	市町村	事業所名	新規	助言・要望	ページ数
1	習志野市	車椅子特化型 障害者グループホームカイト 実靱		○	3
2	八千代市	ソーシャルインクルーホーム八千代村上		○	4
3	八千代市	クライスハイム八千代米本事業所	○	○	7
4	八千代市	グループホームイノベル八千代島田台		○	9
5	鎌ヶ谷市	ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富		○	12
6	鎌ヶ谷市	秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷		○	14
7	鎌ヶ谷市	HALAKURA鎌ヶ谷	○	○	16
8	市川市	Beans本八幡		○	18
9	市川市	リボングループホーム市川日中支援		○	20
10	市川市	ふくしの村日中支援型障がい者グループホーム市川奉免町	○	○	22
11	市川市	スターハウスプレミア市川大野	○	○	24
12	浦安市	ふる里学舎浦安			26
13	松戸市	あおば		○	27
14	松戸市	ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀		○	31
15	松戸市	グループホームイノベル松戸		○	36
16	松戸市	しんわ松戸		○	40
17	松戸市	バンビのおうち・いずみ		○	44
18	松戸市	サニースポット松戸上本郷	○	○	47
19	松戸市	障がい者グループホームなでしこ	○	○	50
20	野田市	パートナーガーデン愛宕		○	54
21	野田市	ソーシャルインクルーホーム野田上花輪		○	56
22	野田市	ソーシャルインクルーホーム野田尾崎		○	58
23	野田市	AMANERU野田中里		○	60
24	野田市	グループホームイノベル野田上花輪		○	63
25	野田市	グループホームイノベル野田尾崎		○	65
26	野田市	グループホームほっと		○	67
27	野田市	ハーモニーホーム		○	69
28	成田市	ソーシャルインクルーホーム成田本三里塚		○	71
29	成田市	ドットホーム 成田（医療対応型障がい者グループホーム）	○	○	73
30	成田市	グループホームABC	○	○	74
31	佐倉市	グループホームイノベル佐倉		○	76
32	四街道市	グループホームイノベル四街道		○	78
33	四街道市	日中サービス支援型障がい者グループホーム リビットホーム四街道		○	80
34	四街道市	はにかむ		○	82
35	八街市	ハナミズキ		○	84
36	八街市	ソーシャルインクルーホーム八街		○	86
37	香取市	ソーシャルインクルーホーム香取阿玉川	○	○	89
38	東金市	グループホームイノベル東金		○	91
39	大網白里市	クロワール			92
40	茂原市	アミーゴプラス		○	94
41	木更津市	グループホームイノベル桜井新町		○	95
42	木更津市	グループホームイノベル木更津貝渕		○	97
43	木更津市	オーシャンテラス		○	98
44	木更津市	万石の家		○	100
45	君津市	Ka-Fu			101
46	君津市	グループホームイノベル君津外箕輪		○	102
47	袖ヶ浦市	AMANERU袖ヶ浦横田	○		103
48	袖ヶ浦市	大久保学園代宿第二グループホーム			104
49	袖ヶ浦市	サエラ蔵波			105

No	市町村	事業所名	新規	助言・要望	ページ数
50	袖ヶ浦市	ひまわり	○		106
51	市原市	磯ヶ谷ボルトチャンス		○	107
52	市原市	第2クローバー学園オハナ館		○	108
53	市原市	グループホームふわふわ市原菊間		○	110
54	市原市	ドットホーム市原（医療対応型障がい者グループホーム）	○	○	112

※個人情報等は非公表としています。

報告・評価シート

事業所名	車椅子特化型 障害者グループホームカイト 実務	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主になどのような日中サービスを提供しているか。	【要望】
	食事提供・排泄介助・服薬管理・洗濯・対人支援	・利用者の主体性を尊重している印象がありますが、利用者のニーズが可視化されるアンケートを実施してください。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	・GHの魅力は利用者同士の刺激等が成長につながるので、利用者同士の接点や交流の機会が増えるように検討してください。
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 4 人	・湯煎のみの食事では味気なく、栄養も心配なので、日中活動の一つとして手作りやデリバリー等を取り入れてください。
	就労B型・生活介護	【助言】
		・利用者の日中サービスの要望をヒアリングし、個別支援計画に反映させてください。
		【評価】
		・物価高騰でも食費等を値上げせずに現状維持されていることは利用者にとってありがたいです。
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	【要望】
	タブレット視聴や季節毎の飾りつけと一緒に手伝いをしてもらったりしています。又、利用者様とコミュニケーションを取りながら、買い物をする中でADL面も含めご自身で対応出来ない事を行っています。(袋詰め・商品をカゴに入れる所へ支払い迄)	・GHが主体となって疾病予防や体力維持向上の取り組みをしてください。
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。	・余暇活動（お花見、流しそうめん、お月見、紅葉見学等）を充実させてください。
	市や病院から入居への相談があり最初は2泊3日で体験を行って頂き、その後に1週間の体験を得て、双方同意の元、本利用に至っています。	【助言】
	市・病院・相談支援員	・外出機会があるとよいです。
		・買い物支援を続けてください。
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	【助言】
	各利用者様、日中帯や、土日の過ごし方はそれぞれですが、GH側としては利用者様のニーズに合わせて確保しています。	・24時間365日の人員配置は大変ですが、切れ目ない支援をしてください。
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	・土日の支援が薄くなった時に、ボランティアの活用（近隣の大学等）は有効です。
	ご家族様との定期的な情報共有や、日中活動先との情報交換も定期的に行っています。	【評価】
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	・法人として他にもグループホームや重度訪問介護、居宅介護等がありサポート体制は整っています。
	受け入れ人数	実 習 生： 人
	未定	ボランティア： 人
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	【要望】
	月に2～3名	・「ならとも拠点システム」への登録をお願いします。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	・緊急、一時的な支援等の受け入れを充実させてください。
	無し(緊急時の受け入れ対応はまだありません。)	【助言】
		・短期入所は貴重な地域資源のため、今後も積極的な利用を進めてください。
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	月に数回利用者様の連絡や情報交換のやり取りを行っています。	【助言】
		・相談支援事業者によるGH内でのモニタリングやケア会議開催等、必要に応じて協力してください。
7 その他		・定期的な情報共有を行って、アセスメントをしっかりと行ってください。
		【要望】
		・避難訓練は年2回以上実施してください。
	【助言】	
	・火災発生時の避難は体制も含めて心配されるところなので、避難訓練の検証の下、利用者の安全の確保に尽力してください。	
	【評価】	
	・車椅子対応のGHが市内にできたことはうれしいです。設備は充実していて使いやすいと思いました。	

報告・評価シート

事業所名	ソーシャルインクルーホーム八千代村上		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ・相談及び援助・食事提供・着替え、整容等の介助・活動支援・入浴、排泄、移乗の介助・通院同行、買い物同行、代行・健康管理、薬の管理、金銭管理・入院等に関する支援		【評価】 ・個々に応じたプログラムを作成し、充実した生活を送れるような支援に努めることができていた。引き続き、利用者本人の意向を踏まえ、支援を行っていただきたい。 【助言】 今後、活動内容のマナー化防止や利用者意欲・社会性向上につながるような、季節行事や余暇活動、地域資源の活用を組み合わせたプログラムの実行についても心掛けていただきたい。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 15人		
	・生活介護や就労へ行って頂いている。一部移動支援も利用開始している。		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 （充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入） ・毎月定期レクリエーションの実施事例(誕生日レク、ホーム内パーティー、外食レク) ・ドライブ、散歩、通院、買い物同行		【評価】 ・日常生活の中に外出機会を取り入れるなど、外出や余暇活動の支援に努めることができている。 【要望】 ・季節のお祭りやイベントなどの地域資源の活用も検討していただきたい。 【助言】 ・地域とのつながりを深めるためには、地域行事への参加や地域団体との協働、ボランティアとの交流など、小規模でも継続的に交流の場を設け、利用者が地域社会とのつながりを実感できるような活動へと発展させていくことが望ましい。
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 ・見学、体験対応 ・短期入所の受け入れ ・空きがない場合の対応時は近隣ホームへ誘導		【要望】 ・若年層（中学生・高校生）の体験利用も推進していただきたい。
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか （同性介助の体制確保ができているかについても記入） 配置基準は達成している。 夜勤帯の加配加算を取得している為、当日欠勤が出てしまうと人員の確保が保てない日が何日かある。 また、同性介助に関しては、男性職員8名、女性職員17名での運営となっている。		【評価】 ・昨年度より人員が増員している。同性介助の体制確保と充実に向けて、引き続き取り組んでいただきたい。
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・コロナウィルスの流行もあり、自粛していたが、緩和している中で、現在管理者、サビ管でボランティア活動や会議、研修などに積極的に参加をさせて頂いている段階。 次のステップとして、ご利用者様が地域交流に向けて進めていきたいと考えている。 また、今年度から地域推進会議を実施し、地域住民との交流に繋げていきたい。		【助言】 ・地域交流として、避難訓練や清掃活動への参加を検討してみてはどうか。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		【要望】 ボランティアや実習生の受け入れについて、積極的に取り組んでいただきたい。 【助言】 ・地域内の中学校の職場体験などの受け入れを検討してみてはどうか。
	受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 0人	
	現状なし		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・現在満室稼働で、お問い合わせを頂いたケースは重度でも100%受け入れをしている。直近で短期入所稼働率は、千葉県内ソーシャルインクルーホーム内(全22ホーム)で県内1番の利用頻度の位置づけとなっている。	【評価】 ・重度障害の方を含め、積極的な受け入れを実施していただいている。今後も引き続き積極的な受け入れを継続していただきたい。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 (緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数、人数等も記入) ・緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数0件事案なし	【要望】 ・今後も緊急時に安心して利用できる受け入れ体制をお願いしたい。
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・定期的な連絡、相談、報告を実施 ・モニタリング時に同席や必要に応じて担当者会議の実施	【要望】 ・今後も継続して関係機関との情報共有や連携等を行っていただきたい。
7 利用者のニーズの把握について	・年3回のモニタリングの実施 ・都度相談、及び援助	【要望】 ・個々のニーズに応じた対応、個々の意思を尊重した対応をお願いしたい。 ・厚労省HPに掲載されている意思決定支援ガイドラインを改めて確認いただき、支援を継続していただきたい。 (参考URL) https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000307504.pdf 【助言】 ・職員間のモニタリング結果の共有や、家族や医療機関からの情報の積極的な取り入れにより、さらなる利用者ニーズの把握等につなげていくことができる。
8 支援困難事例について	・精神の方で支援拒否の方に対してどこまで踏み込んで良いか、主に服薬拒否や入浴拒否。 ・身体の方でADL面が低下し、医療的ケアが必要な方の場合どこを判断基準としたら良いか ・知的の方でルーティーンやこだわりが強い方に対し、どう工夫していく事が望ましいか	【評価】 ・障害種別ごとに課題を整理・共有することができている。今後も継続していただきたい。 【助言】 ・さまざまな障害種別に対応するため、身体・知的・精神のそれぞれにエキスパートとなる職員を育成してはかがか。
9 事故への対応について	・管理者にて対応 ・管理者で対応が困難な事案はエリアマネージャーにて対応	【要望】 ・近年の医師の働き方改革等の影響で、夜間の救急受け入れ先が見つからないできないケースも増えてきていることから、日頃よりかかりつけ医とのより緊密な連携に努めていただきたい。 【助言】 ・夜間の緊急対応について、フローやマニュアル等を職員間で周知し、訓練や事例検討を通じて、より実行性を高めていけるよう努めていただきたい。
10 苦情解決の取り組み状況	・管理者にて対応 ・管理者で対応が困難な事案はエリアマネージャーにて対応	【評価】 ・苦情相談について記録を残し、迅速な対応等を心掛けることができている。 【要望】 ・苦情を言葉で表現することが難しい利用者について、普段の様子から汲み取り対応できるよう努めていただきたい。 ・苦情を把握するための取り組みについても、検討の上、実施していただきたい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業員の資格取得 状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。 （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入） 管理者経験約6ヶ月、強度行動障害支援者養成研修基礎、実践取得。</p>	<p>【評価】 管理者やサービス管理責任者が強度行動障害支援者養成研修を受講しているなど、専門的知識の取得に努めることができてい る。引き続き、各種研修の受講等を通じて支援スキルの研鑽に 励んでいただきたい。</p>
	<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入） 障害福祉分野にて経験は約6年、サビ管講習、強度行動障害支援者養成研修基礎、実践取得。</p>	
	<p>・支援スキルの高い従業員を置いているか。 （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入） ・実務経験は3年以上、初任者研修取得、新規採用者の受け入れからOJTと人材育成に注力しております。</p>	
12 その他		

報告・評価シート

事業所名	クライスハイム八千代米本事業所		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 日中活動先といたしましては、主にB型作業所へ行かれております。 日中活動が困難な利用者様には、出来る範囲で福祉サービス(移動支援・同行支援等)を利用してもらう方向とは別にホーム内におかれましては傾聴、散歩、訪問看護等に入ってもらい日常生活の困りごと等の対応を行っております。		【要望】 ・個々に応じたプログラムを作成し、充実した生活を送れるような支援をお願いしたい。また、地域資源を活用しながら日中活動の充実を図っていただきたい。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 6人		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 (充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入) 外出が困難である利用者様の買物支援、筋力低下の利用者様へは近隣の散歩の支援を行っております。		【要望】 ・地域ボランティアや地域のイベント等の地域資源を活用するなど、外出や余暇活動の支援について、さらなる充実に努めていただきたい。
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 体験利用は、地域支援拠点等の整備における1つである為、積極的な受け入れを行っております。		【助言】 ・ホットプレートを利用した簡単な調理など、利用者の方々でも気軽に参加できるレクリエーションを企画してみてもどうか。
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (同性介助の体制確保ができていないかについても記入) 人員配置において、基準を満たしていない為速やかに対応したい。通院時等職員が不在になる為今後どのように対応する事が望ましいか検討の余地あり。 同性介助については、ご本人様やご家族様に状況を説明したうえで了承を頂いている方のみ現状問題なく行えている。		【要望】 ・人員体制の充実及び同性介助の体制確保のため、人員確保に努めていただきたい。また、応援体制の構築や勤務体制の見直しなど、支援の質を落とさないための取り組みについて検討いただきたい。 ・個人の尊厳を考慮すると男女が同じフロアに住むことは望ましくないため、男女が別のフロアになるよう早急に対応いただきたい。
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、地域連携推進会議の開催が、努力義務化から義務化されたため、ボランティアを含め、地域との交流を図ることにより、サービスや支援の質の向上に努めたい。		【要望】 ・利用者の方々と交えての地域交流の機会確保等に向けて努めていただきたい。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		【助言】 ・地域交流の一環として、避難訓練や清掃活動への参加を検討してみてもどうか。
	受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 0人	【要望】 ・ボランティアや実習生の受け入れについて、積極的に取り組んでいただきたい。
	ご要望やご希望が有りましたら、出来る範囲で積極的に対応したい。		【助言】 ・市内地域の中学校・高等学校の職場体験の受け入れ等について検討してみてもどうか。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 短期入所は、地域生活支援の拠点等の整備における5つの機能の1つであるため積極的な受け入れを行っていききたい。 ご家族のレスパイトや、一時的な受け入れについても対応を行っていききたい。	【要望】 ・若年者（中学生・高校生）含め、短期入所の受け入れ体制を整え、積極的な受け入れに努めていただきたい。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 （緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数、人数等も記入） 現時点では緊急案件はございません。	【要望】 ・緊急時に安心して利用できる受け入れ体制の確保に努めていただきたい。 ・八千代市地域生活支援拠点等事業への登録についても検討いただきたい。
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	利用者様の社会生活の自立を促進する事が出来る様に相談事業所、障害福祉サービス事業所等と連携を図りながら支援していききたい。	【要望】 ・関係機関との情報共有や連携等を行い、支援に努めていただきたい。
7 利用者のニーズの把握について	把握は出来ているが、買物支援、通院支援、役所手続き等の希望する声が上がっているが、1人の支援者がつききりになる為、移動支援を検討するも援護地が市外の為利用が難しい等課題が多い。	【要望】 ・個々のニーズに応じた対応、個々の意思を尊重した対応をお願いしたい。 ・厚労省HPに掲載されている意思決定支援ガイドラインを改めて確認いただき、支援を継続していただきたい。 （参考URL） https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000307504.pdf
8 支援困難事例について		【要望】 事業所内や職員間で、それぞれの障害に沿った支援困難事例の検討を行っていただきたい。
9 事故への対応について	事故発生した場合には、現場から管理者、エリアマネージャーに連絡指示に従って対応を行う。各関係機関への連絡を行う。 原因究明を図った上で対応策を検討し件数の減少、大事故に繋がることがないようにする。	【評価】 ・事故発生時の対応について、フローやマニュアルが明確に定められている。 【要望】 ・近年の医師の働き方改革等の影響で、夜間の救急受け入れ先が見つからないケースも増えてきていることから、日頃よりかかりつけ医ともより緊密な連携に努めていただきたい。
10 苦情解決の取組み状況	施設内に苦情受付、体制については掲示しており、虐待防止委員会は設置済である。 研修は毎月内容が違うが、年間スケジュールにて研修を行っている。	【要望】 苦情受付担当者や苦情解決責任者等の情報について、利用者や利用者家族がわかりやすい場所に掲示する等の工夫をしていただきたい。
11 従業員の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入） 障害支援は10年の経験、実務者研修、介護福祉士、サービス管理責任者基礎研修終了しております。 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ・支援スキルの高い従業者を置いているか。 （必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入） 介護福祉士(常勤) 看護師1名（非常勤） 介護福祉士1名（非常勤）	【要望】 ・各種研修の受講や勉強会等の機会を通じて、支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。
12 その他		

報告・評価シート

事業所名	グループホームイノベル八千代島田台	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ご利用者様の生活に合わせた日常生活支援を行っています。 生活支援・介助全般(起床・身体・入浴・食事・就寝)・通院等介助・買物同行支援・お散歩支援・個別スケジュールの管理、通所との連携・ご要望があった場合金銭管理・各種相談支援、行政手続き支援等・レクリエーション 毎月2回:移動パン販売車のお買物支援 健康管理 ・毎日、朝夕のバイタルチェック・体重測定(毎月) その他 ・往診:内科、歯科、精神科・訪問看護、リハビリ、理美容など	【評価】 ・利用者のニーズに合わせた日中サービスを提供することができている。今後も利用者に合わせてプログラムの計画やマンネリ化しない活動計画の立案に努めていただきたい。 【要望】 ・地域資源を活用しながら日中活動の充実を図っていただきたい。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 13人	
	生活介護や作業所に行かれております。 ・ふる里学舎八千代様・はばたき職業センター様・ゆたか福祉苑様・生活介護ばっそ様・就労継続支援B型ネコバス様"・友愛みどり園様・エスポワール船橋様	
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 (充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入) ・買物同行支援、お散歩支援 ・レクリエーション 毎月2回:移動パン販売車のお買物支援 ・かき氷器を使ったかき氷の提供、ホットプレートを利用した簡単な調理イベントの実施等	【評価】 ・夏にかき氷器を使ってかき氷の提供したり、月1回のホットプレートを利用した簡単な調理イベントを実施するなど、昨年度より余暇活動の充実が見受けられた。 【要望】 ・季節のお祭りやイベントなどの地域資源の活用も検討していただきたい。
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 将来的にグループホームをご利用したい方の見学を実施し、ご説明の上、体験利用を行わせて頂いたりしております。体験期間はご利用者様のニーズにお答えできるよう、一週間から最大50日まで体験を行っています。 体験時の生活内容はご家族様のニーズに合わせた対応を心掛け、集団生活の場の提供を実施しております。 現在までに入居された利用者様は、体験を通して入居されております。入居前提でなくても体験利用可能で、いつでも体験できる準備は行わせて頂いております。 ※直近、6~8月の間で8件ほどの見学がございました。	【評価】 体験的利用について、利用者や家族のニーズに応じて柔軟に対応できるような仕組みづくりができている。 【要望】 ・より安定した人員体制の維持・確保に努めていただきたい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価					
3 支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>(同性介助の体制確保ができているかについても記入)</p> <p>ピオネストに承継されてから面接件数も増え、おかげさまで人員が増えてきております。日中の女性スタッフも増えてきておりますが、まだ少ない感じになります。</p> <p>併せて、現在夜勤で働いているスタッフの方に説明させて頂いたうえで、日中支援に来れる方を募り対応しています。</p> <p>夜勤スタッフについては体制確保しつつありますが、1フロア2名体制が望ましく、求人を待ちながらご利用者の支援に当たっております。</p> <p>日中(土日を含む)</p> <p>1ユニット 2~3名(管理者を含む)</p> <p>夜間専従者</p> <p>1ユニット 1~2名(管理者を含まない)にて支援を行わせて頂いております。</p>	<p>【評価】</p> <p>昨年度より人員が増えており、人員体制が強化されている。</p> <p>【要望】</p> <p>・同性介助の体制確保と人体体制の充実に向けて、引き続き取り組んでいただきたい。</p>					
4 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>・ご家族の訪問に関しましては、ご連絡があればご対応しております。ホームの状況などや質問などを、随時コミュニケーションを取っております。</p> <p>・移動販売によるお買物については、残念ながら先方の移動ルート変更があったため終了となってしまいました。そこで別にパンの移動販売会社がありましたので、そちらを活用させて頂いております。ご利用者様方も楽しみにされております。(特に女性陣)</p> <p>・散歩の時などに地域の方とすれ違う際にご挨拶しております。</p> <p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">受け入れ人数</td><td>実 習 生：</td><td>0人</td></tr> <tr> <td>ボランティア：</td><td>0人</td></tr> </table> <p>実習生やボランティアの方をお受けしていきたいのですが、今現在まで実績がありません。</p> <p>人員不足解消の為に検討していきたいと思っております。</p>	受け入れ人数	実 習 生：	0人	ボランティア：	0人	<p>【評価】</p> <p>・移動販売による買い物が終了となってしまったものの、代わりとしてパンの移動販売を活用し、利用者の楽しみの場を確保することができている。</p> <p>【要望】</p> <p>・地域イベントへの参加や地域ボランティアの招致等、地域住民と交流を図ることができるよう努めていただきたい。</p> <p>【助言】</p> <p>・地域交流として、避難訓練や防災訓練、清掃活動などへの参加も検討してみてもどうか。</p> <p>【要望】</p> <p>・実習生やボランティアの受け入れによって、利用者の生活に活気が出ることもつながるため、積極的に取り組んでいただきたい。</p>
受け入れ人数	実 習 生：		0人				
	ボランティア：	0人					
5 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。</p> <p>・短期入所のお問い合わせが、相談員などから有れば、積極的に受け入れています。</p> <p>ご利用者様から、時折短期入所の利用のご質問を頂く事もございます。その際にもご対応しております。</p> <p>また、八千代市外の方からもお話があればご案内させて頂いております。</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</p> <p>(緊急・一時的な支援等の受け入れ実績件数、人数等も記入)</p> <p>2025年1月以降で起きた案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さまのレスパイトによりご利用 1件 ・お母さまの体調不良によるご利用 1件 	<p>【要望】</p> <p>・引き続き積極的に短期入所の受け入れをしていただきたい。</p> <p>【要望】</p> <p>・児童の受け入れ含め、今後も緊急時に安心して利用できる受け入れ体制をお願いしたい。</p>					
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>・相談支援事業者様とは、情報共有や交換を行いながら交流を図っております。グループホームや短期入所のご案内など頂いております。</p> <p>・他のサービス事業所やリハビリ、訪問看護、往診医の方との連携を取り相談・助言などを頂いております。</p>	<p>【要望】</p> <p>引き続き、関係機関との情報共有や連携等を行っていただきたい。</p>					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 利用者のニーズの把握について	<p>精神障害のご利用者様について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、ご本人、精神科医、相談支援員の方々と話し合いを行い目標に向かって進めております。 ・訪問診療以外の近隣の精神科の利用をご家族の同意の元で増やしております。 <p>知的障害のご利用者様について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加をして頂くために、買物や散歩、通所などを通してご利用者の希望を探っております。 ・いくつかの選択肢を用意して選んで頂きながら、過ぎて頂いております。(おやつや衣服など) 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害種別ごとの特性等に応じた方法で、ニーズの把握を行うことができています。引き続き、利用者の普段の様子や利用者及び関係職員等とのコミュニケーションを通じてニーズの把握に努めていただきたい。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省HPに掲載されている意思決定支援ガイドラインを改めて確認いただき、支援を継続していただきたい。 <p>(参考URL)</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000307504.pdf</p>
8 支援困難事例について	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の方については、当施設に身体障がいの方が少ないという事もあってか、スタッフの対応の不慣れが目立ちます。 <p>都度、体位変換やボディメカニクスなどを説明したりしていますが、研修を行おうかと思っております。</p> <p>(一部非公表)</p>	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体・知的・精神と障害種別に応じて特性が異なることから支援困難なケースもあると思うが、継続して支援に努めていただきたい。 <p>【助言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな障害種別に対応するため、身体・知的・精神のそれぞれにエキスパートとなる職員を育成してみてもどうか。
9 事故への対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを作成し予防を行います。 <p>併せて、集まったヒヤリハットを分析し改善案を作りたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間受け入れを行っている病院を模索したいと思います。 <p>近隣だと、セコメディック病院や島田台病院かと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本社とも情報共有を行い対応を行えるよう努めて参ります。 <p>事故報告を作成し、本社、行政、関係各所との情報共有を行い再発しないよう努めて参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故報告書・ヒヤリハット報告書 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故報告書の作成及びフィードバックの実施や改善案の共有など、再発防止のための方針が示されている。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の医師の働き方改革等の影響で、夜間の救急受け入れ先が見つからないケースも増えてきていることから、日頃よりかかりつけ医とのより緊密な連携に努めていただきたい。
10 苦情解決の取り組み状況	<p>苦情報告書を作成し職員会議での共有と再発防止に向けた改善策の検討を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の申し送りにて共有 ・ケア会議で検討し再発防止策を決定し実施していきます 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告書の作成や、会議での職員間での共有等を通じて、改善及び再発防止策についての検討が行えている。引き続き、継続して取り組んでいただきたい。
11 従業員の資格取得状況や実務経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高い管理者を置いているか。 <p>(必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)</p> <p>[管理者]</p> <p>この業界で支援者として働き始めて、4年5か月ほどになります。その前は販売業で努めておりました。</p> <p>[資格]</p> <p>介護職員初任者研修、居宅介護職員初任者研修実務者研修、甲種防火管理新規講習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 <p>(必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)</p> <p>[サービス管理責任者]</p> <p>以前は八千代市社会福祉協議会などで働いておりました。</p> <p>[資格]</p> <p>社会福祉士、行動心理士、メンタル心理士など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高い従業者を置いているか。 <p>(必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容、期間、研修の受講経験を記入)</p> <p>初任者研修修了、看護師が在籍しております。</p>	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各障害種別に対応できるよう、各種研修の受講等を通じて支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。
12 その他		

報告・評価シート

事業所名	ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富			
項目	【事業所記入欄】	【市町村協議会等記入欄】		
	具体的な内容	要望・助言・評価		
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・同性介助について、しっかり対応してほしい ・サービス管理責任者が週一勤務では利用者の状況把握に限界があると思われるので、改善を希望。兼務だった場合も、注意されたい ・日中活動の内容を他にも考えてほしい ・日中活動サービスを利用していない利用者に対しても、コミュニケーションを取り、利用者のペースに合わせた対応や支援を行い、生活の安定に努めてください。 		
	・買い物支援（同行、代行）・運動支援・入浴支援・金銭管理支援・外出支援・通院等介助（定期受診・臨時受診・調剤受け取り）・レクリエーション・季節のイベント余暇活動・訪問サービスとの連携（医療・歯科・理容・看護・薬局）			
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について			
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 7人			
	・就労支援B型事業所：友和園・トレッセ鎌ヶ谷・空と海・みのり・生活介護：いんば学舎・ぱるびと			
	・入浴の頻度について			
	毎日入浴されており、浴槽のお湯は毎回入れ替えて清掃し入浴を行っています。			
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・体験の利用が積極的に使われている点が良い。今後とも続けていただきたい。 ・近隣のお祭り参加や買い物など、地域と交流しやすい環境になっていると思われます。 		
	・職員と共に池まで散策し季節の植物や野鳥を見たり自然に触れあっています。近隣のお祭りや外食に行ったり電車の好きな方と都内まで乗車する事が出来ました。買い物ではスーパーや書店、コンビニなどご自身で商品を見て選びセルフレジでの支払いを行っていただくなど利用者様に合わせて支援を行っております。			
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。			
	2名(①2泊3日、②6泊7日で利用され本入居)			
	可能な限りご希望がありましたら体験利用をしていただいております。			
	他害による退去の方と幻聴による暴力の方が体験され入居されました。			
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	・平日、土日並びに日中、夜間と職員の確保がされている点を評価します。人員不足にならないよう対応をお願いします。		
	平日日中は2名、土日日中は3名で配置しております。 夜勤は毎日2名体制で配置			
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の来訪、自宅への帰省などを積極的に受けていることが評価できます。 ・開かれた運営のため、実習生、ボランティアの受け入れを少しずつでもお願いしたい。 		
	ご家族様の来訪、ご自宅への帰省など積極的に受けております。ご来訪いただけないご家族様にはお連れしたり電話にて近状をご報告しております。地域のかかわりについては外出時、近隣の方に進んで挨拶をするよう声掛けをしております。近隣のコンビニや100円ショップなどでは店員さんがご利用者様に合わせて声掛けをして下さったりしております。			
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td>実 習 生： 0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア： 0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0人
受け入れ人数	実 習 生： 0人			
	ボランティア： 0人			
	現在、受け入れは出来ておりませんが受け入れ時の個人情報保護の観点で受け入れ方法検討中です。			
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急、一時的な支援等の受入れにも積極的に行っていることが評価できます。 ・引き続き実績を重ねていただきたい。 		
	関係各所へ随時短期入所の空室をご案内し必要に応じて受け入れしております。			
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	・引き続き実績を重ねていただきたい。		
	空き状況にもよりますが、積極的に行っております。過去の緊急案件当日受け入れから本入居あり。			
・児童の受入れは可能か。可能であれば何歳から可能か。	・児童の受入れにも対応できるように、体制や実績づくりをお願いします			
	児童の受け入れ実績が少ないため要相談。 現在16歳の方が利用されています。			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援事業所とは随時連絡が取れる体制であり近状報告や相談等させていただいております。ご利用者の状況や変化などその都度ご報告させていただき情報共有を行っております。日中活動先へは体調や変化、通院や服薬情報などを共有させていただいております。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と随時連絡が取れ、情報共有を行っているところが評価できます。 ・体調変化の場合も対応できるよう、病院、クリニック、薬局等医療との連携強化についてもご検討ください。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携推進会議、障害者虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会の実施状況について ・地域連携推進会議は2025年10月28日開催予定 ・虐待防止員会、身体拘束適正化は年2回開催 	各種会議は実施されており、適正に運営に運営されています。

報告・評価シート

事業所名	秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 玄関先にレクリエーションでお花（秋桜、日日草、パンジー等）を植木鉢に植えて、利用者様全員で剪定や水やりを行っています。また、ご利用者様同士でトランプを行ったり、スマホで音楽を流してカラオケを皆で歌ったり、ジャンボリミッキーを踊ったり、映画鑑賞を行っています。クリスマス、バレンタイン等の行事、誕生会も毎月行っております。10月は納涼祭を行う予定。		・日々の趣味活動、創作活動、軽作業、リハ等の実施をお願いします。 ・日中活動の内容をさらに考えてほしい。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 15人		
	生活介護と就労継続支援B型		
	・入浴の頻度について 毎日の方もいれば週2～3回の方もいます。生活介護での入浴もしており入浴機会を増やしています。		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 男性3名、女性4名で当日行けそうな方と職員の出勤状況に応じて、週1回の頻度で近くの公園まで散歩活動を行っております。男女別々で分けて行います。公園では近隣住民の小さなお子様連れのご家族様と簡単な会話等の交流を図っております。		・地域に根付いた活動をしていただき、より多くの方の体験利用の受入れをお願いします。 ・体験利用については、1年前から増えていないようなので、今後もより多くの体験利用を受入れられるように努めていただきたい。
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。 26名（内13名が本入居） ※2024年10月時点から変わりありません。 グループホームを初めて利用される方で、他のご利用者様との相性や共同生活に慣れることに不安を感じており、体験利用を通じて本入居に至った。		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 平日の日中は、管理者を除いて2ユニット4名の人員配置を行っております。土日は日中活動先がないため1ユニット2.5名以上の配置を行っております。1か月全日平均で2ユニット5名の配置となっております。		・夜間の人員配置において、スポットワーカーなど利用しないようにしてほしい
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 2025年5月25日のごみゼロ運動の際に、施設の外周と道路脇のゴミを収集する活動を行いました。ご家族様も事前連絡のうえ自由にご訪問いただき、休日一緒にコンビニまで散歩いただいたり、宿泊を伴う旅行等についても臨機応変に許可を出して気分転換できるよう配慮しております。		・草むしりのボランティア受け入れで、鎌ヶ谷のGHは見送りとなっているので、次回はぜひ実施をお願いします。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数	実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	
	現状、当施設では受け入れができておりませんが、弊社の別施設（流山）では草むしりのボランティア受け入れを8月下旬に実施できており、鎌ヶ谷でも受け入れる計画で進んでいたが、草が状況が酷かったため次回見送りになりました。		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 基本的に短期入所室の空きがあり、当施設のハード面で受入れ不可でなければお断りしておりません。一度受け入れ後に支援が困難な方で、二度目の利用をお断りした方が1名おります。</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 松戸市からの緊急案件で当日夕方受入れ可能か連絡が入り、受入れ態勢を整えたが、先方のご家族様でなんとか対応可能となったとのことで、受入れがなくなった事案は1件ございました。</p> <p>・児童の受入れは可能か。可能であれば何歳から可能か。 年齢要件はありません。実績としては14才男子の受け入れ実績あり。</p>	<p>・支援が必要な児童も積極的に受け入れていただきたい。 低年齢の受入れ実績の積み上げをお願いしたい。</p> <p>・短期入所、緊急受入れを行っていることは評価できる。</p> <p>・短期入所の周知方法の検討や、相談支援事業所との連携強化についても努めていただきたい。</p>
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>相談支援事業所は、月に1回支援状況を電話で共有したり担当者会議を行っております。2か月に1回は、日中活動先に見学に出向いて、作業状況の確認をしております。</p>	<p>・相談支援事業所との情報共有、担当者会議の開催が実施されていることは評価できます。</p> <p>・日中活動先への見学も利用者の生活の質向上につながりますので、引き続き実施をお願いします。</p>
7 その他	<p>・地域連携推進会議、障害者虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会の実施状況について</p> <p>現状（2025年10月時点）未実施です。鎌ヶ谷市障害福祉課様、基幹相談様、民生委員様、ご利用者様ご家族様とご本人を交えて第1回目を年内開催予定で動いております。</p>	<p>・障がい者虐待防止委員会等、義務とされているものも実施するように願います。</p>

報告・評価シート

事業所名	HALEKURA鎌ヶ谷							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 夜勤帯だけでなく日中も職員が常駐し、日中も見守り・支援が必要 の方が安心して生活を送れるように支援している。生活支援（食事の提供・掃除・洗濯・入浴排泄の介助見守り・健康管理）・医療健康面の支援（服薬管理・医療機関との連携）安全確認・緊急時の対応等	・見守り、支援については「ただ見ているだけ」という支援ではないようにしてほしい。 ・日中活動についても、様々考えてほしい。 ・利用者の障がい度によって難しい面があると思うが、グループホームで生活のリズムを整え、日中活動については他事業所が利用できるよう支援をお願いします。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 0人							
	（主な外部の日中活動サービスの種類について）							
	・入浴の頻度について 機械浴は無いが、バリアフリーで手すり有。基本毎日入浴。中には、体調不良と言って声掛けに応じない利用者あり。							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 開所して間もないので体制が整っておらず外出や・余暇活動は行えていない。しかし、7月の七夕の数日前にご近所の方から笹をいただき、世話人と利用者様たちと飾りを作り、七夕を楽しんだ。	・（評価時）開設から7か月経過しているので支援体制を整え、利用者の方の支援（日中活動、地域とのつながり等）を十分なものにしてほしい。						
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。 4名 本入居を見据えて体験入居を行っている。4名は、2泊3日から1週間							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 常時、日勤帯で1名・夜勤帯で1名支援に当たっている	・人員不足にならないよう対応をお願いします。						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 開所して間もないので体制が整っておらずまだ交流会は行っていない。家族は、自由に来所してかまわないので来所した時、個々にスタッフと様子など話、交流を持っている。	・地域のイベント等への参加についてもご検討ください。 ・実習生やボランティアの受入れについては、今後検討をお願いします。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td><td style="width: 30%;">実 習 生：</td><td style="width: 40%;">人</td></tr> <tr> <td></td><td>ボランティア：</td><td>人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	人		ボランティア：	人
	受け入れ人数		実 習 生：	人				
			ボランティア：	人				
・開所して間もないので体制ができておらず受け入れている								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 受け入れている。受け入れた人数は、3名	・児童の受入れについて、積極的に会社でも検討していたくことを要望します。 ・18歳未満の利用はできないというのは、本部の見解か？短期入所など、児が利用できるサービスもあるので、制度理解をお願いしたい。 ・15歳以上の障がい児も必要性が認められた場合は利用可能。						
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 ・オーバードーズの方入院先が決まるまでと話があり受け入れた。 ・母親が入院することになり他のSS利用していたが入院が長引いてしまった為受け入れ先がない。受け入れてほしいとの事で受け入れた。 ・親離れ子離れができる様SS利用して経験を積ませたいとの希望があった為							
	・児童の受入れは可能か。可能であれば何歳から可能か。 障害者総合支援法に基づいて、日中支援型共同生活援助は成人（18歳以上）の障害者向けのサービスであり児童（18歳未満）の利用はできません。							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	（具体的な連携状況の事例について） 相談支援事業所とは、電話連絡やメールでのやり取りをこまめにおこなっている。訪問診療・訪問看護が入っており、電話連絡や書面手渡しにて連携をとっている。	・電話やメールでこまめにやり取りしているということが評価できます。 ・訪問診療など医療機関との連携も良いことだと思います。						

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 その他	<p>・地域連携推進会議、障害者虐待防止委員会、身体拘束適正化検討委員会の実施状況について</p> <p>開所して間もない為実施しておりませんが、体制は作りつつあります。研修等実施した場合議事録の作成保管に努めます。虐待・拘束の事例は、ありません。</p>	<p>・鎌ヶ谷市の援護地の方が一人も入所していないので、募集方法も検討願います。</p> <p>・開設時に作成した事業計画の内容はどうなっているか。虐待防止委員会の設置他、義務とされているものの実施をお願いしたい。</p>

報告・評価シート

事業所名	Beans本八幡	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・日中GHで過ごす人にどのような支援・サービスを提供していますか？ また、その活動で賃金が発生する生産的な活動はありますか？	○日中サービス支援型のグループホームとして、日中活動がない方についても、グループホームとして、本人のストレングスに合わせた日中活動の提供等も検討していただければと思います。 ○精神科への通院同行についてはほとんどの入居者で実施していると聞いています。通院同行については今後も相談支援専門員などと連携し、可能な範囲で継続していただければと思います。
	身体介助（入浴・排泄）、掃除・洗濯・食事提供、相談、外出同行（通院・買い物等）	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 13 人	
	就労継続支援A型・B型・生活介護・デイサービス、デイサービス・訪問看護、一般就労地域活動支援センター	
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・外出や買い物の支援について教えてください。 利用者のニーズに合わせて可能な限り買い物支援を行っている。主に生活用品や家具や衣類の購入に同行している。	○夏祭り、クリスマスイベントなど季節に合わせたイベントも実施していると聞きました。入居者にあわせた生活の楽しさを今後も継続していただければと思います。
	・余暇活動の支援について教えてください。 定期的に余暇活動を行っている。 季節の節目などで施設内でイベントを行う程度。	
	・体験の利用等のニーズに対応していますか。 本入居希望の方に、事前の体験利用を実施している。1泊では本人と事業所も振り返りの材料が少ないので、3泊程度してもらったケースが多い。	
	・入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されていますか。 急変・他害行為時の対応マニュアルあり。	
3 支援体制の確保について	・入浴用の介護リフト等の設備はありますか。また入浴回数は決まっていますか。 入浴回数は本人とのニーズ、清潔保持の観点から決定。設備はユニットバスで、入浴チェアのみ有。	○多くの職員が従事していられるとのことですので、勤務日数が少ない職員に対してもマニュアルの周知の徹底を引き続きお願いします。
	・BCP（感染症含む）を策定していますか。 策定あり。	
	・家族や地域住民との交流の機会がありますか。 家族に関しては、グループホーム内への入室は許可していることもあり、定期的に来所がある。地域住民との関わりにおいては、自治会長、民生委員(大芝原自治会)方に開設の際に挨拶をしている。また地区の防犯パトロールへの参加も行っている。	
	・地域連携推進会議の実施状況と構成員について 実施日（予定） 1 回目として10月～11月に予定している。 構成員（予定）利用者、利用者家族、グループホーム等支援ワーカー、民生委員	
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会がありますか。 家族に関しては、グループホーム内への入室は許可していることもあり、定期的に来所がある。地域住民との関わりにおいては、自治会長、民生委員(大芝原自治会)方に開設の際に挨拶をしている。また地区の防犯パトロールへの参加も行っている。	○現在は防犯パトロールはしていないと伺いました。今後も参加できそうな地域イベントがあればぜひご参加していただければと思います。
	・地域連携推進会議の実施状況と構成員について 実施日（予定） 1 回目として10月～11月に予定している。 構成員（予定）利用者、利用者家族、グループホーム等支援ワーカー、民生委員	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 受け入れ人数 実 習 生： 人 ボランティア： 2 人	
	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れていますか。 短期入所実績 8 名	
5 短期入所の併設について	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応していますか。 市川市からだけでなく、他市（浦安）からの要請に対応している。	○積極的に受け入れており、緊急ケースの受け入れもしていると聞きました。ワンルーム型の短期入所は市内でも大変貴重な社会資源ですので、今後も地域のニーズに合わせた短期入所の運営の継続をお願い致します ○今後も可能な範囲で緊急受け入れを行っていただければと思います。
	・相談支援事業者や他のサービス事業所と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか。 相談支援事業所に関しては日々の様子や、モニタリングなどの同席を行っている。他には通所先では、グループホームの様子を伝えたり、日中活動の様子などを見させていただき、総合的に本人を見ていける様に対応している。	
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・相談支援事業者や他のサービス事業所と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか。 相談支援事業所に関しては日々の様子や、モニタリングなどの同席を行っている。他には通所先では、グループホームの様子を伝えたり、日中活動の様子などを見させていただき、総合的に本人を見ていける様に対応している。	○相談支援事業所からも、貴グループホームとは密に連携ができていて聞いており、連絡も取りやすいと聞いています。今後も関係機関との連携を続けていただければと思います。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・医療機関と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか？ 急な体調変化（身体・精神的）や誤薬・服薬忘れ・薬の調整等訪看が来訪したタイミングや医療機関に連絡をする形で連携を取っている。 また看護師がスタッフとして配置されていることや、医師がスタッフとして勤務しているので、体調不良になった際は迅速な対応を行っている。	
	・通常時、緊急時の通院同行に対応していますか。 通院や緊急時の同行は適宜当スタッフが対応。 精神科のみならず、内科や歯科、耳鼻科なども同行している。	
	(1) 個別支援計画の作成や見直しは適切な手順で行っていますか。 非公表	○週1回は担当職員が時間を作って面談、個別支援計画に沿った面談は月1で実施していると伺いました。今後も継続していただければと思います。
	(2) 虐待防止（身体拘束）・意思決定支援（意思疎通支援）に関する取組みをしていますか。 当事業所では、虐待防止および身体拘束の排除に向けた取組みとして、職員への虐待防止研修を実施し、身体拘束は原則禁止であることを周知しています。支援中に身体拘束につながる恐れのある行為が発生しないよう、日々のケース検討や管理者によるモニタリングを行い、適切な支援が行われているか確認しています。	○今後も職員に対する虐待防止研修は継続していただければと思います。勤務日数が少ない職員への研修も引き続きお願い致します。
7 その他	(3) どのような食事を提供（調理方法・品数・量など）していますか。 朝：パン・フルグラ・牛乳・コーヒー・お茶 ※個数・種類、選択制昼：外注弁当（主食・副食）＋レトルト味噌汁タ：外注総菜（副食・味噌汁の具） ＋主食 女性：180g 男性：200g＋味噌汁毎月、体重測定の実施や、外注先との連携でカロリー表示を依頼しており、体重増加予防の対応を随時行っている。	
	(4) 事業所（グループホーム）の状況を実際に現地で確認させていただくことは可能ですか。 可能です。是非お越しいただければ幸いです。	
	(5) 市川市自立支援協議会及び各部会に、事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いすることは可能ですか。（サービス管理責任者等）。 自立支援協議会やグループホーム連絡協議会など、市内の会議には管理者及びサービス管理責任者が出席している。またその他の会議においては、グループホーム等支援ワーカーの依頼などで、同様に出席している。	
	(6) 社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 可能です。	
	(7) 管理者や従業者に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等）。 ・虐待防止研修／2回 ・障がい福祉サービスについての研修／1回 ・精神障害についての勉強会／1回 ・障がい種別についての勉強会／1回 ・触法や保護観察法についての勉強会／2回 ・拠点事業についての勉強会／1回 など	
	(8) 市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。 （例：緊急時の短期入所利用の受入れ、病院や施設から地域生活へ移行するための地域生活の体験の機会の提供など） これまでの対応実績 ・緊急時の短期入所の受入れ（夜の受け入れ含め） ・精神科病院で長期入院している方への地域生活へ移行するための地域生活の体験の機会の提供 ・短期入所の利用を活用し、一人暮らしのイメージが出来る場所の提供 ・65歳以上の方への介護認定の手続きなどの対応上記以外でもこちらで対応が可能な事例があれば協力していきます。 ご相談させていただければ幸いです。	○積極的に受け入れており、緊急ケースの受入れもしていると聞きました。 地域の中での信頼もかなり高くなっています。 ワンルーム型の短期入所は市内でも大変貴重な社会資源ですので、今後も地域のニーズに合わせた短期入所の運営の継続をお願い致します

報告・評価シート

事業所名	リボングループホーム市川日中支援	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・日中GHで過ごす人にどのような支援・サービスを提供していますか？ また、その活動で賃金が発生する生産的な活動はありますか？	利用者から過ごし方について聞く機会を設け、要望があれば支援をお願いいたします。
	個人の自由に過ごしてもらってます。最近は家庭菜園のお手伝いや本を常備しているので、好きな人はそれらを日中活動として提供しております。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 7 人	
	生活介護3人、就労B2人、就労移行支援1人、デイサービス1人	
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・外出や買い物の支援について教えてください。	外出、買い物にひとりで行ける方は3人、行けない方は4人と伺いました。可能な限りの日中の支援を期待しております。
	マンパワー的に1人に対して付き添いはできないので、主には買い物代行で対応しております。短い時間であれば外出支援も実施しています。	
	・余暇活動の支援について教えてください。	
	基本的にはご自身で準備して行っております。 希望等あればできる範囲で実施します。	
	・体験の利用等のニーズに対応していますか。	今後も積極的な受け入れをお願いいたします。
短期入所サービス利用し対応しております。		
3 支援体制の確保について	・入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されていますか。	救急搬送の実績もあることを伺いました。
	急変時の基準書等の準備、研修を実施し対応しております。 救急搬送対応についても実績がございます。	
	・入浴用の介護リフト等の設備はありますか。また入浴回数は決まっていますか。	
	施設内で入浴される方と、生活介護の日中サービスで入浴される方がいるとのこと。利用者の希望に応じて入浴ができるよう支援をお願いします。	
	リフトの設備はございませんが、シャワーチェア、手すりの設置はしております。入浴回数は1日1回までとし業務効率化のためスケジュール組みもしております。	
	・BCP（感染症含む）を策定していますか。	災害時対応マニュアルの職員の理解はできているが、避難訓練は未実施とのこと。定期的な避難訓練を実施してください。
しております。		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会がありますか。	近隣住民から住民説明会の実施を求められていると伺っています。住民との良好な関係の構築のため、実施をご検討ください。
	現状、ないです。	
	・地域連携推進会議の実施状況と構成員について	地域住民の方をお呼びして会議を実施してください。
	実施日（予定） 10月予定です	
	構成員 地域住民、相談員、利用者様、利用者様家族、GH管理者	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	お話があれば受け入れ可能の旨伺いました。よろしく願いたします。
受け入れ人数 実習生： 0 人 ボランティア： 0 人		
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れていますか。	地域支援生活拠点等の登録ありがとうございます。引き続き、緊急・一時的な支援等の受け入れをお願いいたします。
	短期入所実績 8 名 2024.7～2025.7.16時点	
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応していますか。	
	対応しております。地域支援生活拠点等に登録済みです。	
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・相談支援事業者や他のサービス事業所と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか。	引き続き、グループの内外を問わず、他事業所との綿密な連携をお願いいたします。
	状況の変化や変わった様子などを共有させていただいてます。	
	・医療機関と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか？	体調チェックの記録を取っており、必要な際に医療機関と共有できているとのこと。
	服薬内容に合わせた体調チェックを実施し変化等あればお手紙作成し相談させていただいてます。	
・通常時、緊急時の通院同行に対応していますか。		
	しております。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 その他	(1) 個別支援計画の作成や見直しは適切な手順で行っていますか。 実施しております。	支援内容は「どのように声掛けするか」「どのように相談に乗るか」を具体的に記載すると支援者が把握しやすいと思います。 また、利用者の強みを伸ばす視点から、好きなこと等で実現したい目標の設定もお願いします。
	(2) 虐待防止（身体拘束）・意思決定支援（意思疎通支援）に関する取組みをしていますか。 研修実施しております。	
	(3) どのような食事を提供（調理方法・品数・量など）していますか。 朝食：パン、サラダ、ヨーグルト、卵、加工肉、コーヒーの内容で手作り 昼食夕食：冷食湯煎したもの、玄米を精米したお米とみそ汁	写真確認いたしました。引き続き、適切な提供をお願いいたします。
	(4) 事業所（グループホーム）の状況を実際に現地で確認させていただくことは可能ですか。 可能です	
	(5) 市川市自立支援協議会及び各部会に、事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いすることは可能ですか。（サービス管理責任者等）。 可能です	
	(6) 社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 可能です	
	(7) 管理者や従業者に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等）。 サビ管研修2025.7.14	ぜひ障害理解に係る外部の研修も積極的にご活用ください。
	(8) 市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。 （例：緊急時の短期入所利用の受入れ、病院や施設から地域生活へ移行するための地域生活の体験の機会の提供など） 協力させていただいております。	引き続き、ご協力をお願いいたします。

報告・評価シート

事業所名	ふくしの村日中支援型障がい者グループホーム市川奉免町		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・日中GHで過ごす人にどのような支援・サービスを提供していますか？ また、その活動で賃金が発生する生産的な活動はありますか？ ----- 散歩 体操 アートワーク 壁飾り制作 カラオケ賃金が発生する活動はなし	スタッフの皆さんの得意なことを活かして様々な活動を提供されていると伺いました。活動内容はスケジュールを組んで実施できると良いと思います。利用者のひとりの過ごし方は個別支援計画にも記載をお願いします。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ----- 外部の日中活動サービスの利用者人数： 17 人		17人が外部のサービスに繋がっていることは評価できます。引き続き、外部サービスとの連携をお願いします。
	就労継続支援B型 生活介護		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・外出や買い物の支援について教えてください。 ----- 買物：週に1回購入希望品を聞いて管理者がまとめて買いだし外出：ヘアカット、病院は管理者またはスタッフ対応	ヘアカット、病院にはスタッフの方が付き添っていると伺いました。 4名の方が移動支援を利用して外出しているとのこと。 移動支援との連携がとれていないという話もお聞きしたので、丁寧な情報共有をお願いします。	
	・余暇活動の支援について教えてください。 ----- 洗濯や居室内の清掃、かたづけを生活訓練もかねてスタッフと一緒にしたり、散歩体操、創作活動をおこなっている。 月に1度は、季節の行事をとりこんだレクを実施（餅つき、節分、七夕等々）	身の回りのことは、利用者ができることであればトライしてもらう方針で、洗濯ができるようになった方もいらっしゃるとう伺いました。 週間で支援プログラムを作ってみてはいかがでしょう。	
	・体験の利用等のニーズに対応していますか。 ----- 体験希望があり、居室が空いている場合は積極的にお受けしています。緊急時の対応も可	引き続き、積極的な受け入れをお願いいたします。	
3 支援体制の確保について	・入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されていますか。 ----- 日中は、管理者、サビ管が判断し訪看、往診医に相談や救急搬送をおこなっている。夜間時も同様に夜勤者より管理者に連絡、判断のうえ救急搬送の指示をだしている	利用者から事前に意向書を貰っており、緊急時の体制が整っていることを確認しました。	
	・入浴用の介護リフト等の設備はありますか。また入浴回数は決まっていますか。 ----- 介護リフト有 原則として週3回の入浴を確保 夏場帰宅時に汗だくになっている方は毎日入浴している 通所先で入浴してくるケースもあり	1人を入れる人は毎日、支援が必要な方は週3回の入浴と伺いました。 可能な限り、本人の希望に応じていただきながら、毎日の入浴をお願いします。	
	・BCP（感染症含む）を策定していますか。 ----- ●BCP策定済●五日分の備蓄用意●蓄電池有●夜間時の避難訓練の実施●車椅子利用者の避難支援方法の確認●地域住民の避難受入れ可能		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会がありますか。 ----- ・自治会のポッチャ大会に参加 ・芋煮会の実施	近所の方とは野菜のやり取りをするなど、関係は良好とのこと。 家族には個別支援会議の際、部屋を見てもらうことがあると伺いました。	
	・地域連携推進会議の実施状況と構成員について	町会長にも出席いただいていると伺いました。	
	実施日（予定）	3/19実施	
	構成員；管理者 サビ管 利用者様1名 利用者家族1名 町会長 相談員 基幹相談支援センター所長		
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	話があれば受け入れ可能と伺いました。よろしくをお願いします。	
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れていますか。 ----- 短期入所実績 5 名 （内1名障がい児）		
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応していますか。 ----- 居室があいていれば対応します		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・相談支援事業者や他のサービス事業所と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか。 ----- 利用者様の件で気になること、わからない事があれば連絡帳や電話で直ぐに連絡をとり、情報共有に努めます	利用者に問題行動等がみられた場合は、他支援者との情報共有や担当者会議を実施していると伺いました。 相談支援専門員とも密な連携が取れていると伺っておりますので、引き続き、トラブルがありましたら他サービス事業所も含め情報共有をお願いします。	
	・医療機関と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか？ ----- 医療連携しているクリニックがあるので適切に運用しております。また、月に1回の訪問看護をいれて医療連携に努めています。昨年より、訪問歯科を導入（2ヶ月に一度）		
	・通常時、緊急時の通院同行に対応していますか。 ----- 医療的ケアが必要な方はいますか？→現状、医療的ケアをおこなっておりませんが近い将来必要になってくる方はいますので本人様とその件で話し合いを重ね準備しています		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 その他	<p>(1) 個別支援計画の作成や見直しは適切な手順で行っていますか。</p> <p>提出済 個々の特性に配慮し、出来る事、チャレンジすることを1つは必ず盛り込んで作成しています 都合のつく範囲でご家族様、相談員にも同席してもらい全員が納得できる計画書にすることを目指しています</p>	<p>ご家族や他支援者の意見も取り入れて計画を作成しており、情緒面の配慮を記載する場合もあると伺いました。</p> <p>本人の生活が良くなるようなプラスの目標も記載していただければと思います。</p>
	<p>(2) 虐待防止（身体拘束）・意思決定支援（意思疎通支援）に関する取組みをしていますか。</p> <p>年2回の研修 動画視聴とテストの実施 スタッフMTG時においてケース検討会</p>	
	<p>(3) どのような食事を提供（調理方法・品数・量など）していますか。</p> <p>施設向けの調理済み冷凍おかずを湯煎し提供、汁物とご飯は都度スタッフの手によって用意（おかずは主菜と副菜軽品） 提供時間は2時間とし衛生面には配慮しています 嚥下能力に応じて、一口大、きざみ、ミキサー食での提供も行っております</p>	<p>適切に提供されていることを写真で確認いたしました。</p>
	<p>(4) 事業所（グループホーム）の状況を実際に現地で確認させていただくことは可能ですか。</p>	
	<p>(5) 市川市自立支援協議会及び各支部に、事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いすることは可能ですか。（サービス管理責任者等）。</p> <p>可能です</p>	
	<p>(6) 社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。</p> <p>可能です</p>	
	<p>(7) 管理者や従業者に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等）。</p> <p>管理者は毎月のウィルビーラーニングでの研修参加 従事者は月に1回ほどの研修の開催</p>	<p>支援の仕方スタッフから相談があった際は、みんなでケース検討を実施しているとのこと。引き続き、スタッフが一人で抱え込むことのないよう環境づくりをお願いいたします。</p> <p>また新人教育や引き継ぎの丁寧な実施をお願いします。</p>
	<p>(8) 市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。</p> <p>（例：緊急時の短期入所利用の受入れ、病院や施設から地域生活へ移行するための地域生活の体験の機会の提供など）</p> <p>可能です。地域支援拠点事業登録済みです。</p>	<p>引き続き、ご協力よろしくお願いいたします。</p>

報告・評価シート

事業所名	スターハウスプレミア市川大野					
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
1 利用者の主な日中の活動について	<p>・日中GHで過ごす人にどのような支援・サービスを提供していますか？ また、その活動で賃金が発生する生産的な活動はありますか？</p> <p>ウオーキング(動的発散活動)と室内で装飾作成などの手先を使った活動をしています。賃金の発生する活動は行っていません。</p>	<p>○通所している利用者が多いとのこと、日中活動が必要な方に関しては必要に応じて本人の特性に合った活動をされているとの説明を受けました。日中サービス支援型のグループホームという地域の役割を活かし、今後も日中活動の提供、検討をお願いします。</p>				
	<p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>外部の日中活動サービスの利用者人数： 19 人</p>					
	<p>・生活介護18名(火・木のみ1名) ・就労継続B型1名</p>					
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・外出や買い物の支援について教えてください。</p> <p>・主に週末に近隣の小売店に買い物へ同行しています。 ・移動支援をご利用している方もいます。(5名)</p>	<p>○ご自宅へ帰ることが困難な方を中心に余暇活動も行っているとの報告を受けました。様々な活動を実施、検討しているとのことでしたので、今後もひとりひとりに合わせた余暇活動の充実をお願いします。</p>				
	<p>・余暇活動の支援について教えてください。</p> <p>・主に週末に誕生会、おやつ作り、体を動かすレクリエーション、季節に応じた行事を実施しています。(クリスマス会、節分、お花見)</p>					
	<p>・体験の利用等のニーズに対応していますか。</p> <p>体験の利用について、令和7年5月に満床になったため現在はお受入れはしていない。それまでは毎月3～4人の利用者さんをお受入れしていました。</p>					
3 支援体制の確保について	<p>・入居者の急病など緊急時の支援体制が確保されていますか。</p> <p>職員の連絡体制として、訪問看護ブラスター(同法人で運営)が介入しており、利用者さんの急変時はオンコール対応にて対処している。 配置職員での対応が困難な場合は、施設近隣在住の職員へ出勤要請をし、管理者もフォローのため出勤をする。</p>	<p>○管理者やリーダーが同じ日に休まないように調整していると報告を受けました。緊急時等のバックアップ体制を含め、今後も職員配置を行っていただければと思います。</p>				
	<p>・入浴用の介護リフト等の設備はありますか。また入浴回数は決まっていますか。</p> <p>・介護リフト設備してあります。 ・毎日入浴をしています。</p>		<p>○入居者のみなさんがお風呂が好きで、毎日入浴できていると報告を受けています。今後も継続して入浴の機会を確保いただきたいと思います。</p>			
	<p>・BCP(感染症含む)を策定していますか。</p> <p>・策定してあります。</p>					
4 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会がありますか。</p> <p>ご家族の訪問について、毎週/1の方が3人、不規則で毎週/1の方が1人、月/1の方が14人になります。 ・地域住民との交流の機会は、現在ありません。</p>	<p>○ご家族のコミュニケーションを大切にしていると聞いています。今後もご家族、地域、関係機関との連携を図り、地域で孤立しない、閉鎖的にならないよう、開かれたホーム運営を続けていただければと思います</p>				
	<p>・地域連携推進会議の実施状況と構成員について</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">実施日(予定)</td><td>令和8年2月</td></tr> <tr> <td colspan="2">構成員 利用者さん、ご家族、地域の方(自治会長さん)、基幹相談支援センターの職員、地域の事業所の職員、サービス管理責任者</td></tr> </table>		実施日(予定)	令和8年2月	構成員 利用者さん、ご家族、地域の方(自治会長さん)、基幹相談支援センターの職員、地域の事業所の職員、サービス管理責任者	
	実施日(予定)	令和8年2月				
	構成員 利用者さん、ご家族、地域の方(自治会長さん)、基幹相談支援センターの職員、地域の事業所の職員、サービス管理責任者					
	<p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td><td>実 習 生： 1 人 ボランティア： 1 人</td></tr> </table>	受け入れ人数	実 習 生： 1 人 ボランティア： 1 人			
受け入れ人数	実 習 生： 1 人 ボランティア： 1 人					
5 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れていますか。</p> <p>短期入所実績 3名</p>	<p>○小学生年代など児童の相談、利用もあると聞いています。 今後も地域のニーズに合わせた短期入所の場を提供していただけると大変心強いです。</p>				
	<p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応していますか。</p> <p>緊急で1名の方のお受入れをしています。R7.4/25～28まで利用しています。(一部非公表)</p>	<p>○緊急対応も受け、丁寧に対応していると聞いています。今後も関係機関との情報共有や関係づくりを行っていただき、可能な範囲で緊急受け入れにご協力をお願いします。 ○既に緊急対応の実績もありますので、「地域生活支援拠点」としての登録もしていただければと思います。</p>				

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>・相談支援事業者や他のサービス事業所と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか。</p> <p>相談支援事業者とは、電話連絡やモニタリングでグループホーム来訪時に利用者さんの状態と状況をお伝えさせていただいています。</p> <p>他の事業所とは、連絡ノートがあるため、報告事項はノートに記載し共有している。緊急時などは電話やメールにて報告をしている。</p> <p>どの事業所の方も手厚いサポートをしていただき感謝しかありません。</p>	○相談支援事業所からも、貴グループホームとは密に連携ができており、連絡も取りやすいと伺っています。今後も関係機関との連携を続けていただければと思います。
	<p>・医療機関と、どのような連携をしていますか。困っていることはありませんか？</p> <p>・訪問看護(同法人) 14名ご利用</p> <p>・訪問診療(提携先) 12名ご利用</p> <p>・訪問歯科(提携先) 12名ご利用</p> <p>・訪問診療 1名ご利用同法人、提携先になりますので連携はとりやすいです。</p>	
	<p>・通常時、緊急時の通院同行に対応していますか。</p> <p>・緊急時の通院はグループホーム職員が対応しています。</p> <p>・通常時(定期通院)に関しては、ご家族に対応をお願いします。</p>	○通常時に通院同行も対応していると聞いています。マンパワー不足で難しい状況もあると伺っていますが、計画相談、ご家族とも相談していただき、通院の支援については今後も継続をお願いできればと思います。
	<p>(1) 個別支援計画の作成や見直しは適切な手順で行っていますか。</p> <p>・適切な手順で行っています。</p>	○丁寧に作られていました。今後も本人やご家族、関係機関との連携を大事にしつつ、個別支援計画の作成をお願いします。また、作成された個別支援計画を計画相談にもお渡しいただき、共有していただければと思います。
7 その他	<p>(2) 虐待防止(身体拘束)・意思決定支援(意思疎通支援)に関する取組みをしていますか。</p> <p>・定期的な研修と会議を実施している。身体拘束については、現在実施している方はいません。今後、緊急・やむおえず実施する可能性がある方には、個別支援計画に盛り込み事前にご本人、ご家族に同意を得た上で実施をする。また、支援関係者にも共有する。実施する際は、三原則を満たしているか確認をし記録を残していく。</p> <p>・意思疎通支援の取り組みとして、筆談・絵カード・写真などを用いて利用者さんの理解度や障害特性に合わせた伝え方をしている。意思決定として利用者さんの障害特性を理解し、その方に合った合理的配慮をしていきます。</p>	○虐待に関連する研修は職員必須の研修にしていると聞いています。今後も研修を継続していただき、当事者本人の権利擁護に努めていただければと思います。
	<p>(3) どのような食事を提供(調理方法・品数・量など)していますか。</p> <p>・調理方法：湯煎</p> <p>・品数：主菜2品、副菜1品、主食、汁物</p> <p>・カロリーとしては成人の方の1日の接種量を満たしている</p>	○入居者にイラストなどで分かりやすくメニューを伝えて希望を確認していると聞きました。グループホームらしい、楽しいもの食事時間の提供を今後も継続していただければと思います。
	<p>(4) 事業所(グループホーム)の状況を実際に現地で確認させていただくことは可能ですか。</p> <p>可能です。</p>	
	<p>(5) 市川市自立支援協議会及び各部に、事業所(グループホーム)に勤務している方のご出席をお願いすることは可能ですか。(サービス管理責任者等)。</p> <p>出席可能です。</p>	
	<p>(6) 社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。</p> <p>可能です。</p>	
	<p>(7) 管理者や従業者に対する研修の実施状況について教えてください(回数、内容等)。</p> <p>・定めた回数を実施しています。</p> <p>・内容は、虐待防止、身体拘束の適正化、BCP、感染症など。</p>	
	<p>(8) 市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。</p> <p>(例：緊急時の短期入所利用の受入れ、病院や施設から地域生活へ移行するための地域生活の体験の機会の提供など)</p> <p>ご協力いたします。</p>	
	その他	グループホーム開所後、退職者がいないと報告を受けており、とても評価しています また、職員がグループホームの運営について自主的に意見を出しやすい雰囲気もあると聞いています。 職員の身体的、精神的な負担を軽減するなど、職員のケアにも力を入れているのではと思いますので、職員フォローの仕組みは今後も継続していただき、安定したグループホーム運営をお願いします。

報告・評価シート

事業所名	ふる里学舎浦安			
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	利用者の状況や当日の体調に合わせて適切な日中サービスを提供している。		
	事例（非公表）			
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について			
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 16人			
	平日は生活介護や就労継続支援B型、週末は日中一時支援を利用される方もいます。計6事業所へそれぞれ通われて、日々連絡ツール等を活用して情報共有をしています。			
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	季節に応じたイベントを実施し、外出や余暇活動の支援に努めている。		
	1住居2ユニット＝計4ユニットはそれぞれ性別や障害特性に対応できるよう構成されています。ユニットごとでホーム内で季節のイベントやパーティーなどを開催するほか、外食や余暇のための外出の機会を定期的に設けています。			
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。			
	令和6年：実6名 延171日			
	地域生活支援拠点の取り組みとして検討された評価シートなどを用いて利用目的を明確化し、利用中の様子などを利用当事者やご家族、相談支援専門員等へフィードバックしています。			
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	世話人、生活支援員は常時配置されており、週末・平日ともに日中、夜間の支援体制が確保されている。		
	世話人、生活支援員は常時配置されています。 週末・平日ともに日中、夜間4名常駐しています。			
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	家族や地域住民との交流の機会が確保するとともに、実習生やボランティアを積極的に受け入れている。令和7年度からは地域連携推進会議を視野に入れ、多方面との交流を検討している。		
	週末に自宅に帰る方、または家族がGHへ面会に来られる方など様々です。立地の特性上、近隣住民との直接的交流はないものの、運営法人として隣のマンション理事会と協力してイベントの運営に参加しています。			
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">受け入れ人数</td><td style="width: 30%;">実 習 生： 20人</td></tr> <tr> <td></td><td>ボランティア： 0人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 20人
受け入れ人数	実 習 生： 20人			
	ボランティア： 0人			
	社会福祉士取得のための実習や介護等体験、保育実習 上記以外にもオープンカンパニー等で90名ほど受け入れ			
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	短期入所において、地域で生活する障がいのある方を積極的に受け入れるとともに、緊急・一時的な支援等の受け入れに対応している。		
	定期的な利用やスポットでの利用併せて、令和6年度は延1,582日受け入れました。			
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
	地域生活支援拠点の多機能拠点として緊急受入をしています。また、浦安市障がい者緊急時支援事業と連携して緊急対応をしています。緊急用に1室は確保していますが、要請が重なった場合は定員外で受け入れています。			
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	当該GHは浦安市として通過型GHと位置付けられていることもあり、次の生活環境を検討する場として支援をしています。そのため、通常のモニタリングとは別に、次の目標とそれに向けた進捗状況などを行政、相談、GHと入居者を交えて検証する場を設けています。 また、一部入居者は訪問看護や訪問リハ、訪問入浴や居宅介護を導入して生活されている方もおられ、情報共有を図って支援をしています。	通常のモニタリングのほか、行政・相談支援事業所・GH運営事業所・入居者を交えて検証する場を設けており、関係機関が連携を図っている。		
7 その他	(市町村等において事業者に対して追加の確認がある場合、追加の質問事項等をこちらに記載してください。)			

報告・評価シート

事業所名		あおば				
項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	年	月	日	<p>民生委員のみならず、福祉・経営に知見を有する方の参加が望ましいと考えられます。</p> <p>町会関係者、相談支援専門員、基幹相談支援センター、特別支援学校関係者、市の障害福祉関係者等の参加もご検討くださいますようお願いいたします。</p> <p>地域との連携強化のため、必要な対応をしていただいた上で開催をお願いいたします。</p> <p>会議までに具体的に決めていただきますようお願いいたします。会議の前に事前訪問を実施し、会議の際に訪問時の印象についてフィードバックをいただけると望ましいです。</p> <p>会議までに具体的に決めていただきますようお願いいたします。社会福祉法人という性質上、議事録は所内掲示に留まらず、ホームページ等を活用して広く公表いただくようお願いいたします。</p>
		参加委員数		人		
		開催方法		対面を予定		
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）		利用者・利用者家族・各住居地区の民生委員を予定		
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について				
		事業所の運営状況の報告（サービス内容・利用状況等）の報告・共有、地域からの要望、質問等に対する質疑応答等を予定				
		地域連携推進会議における要望・助言等について （会議において推進員等からの要望や助言を記載）				
		地域連携推進員の訪問について				
		現在検討中				
議事録の公表方法について						
現在検討中						
2	設立目的・運営方針	【設立目的】 別紙①参照（非公表）				<p>日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。</p>
		【運営方針】 別紙①参照（非公表）				
3	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。				<p>利用者様と計画してサービスを提供するとより良い活動になると考えられます。</p> <p>入居者全員が外部の日中活動サービスを利用しており、閉じこもりにならない様に工夫されていると思います。</p> <p>自立度の低い対象者が多いと思われる中、日中活動への参加ができており、外部の日中活動サービス等と密に連携が取れていることを評価いたします。</p>
		買い物、ドライブ、ウォーキング、軽運動等				
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について				
		外部の日中活動 サービスの利用者人数： 37人				
		・生活介護 29名 ・就労継続B型 8名				
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について				
		外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 該当なし				

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 移動支援を活用しての外出やGHにおいても可能な範囲で散歩やドライブ、買い物等の機会を設けている。また各住居ごとに季節のイベント等を実施している。	移動支援などを活用して外出や余暇活動の支援に努められており、気分転換や楽しみとなる機会があることは良いと思われます。利用者の希望も反映して計画していただけるとより良いと思います。 また、全ての方が移動支援のサービスが提供されているか、移動支援事業所は固定の事業所ではないかをご確認ください。 花火を実施した際に事前に近隣に挨拶をしてから実施されたとのことで、地域生活に溶け込もうとする姿勢を評価いたします。 積極的に体験者を受け入れており、評価いたします。引き続きの対応をお願いいたします。 また、体験いただいた方が他法人のグループホームへの入居に繋がった事例から、アセスメントが有効であると思われる、職員の質についても担保されていると考えられます。
		体験の利用等のニーズに対応しているか。 令和6年度は13名を受入れ。 家庭から離れた環境での生活を体験してもらう為、4泊5日程度の日程で実施した。昨年度2名がその後他法人のGHに入居したと報告を受けている。	
5	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について 事業所名 サービス種別 利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度	
		・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	
6	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 各住居定期的に家族会を開催し、運営状況の説明や要望等、意見交換の場を設けている。各住居で町会に加入。輪番でゴミ当番をおこなったりしている。	定期的な家族会の開催により、家庭からの要望や疑問点等の意見交換や家族同士の横の繋がりの構築ができており、評価いたします。 また、町会に加入しており、地域に溶け込む努力をされていることから、全体的にとっても良い取り組みと思われる。引き続きの交流をよろしくお願いいたします。 グループホーム単独での実習生の受け入れについては、サービスの提供内容から学びが偏る傾向があるため、日中活動事業所との併用実習は障害者の生活を学ぶ上で有用であると思われます。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 受け入れ人数 実 習 生： 人 ボランティア： 人	
		GHでの実習生の受入れはおこなっていないが法人内の日中活動施設の実習生に対しGHの見学・説明をおこない理解を深めている。	
7	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 49人 うち市の事業による受け入れ： 19人	多数の利用者を受け入れており、地域生活支援拠点としての役割を十分に果たしていると思われます。 障害を有する方の家族にとって大変心強いと思いますので引き続きの受け入れをよろしくお願いいたします。 左記事例において、生活拠点が見つかるまで1か月以上受け入れた実績があり、年末年始を含め適正なサービス提供がなされたことから、利用者の事情や状況に応じた対応ができていると考えられます。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 受入れ人数：10人 事例（非公表）	
8	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 各住居とも利用状況に応じて支援体制を整えている。支援状況によっては夜間支援者を2名体制にしている。	日中・土日とも十分職員を確保できているほか、支援状況が情報共有され、人員体制が整備されており望ましい体制です。人員の確保が難しいと思われるが、引き続き支援体制の確保をよろしくお願いいたします。

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	入居者並びに家族状況の変化等について、必要に応じて関係各所と情報共有をおこないながら、課題解決や新たなニーズに対しての支援を協力しながら対応している。	入居者やその家族の状況に応じて、様々な関係先と情報共有を行い連携されている点が良いと思います。特に、疎かになりがちな家族状況の変化を、対象者を取り巻く重要な資源として位置づけていることは素晴らしいと思います。 引き続きの連携をよろしくお願いいたします。
10	従業員の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 知的障害者施設に20年以上勤務。その間、生活支援員・主任・施設長補佐・サービス管理責任者を経験。 社会福祉士・サービス管理責任者・強度行動障害支援者実践研修・認定調査員等。	経歴・スキル共に申し分なく、良い配置であると思います。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 2名配置。(管理者兼務) 知的障害者施設にて10年以上勤務。あおば主任。 サービス管理責任者・強度行動障害支援者実践研修・知的障害援助専門員・介護初任者研修等。	定員数から2名の配置は義務ではありますが、管理者同様申し分ない人材であり、良い配置であると思います。
		・支援スキルの高い従業員を置いているか。 常勤の生活支援員16名のうち12名は強度行動障害支援者養成基礎研修を修了。そのうち4名は実践研修を修了。 国家資格保有者は社会福祉士3名、介護福祉士2名。	スキルの高い職員を配置し、研修なども積極的に修了されている点が良いと思います。強度行動障害の特性理解を積極的に行っていることが分かりました。 社会福祉士のソーシャルワークが事業所の中でどのように展開されているかご教示ください。
11	障害福祉関連事業における経験がない従業員に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 法人内で年間研修計画に基づいて研修を実施(別紙②参照)。 事業所内では各月で職員会議やケース会議(事例検討等)を実施。 外部研修においてはその都度案内に従い該当する者に受講を促している。	散発的な研修でなく継続的・系統的な研修が大事であることから、計画に基づいた研修をされているほか、事例検討等を行うことで実践的なスキルアップを図っている点が評価できます。 法人内で様々な研修が企画され、住まいの場としてだけでなく、包括的な支援を想定していることが分かりました。引き続きの実施をよろしくお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できる資格は、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後は資格手当、処遇改善加算等で給与に反映している。	法人として資格取得に取り組まれている点が良いと思われます。引き続きの取り組みをよろしくお願いいたします。
12	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確なものはなく、体験利用でGHの暮らしを経験した上でご本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合に受け入れ可能としている。その際相談支援事業所や家族、関係機関等とも最終的な調整会議をおこない判断している。	断ったケースはなく、関係機関や家族等と調整会議を行った上で受け入れの判断ができている点が良いと思われます。他の利用者との調整もあると思われますが、引き続きよろしくお願いいたします。 医療的ケアが必要な方においては看護師等の医療職配置がないため、受け入れは現実的に難しいかと思われます。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 現状断ったケースはないが、住居環境等によっては受け入れが難しい場合もあると思われる。	住宅環境については施設整備等で対応が可能となるのか、法人として修繕を行う予定があるかをご教示ください。 障害特性上の問題等はあると思いますが、今後とも受け入れについて前向きな検討をお願いいたします。
13	災害等における体制整備及び防災への備えについて	食料品の備蓄は各住居ごとに概ね1週間分を備蓄している。その他不足が生じた際は法人内の通所事業所より物品や人員の協力が得られるよう備えている。 (別紙③参照)(非公表)	様々な想定がされているほか、不足が生じた場合は法人内の別事業所から協力を得られるなど、法人内で協力関係が構築されている点が素晴らしいと感じました。 賞味期限等のチェックを含め、引き続きの備えをお願いいたします。

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)	入居者37名のうち法人外相談支援事業所は7名が利用。BCP研修・訓練は法人研修と絡めて実施。GHにおいては、夜間帯の震災を想定したシュミレーション訓練を実施。	年2回の避難訓練や夜間帯の震災へのシュミレーション訓練については引き続き継続をお願いいたします。 地震以外の災害や、入居者の急な異変に対する研修訓練も別途必要かと思われます。
15	その他	(その他、独自の工夫点について記入)	食事については外部配食サービスを利用されているのですが、法人の持ち出しもあるなど、やりくりで苦慮されている印象を受けました。サービスの持続可能性の観点から、根拠ある相応の値上げにつきましてもご検討ください。

報告・評価シート

事業所名		ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀	
項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	
		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1	<p>地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定）</p> <p>※会議の次第及び議事録を添付すること</p>	開催日	未定
		参加委員数	未定
		開催方法	未定
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	未定
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について	
		<p>令和6年度は未開催でしたので、令和7年度は開催致しますが、市の周知が終了後にとの事ですので、6月以降にご協力の依頼をします。議題・報告内容としましては、障害特性や、地域との関わり方等を議題にする予定です。</p>	
		地域連携推進会議における要望・助言等について	
		<p>（会議において推進員等からの要望や助言を記載）</p>	
地域連携推進員の訪問について			
<p>（施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）</p>			
議事録の公表方法について			
2	設立目的・運営方針	【設立目的】	<p>共同生活援助と短期入所の目的を理解して運営されていると思われます。</p>
		<p>共同生活援助と短期入所の運営規定を添付致します。運営規定 第1条をご参照ください。（非公表）</p>	
3	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>外出時にも職員が同行していただけることはありがたいですが、職員の対応が難しい場合、利用者に不利益が生じる可能性があることをご留意ください。</p> <p>ほとんどの入居者が日中活動サービスを利用しているほか、日中活動サービスを利用していない利用者に対しては、運動不足にならないように配慮して、生活の安定に努められている点が良いと思います。</p> <p>利用者の社会性を担保するために日中活動を促すなど、個々の特性に合わせて対応されているほか、積極的に外部の資源を活用されていることが分かりました。</p> <p>訪問事業の受け入れ頻度については、医師や関係機関からの判断をいただきながらご検討ください。</p>
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
		<p>外部の日中活動 サービスの利用者人数： 9 人</p>	
		<p>生活介護 6名 就労継続支援B型 3名</p>	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について	
<p>外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。（非公表）</p>			

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 移動支援を利用し、柏スタジアムでサッカー観戦する方や、外食やショッピングモール、ボーリングを楽しまれている方がおります。ご実家に泊られる方や、ご家族と外出や外食される方がおりますので、それぞれのスケジュールに合わせ、入浴時間や食事の発注と提供時間を変えています。外出時の薬の用意や外出前の身支度、金銭管理等を支援しております。町内会でイチゴ狩りの催しがあり、町内会長にご連絡しましたら、「ぜひご参加ください」との事で、ご家族様や後見人様に了承を得て、参加の申し込みをしましたが、不作で中止という事がありました。	帰宅時支援加算を活用して家族との交流支援を実施していることが分かりました。 利用者のスケジュールに合わせてサービス内容を調整できているほか、催しの中止は致し方ないですが、町会とも連携のうえ、地域生活ができるよう配慮がされており評価いたします。スポーツ観戦、ショッピング等のインフォーマルな地域資源の活用も評価できます。利用されている移動支援事業所に偏りがいないかご留意ください。
		体験の利用等のニーズに対応しているか。 令和6年5月1日から令和7年5月1日までの間、6名が弊社施策の無料体験入居を最長1週間利用し、内5名がご入居の運びになりました。	
		事例：（非公表）	
5	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
6	地域に開かれた運営について	【GHからの利用人数】 人	制限なく面会ができるなど、地域とのつながりを持った生活が送れるよう配慮されており、家族や地域と積極的に交流されている点が良いと思います。 また、消防署の方に避難訓練へ参加いただき、事業所や入居者の事を理解していただくことは、有事に備えての情報共有に繋がりますので、ぜひ継続して実施をお願いいたします。
		【通所の頻度】 1週間に 日程度	
		・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み	
		・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご家族と外出される方がおり、制限は無く自由にご家族やご友人とご対面できます。年末年始などの長期連休時は、ご実家に連泊されたり、月1回のご実家に泊られる方もいらっしゃいます。町内会に加入しており、回覧板が回ってくるので、参加できそうな催しには、利用者様の安全を確保して、参加しようと思っております。また散歩や通院同行時、近隣の方と交流を持つように挨拶や会話をしております。 ホームで行う避難訓練の際には、管轄されている消防署にご参加いただき、ご入居者様の状況を共有し、避難経路や火災時の対応方法等をご指導いただきました。	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生： 0人 ボランティア： 0人	
6	地域に開かれた運営について	ご入居の際に、弊社社員により引越しの荷物を運び、居室に配置致しました。今後は外部のボランティアの方の受け入れを積極的に検討してまいります。	外部のボランティア等を積極的に受け入れることで、地域とのつながりがより一層深まると考えられますので、ぜひ受け入れをお願いいたします。 実習生等の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。また、ボランティアの方にしていただくことを明確にすることが望ましいです。

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7	短期入所の併設について	<p>・前年度の受け入れ人数</p> <p>受け入れ人数： 3人</p> <p>うち市の事業による受け入れ： 1人</p>	<p>利用者の状況に応じた受け入れ体制が整えられており、適切な対応だと感じました。</p> <p>地域生活支援拠点としても機能を果たしており、様々なニーズに対応できていると思われます。</p>
		<p>・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例</p> <p>地域生活支援拠点として受け入れた方は、ご家族との関係性に悩み、不穏になっているとの事で、相談員様からご連絡を頂きました。短期入所中は不穏になる事無く、生活されていますが、ご家庭に帰ると再度不穏になられる可能性があるため、長期でご利用しています。もう1名は、他法人のGHにご入居していますが、生活環境で不穏になってしまい、緊急受診しているが、現在入居しているGHに戻ると、また不穏になってしまう、との事で、相談員様からお電話を頂きました。当ホームで、ご本人様の気持ちが落ち着くならと思い、受け入れました。あと1名は、自立の練習目的で定期的にご利用して頂いて</p>	
8	支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>日勤2名・夜勤2名での支援体制です。日勤は共有部や居室の掃除、入浴介助や散歩、買物・受診同行等を行っております。風呂は、都度掃除・湯の入れ替えをしており、毎日、清潔に入浴をして頂いております。居室掃除も入居者様によっては一緒に行います。支援が必要な方は、職員が行います。夜勤は夜間の2～3時間置きの巡視。朝は全入居者様の血圧・体温・血中酸素濃度を測定しています。日勤・夜勤は食事の時間までに調理し、提供。服薬管理も行います。また、定時でオムツ確認を行っています。</p>	<p>日中・夜間共に職員が確保され、体調管理なども行われており、良い体制と思われます。</p>
9	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>ご入居者様のご希望や体調の変化、お怪我や入院等があった際は必ず関係する事業所へご連絡し、必要に応じて担当者会議を開き情報共有と安全な支援方法について一緒に考えます。</p> <p>事例（非公表）</p>	<p>利用者の状況に応じて医療関係者や後見人など関係機関と連携し、情報共有や安全な支援方法を検討されており、適切に連携が取れていると思われます。</p> <p>各事例において、利用者の近くでアセスメントが行われ適宜関係機関へ繋いでいることが分かりました。</p>
10	従業者の資格取得状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>令和2年4月 ソーシャルインクルーホーム越谷花田 施設長 令和3年2月～ソーシャルインクルーホーム松戸東平賀 管理者 令和6年12月 強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践 受講</p> <p>不安な事や疑問に思った事は、エリアマネージャーに相談し、フォローしていただいております。毎月、本社ミーティング・千葉エリアミーティングもあり、虐待防止・身体拘束等の障害福祉について学ぶ事が出来ます。</p>	<p>強度行動障害研修を受講したことを評価いたします。支援スキルを上げるため、積極的な資格取得や研修の受講をお願いいたします。</p> <p>本社やエリアマネージャーのフォローアップを要しながらも、利用者への積極的な働きかけを行っており、問題ないと思われます。</p>
		<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>平成25年5月～平成30年12月 訪問介護員 平成30年12月～令和2年12月 介護ステーション訪問介護員 令和2年12月～令和3年12月 就労継続支援A型 職業指導員 資格 精神障害者ホームヘルパー・同行援護従業者・介護福祉士・千葉県相談支援従業者初任者研修・サービス管理責任者基礎研修・サービス管理責任者実践研修</p> <p>・支援スキルの高い従業者を置いているか。</p> <p>社会福祉士1名・介護職員初任者研修3名・移動支援従業者養成研修1名・訪問介護員2級養成研修課程1名 経歴として、生活介護や就労継続支援A型の職業指導員をされていた方が3名います。知的障害者入所施設で生活支援員をされていた方が1名います。</p>	

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11	障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 事業所内研修：会社での年間研修計画あり。（年間研修スケジュールをご参照ください。） 毎月ホーム会議を行っており、入居者様の支援方法や、障害特性について確認しております。 事業所外研修：会社として強度行動障害研修やサビ管に関する研修はエリアマネージャーを中心に受講推奨、管理しています。生活支援員も率先して取得していきたいと考えております。	資格取得に向けた講習や研修を計画的に受講されている点が良いと思います。様々な特性をお持ちの利用者様に対応できるよう、今後とも事例等を通じた研鑽をお願いいたします。 ホーム会議における支援方法の検討について、専門職等からの助言があるかどうかをご教示ください。
		・資格取得への取り組みはあるか。 サービス管理責任者や強度行動障害に関する研修については、受講費の補助があります。その他の資格取得に向けた講習や研修については、上長と検討のうえ、対応しております。	問題ないと思われますが、受講費の補助ということは一部職員の負担があるのかが気になります。
12	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 添付させていただいた運営規定をご参照願います。 共同生活援助：第8条（入居にあたっての留意事項） 短期入所：第9条（サービス利用にあたっての留意事項） 運営規定にある規定を守っていただくとともに、特性に合わせ、支援の検討などをご相談させていただいたうえで、個々に決めてまいります。	多様な障害種別の特性に合わせた利用者の受入を行っており、良いと思われます。 障害特性への配慮を含め、今後とも前向きな受け入れの検討をお願いいたします。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 本入居ご希望の方で、弊社施策の無料体験をご利用いただいた時に、他入居者で動きの激しい方がおり、咄嗟な動きが出来ない為、怪我などの不安を考慮し、安全面を職員で検討しましたが、設備の問題や人員を必要とする為、お断り致しました。	日中サービス支援型の共同生活援助として、設備・人員基準にかかる事由は可能な限りご対応いただけるよう整備をお願いいたします。 また、受け入れを断られる際に、計画相談事業所や基幹相談支援センター等へ情報提供を行うなどのアフターケアをお願いいたします。 障害特性の配慮を含め、今後とも前向きな受け入れへの検討をお願いいたします。
13	災害等における体制整備及び防災への備えについて	消防計画・非常災害対策計画に基づいて、年間ホーム研修で年1回づつ、夜間と日中を想定し避難訓練を行っております。また、参加出来なかった職員には避難訓練時の情報を共有しています。各計画書を提出いたしますので、ご参照ください。	非常災害対策計画の作成とともに、年1回づつ夜間・日中を想定した避難訓練を実施されており、良いと思われます。継続的な実施をお願いいたします。
14	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	・「7.地域に開かれた運営について」でご質問のあった、松戸市避難行動要支援者名簿の個人登録されているのか？ですが、福祉長寿部福祉政策課に確認しましたら、GHにご入居されている方は登録できないとのことご返答でした。 ・「主治医の指示に基づいた訪問看護」について、医療連携体制として、会社で委託している訪問看護とは別に、ご入居者様それぞれで、ご契約しております訪問看護が主治医の指示書の基、健康管理されております。	委託している訪問看護と入居者が個別で契約している訪問看護がある場合、緊急時に備えて双方の情報共有ができていますとより良いと思われます。 今後も利用者へ必要な医療を適切に提供できるよう、継続的な取り組みをお願いいたします。

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
15	その他	<p>車いすの方でも生活しやすい様に、エレベーターや車いす用トイレの設備、リフト浴もあります。洗面台も1階2階とも車いすの方でも使いやすい仕様になっております。玄関・風呂場に段差がなくバリアフリーになってます。</p> <p>昨年度はレクリエーションも行いました。ご自身でメニューを決めて、職員が注文と受け取りを行い、テイクアウトしてホームのリビングにて食事をしたり、たこ焼きをご入居者様の前で焼き、出来立てを召し上がっていただいたりしました。また、七夕・ハロウィン・クリスマスのイベントを楽しむ一環でホーム内を飾り付けしたり、怪我に気を付けながら、職員と一緒に紙や毛糸を使い作品を制作しました。</p> <p>訪問歯科・訪問診療も、必要な方は個別でご契約していただき、緊急時や健康に不安がある時等も医師からの指示を受けやすくしており、情報共有をしております。</p>	<p>重度の利用者にも対応できるよう設備がバリアフリーで整備されている点が良いと思います。</p> <p>レクリエーションにおいて利用者の意思が反映され、季節のイベント等も積極的に取り入れるなど、総じて様々な障害に対応できる工夫されている点も良いと思います。</p> <p>訪問診療・訪問歯科の利用については事業所側が積極的に介入していただくことが望ましいと考えられます。</p> <p>食材料費の高騰が今後も続く予想されるため、毎食300円の食費について、栄養価や量が担保できない場合、根拠ある相応の値上げも検討すべきではないかと思われます。</p>

報告・評価シート

事業所名		グループホームイノベル松戸						
項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
1	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和7年	12月	日	事業継承の事由も含め、行政職員の参加が望ましいと思われます。 一度実施していただくことが大切かと思いますが、福祉領域に知見を有する方について、相談支援専門員、基幹相談支援センター、特別支援学校関係者等の参加についても検討をお願いいたします。		
		参加委員数	5人					
		開催方法	対面					
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	利用様 利用様の家族様 福祉に知見のある方 経営に知見のある方等々				利用者や利用者家族、地域の方の理解が進むような議題選びを心がけてください。引き続きの検討をよろしくお願いいたします。 内容について検討をお願いいたします。 ホームページ等で広く公表していただくことが望ましいと考えます。	
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について						
		利用者と地域との関係作り、地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、施設サービスの透明性、質の確保、利用様の権利擁護等々						
		地域連携推進会議における要望・助言等について						
		（会議において推進員等からの要望や助言を記載）						
		地域連携推進員の訪問について						
		（施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）						
議事録の公表方法について								
2	設立目的・運営方針	【設立目的】 株式会社INNOVEL HEALTHCAREが設定するGHイノベル松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理を図ると共に利用者の立場に沿った適切な共同生活援助の提供を確保することを目的とする。				日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われます。 適切な人員の配置や体制についてはできているものと読み取れますので、引き続きよろしくお願いいたします。		
		【運営方針】 利用者の意思及び人格を尊重し、地域での重要な役割を担う社会資源となる為、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。						
3	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。				利用者の特性に従った日中活動や機能訓練などが行われているため、継続して実施をお願いいたします。障害が重度の利用者に対しては、個別性も重視した支援ができると良いと思われます。 個別に構造化されたプログラムに沿った活動は良いと思います。実施にあたって各棟毎にしているのか、プログラムの策定において個別の特性にどのように配慮をしているのかご教示ください。		
		利用者様それぞれの特性に沿い、日中活動を行っています。グループで季節の創作活動を主に行い個別に機能訓練、リハビリを定期的に行っております。強度行動障害のある利用者様には、個別に構造化されたプログラムに沿った活動をマンツーマン支援にて実施しています。						
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について						
		外部の日中活動 サービスの利用者人数： 13 人 就労B型（7名） 生活介護（6名）				利用者の特性や希望に応じた生活スケジュールで良いと思います。引き続き実施いただくようお願いいたします。 日中活動を希望する利用者がある中で、受け入れ先がない事実は松戸市の課題として受け止める必要があると感じました。		
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について						
		外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 外部の日中サービスを利用したいが、受け入れ先がない方、日中もホームで過ごされたいとご希望される方もいます。 事例（非公表）						

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
4	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出支援は、近隣のスーパーに買い物支援、地域交流を深めるためお散歩支援に挨拶運動を行っています。 事例 7:00 起床、整容 7:30 朝食、口腔ケア 9:00 居室の清掃 10:30 散歩時間or散歩 12:00 昼食 13:00 創作活動（ビーズ通しや色分け、塗り絵等） 15:00 おやつ 16:00 入浴 洗濯 17:00 散歩時間 18:00 夕食、口腔ケア 19:00 自由時間 22:00 就寝	地域交流を行うために不可欠な挨拶の実施や、買い物やお散歩の支援などが行われており、良いと思われます。利用者の要望も取り入れつつ、引き続きの実施をお願いいたします。 人員体制の問題もあるかと思いますが、近隣のみで完結する内容のため、移動範囲を広げていただく等、余暇の内容を増やしていただければと思います。						
		体験の利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数を記入）	体験利用の受け入れについても検討していただくようお願いいたします。						
		（体験利用の事例を記入）							
5	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について							
		<table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table>		事業所名		サービス種別		利用定員	
		事業所名							
		サービス種別							
		利用定員							
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容							
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度							
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み									
6	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 事業継承の件もあり、しばらくの間ボランティア主催のイベントの受け入れを中断していましたが、今月より再開を予定、保護者様にお声掛けし交流の機会を図ります。	地域のボランティアサークルの受け入れは良いと思いますので、継続的な受け入れをお願いいたします。ボランティア主催のイベントについて、グループホームがどのように関わられているのかが気になりました。						
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	ボランティアを受け入れた際の利用者の反応について次回の評価部会にてお示しください。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。						
		<table border="1"> <tr> <td>受け入れ人数</td> <td>実 習 生：0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア：8人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：0人		ボランティア：8人		
		受け入れ人数		実 習 生：0人					
	ボランティア：8人								
ペリーグッドさん(ダンス)をボランティアでお呼びしました。									
7	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 人 うち市の事業による受け入れ： 人	隣接事業所にて緊急性のある方や一時的な受け入れの対応ができていた点が良いと思われます。 補充により職員が確保された場合、休館日（日曜・月曜）においても開所を行うと説明がありました。利用者によっては意図せず長期的な利用が必要となる可能性もあるため、早急な人員確保が必要と考えられます。 人材不足等により、対応に苦慮されているかと思いますが、ご対応いただきますようお願いいたします。						
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例							
		短期入所の事業所が隣りに隣接しており、緊急性のある方や一時的な受け入れも対応されておりますが、職員が少なく日曜日・月曜日が休館日になっており対応出来ていないとの事							

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
8	支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>平日利用者15名、20名に対してユニット2～3名 土日祝日利用者20名に対して1ユニット3～4名 夜間支援1階（A棟）ユニットに対して1名 夜間支援2階（B棟）ユニットに対して1名～2名配置にて支援体制を確保しています。</p>	<p>常時の支援体制が確保されていると思われますので、継続的な実施をお願いいたします。</p> <p>土日祝日における加配は評価できますが、災害等を想定すると夜間においても人員配置を手厚くしていただくことが望まれます。</p>
9	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>相談支援事業者とは利用者様の状況の変化やご様子など情報共有を行い連携を行っています。必要時または定期的な担当者会議の依頼もしています。</p> <p>通所先や他のサービス事業所とは送り出しや迎え入れの際などで情報共有を行ったり、連絡帳のやり取りなどで毎日の連携を行っています。問題や何か気になった点などの相談ができるような関係性の構築がされています。</p>	<p>連絡帳を用いた情報共有を評価いたします。</p> <p>また、定期的な担当者会議の開催や情報の共有に努められている点が良いと思われますので、継続的な実施をお願いいたします。</p>
10	従業員の資格取得状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>初任者研修修了 実務者研修修了 強度行動行動障害修了</p>	<p>管理者の経歴等について今回の評価部会にて補足の説明をお願いいたします。その他につきましては問題ないと思われます。</p>
		<p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>社会福祉士 サービス管理責任者 相談支援専門員初任者研修修了、障害者支援に関わる実務経験が8年以上あり。 週2日、月8日勤務。</p>	<p>研修修了者が配置されており、スキルとしては問題ないと思われませんが、サービス管理責任者の配置が週2日と少ないことが気になりました。今後勤務配置について検討があるか、他の業務との兼務の有無について今回の評価部会にてお示しください。</p> <p>非常勤の勤務自体は問題ないですが、サービス管理責任者以外にも経験の少ない職員へのアドバイスができる職員を配置するなど、アセスメントやモニタリングが適宜行えるような体制づくりをお願いいたします。</p>
		<p>・支援スキルの高い従業員を置いているか。</p> <p>初任者研修6名 実務者研修2名 強度行動行動障害3名 介護支援に関わる実務経験が3年以上の職員</p>	<p>配置としては問題ないと思われませんが、社会福祉士を始めとするソーシャルワーカーが配置されていることが望ましいです。</p>
11	障害福祉関連事業における経験がない従業員に対する対応	<p>・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。</p> <p>事務所に提示してあります。</p>	<p>年間計画にもとづいた研修がなされているため、計画通りの実施をお願いいたします。</p> <p>事例検討など、実践的な研修も積極的に受講できるようお願いいたします。</p>
		<p>・資格取得への取り組みはあるか。</p> <p>資格手当、給与の等級制度などの金銭面でのサポートや実務経験を積んだ職員へのサービス管理所得など管理職を目指すような育成体制を整えている。</p>	<p>資格取得への取り組みがされていて良いと思われませんが、外部研修等の資料配布や周知について実施いただけるとより良いと思われます。</p>
		<p>・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。</p> <p>基本的に重度支援区分の高い利用者様を主体で受け入れを行っています。医療依存が高く医療従事者の対応が必要なケースや精神疾患にて慎重な対応が必要なケースなど</p>	<p>日中サービス支援型のグループホームとして重度の方を受け入れる方針は正しく、地域としては非常に心強いと思われませんが、現場のスキル等が充足されているかは疑問に残りました。プログラムの整備や支援の実情に合わせた受け入れの調整をお願いいたします。</p>
12	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<p>・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか</p> <p>利用相談にて断った事例はありません。通所先の兼ね合いにより決まらなかった、ご家族との利用料の折り合いがつかなかったとの事例はあります。</p>	<p>「精神疾患にて慎重な対応が必要なケース」はどのような事例を想定されているか、ご教示ください。</p> <p>上記と重複いたしますが、支援区分が軽度・中度である方の受け入れについては可能であるのかご教示ください。</p> <p>無理なく継続的な支援が可能となるような受け入れをお願いいたします。</p>

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13	災害等における体制整備及び防災への備えについて	施設内の業務継続計画を策定し、避難訓練は、年2回の実施をしております。備蓄に関しては常時3日分の備蓄を備えています。	<p>年2回の避難訓練の実施や、3日分の備蓄がされている点は良いと思います。備蓄の賞味期限等を確認していただき、継続的な備えをお願いいたします。</p> <p>夜間帯の被災に対する体制が不足していると感じました。今後、消防署等と連携されるとより実践的な防災体制が整えられるのではないかと考えられます。</p>
14	協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	イノベルが運営する訪問看護事業所より派遣された看護師がホームに常駐しています。訪問看護契約をされているご利用様の健康観察をスケジュール計画に基づいて行い、訪問看護以外の時間は生活支援員として業務を行っています。	<p>訪問看護事業所から派遣された看護師が常駐し、計画に基づいた健康観察が行える体制が良いと思いました。</p> <p>一方で、生活支援員としての配置はグループホーム職員とみなされるため、訪問看護師として派遣されている立場を鑑みると現実的ではないのではないかと感じます。</p>
15	その他	松戸市社会福祉協議会のボランティア活動団体との交流を継続しています。 外出支援、お散歩支援の際、地域交流を深める為にも挨拶運動も継続して行っています。	<p>運営体制が新しくなりましたが、前体制にて発生した事案を風化することなく、今後の運営に活かしていただきたいと願っております。</p> <p>利用者様の要望等も取り入れながら、ボランティア活動団体との交流や地域交流のための外出支援等の活動を継続していただくようお願いいたします。</p>

報告・評価シート

事業所名		しんわ松戸					
項目		【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1	<p>地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定）</p> <p>※会議の次第及び議事録を添付すること</p>	開催日	令和7年	5月	28日	<p>利用者の主体は特別支援学校の卒業生になるかと思われますので、特別支援学校関係者を交えて開催されたことは好事例であると考えます。</p> <p>町内会役員の方は当日欠席とのことでしたが、今後も地域の理解が深まるよう、地域の様々な関係者の出席について積極的にお声がけをお願いします。</p> <p>また、福祉に関する知見のある方へのお声がけを特にお願いたします。</p> <p>グループホームの概要や料金だけでなく、入居者の様子やタイムスケジュールなどを伝えられており、暮らしの様子がイメージできて良いと思われます。継続して実施していただければと思います。</p> <p>会議をグループホーム内で行った後、そのまま見学ができる点が良いと思います。</p> <p>特別支援学校関係の保護者からの質問が多かったとのこと、会議の趣旨とずれる可能性もあるため、問い合わせに関しては別途個別に対応していただくことが望ましいです。</p> <p>会議の議事録を閲覧できるよう配慮されている点は良いですが、可能であればホームページ等で広く公表していただくようお願いいたします。</p>	
		参加委員数					（予定）10人
		開催方法					グループホームでの対面方式
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）					<ul style="list-style-type: none"> ・利用者（とその保護者） ・支援学校職員、保護者 ・町内会役員 等
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの活用方法について ・しんわ松戸の取り組みについて （予定）					
		地域連携推進会議における要望・助言等について					
		（会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		地域連携推進員の訪問について					
		地域連携推進会議そのものをグループホームで開催し、参加者にはそのまま見学をしていただく予定です。					
2	設立目的・運営方針	【設立目的】 （別紙でも可） 別紙事業計画参照（非公表）				重度の方の受け入れについては地域資源として大切なことですので、日中サービス支援型の目的を理解して運営されており、良いと思われます。	
		【運営方針】 （別紙でも可） 別紙事業計画参照（非公表）					
3	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。				<p>「日中活動との差別化」とありますが、住まいであることから、生活を優先としたサービス提供が望ましいと思われます。</p> <p>内容に関しては生活に沿った内容の日中サービスが提供されており、自立した生活にも繋がるため良いと感じました。</p> <p>全ての利用者が日中活動に参加されており、良いと思います。また、同法人内以外の活動場所があることも良いと思われます。</p> <p>説明の中で、ほとんどの利用者が日中グループホームにいないとありましたが、その状態が常態化すると体調不良時や非常時に混乱を招く可能性があることをご留意ください。</p> <p>また、職員が生活介護事業所との兼務であることから、利用者の支援が特定の職員のみで完結するおそれがあるため、適正な職員配置がなされているかご教示ください。</p>	
		日中活動との差別化を図る為、生活に沿った内容の支援を重視している。 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物同伴や通院同伴等基本的な生活の支援 ・掃除や洗濯等の日常生活スキルの支援 ・食事や入浴、排泄等のADL面の支援 					
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について					
		外部の日中活動 サービスの利用者人数： 20人					
		生活介護18名、就労継続支援B型2名					
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について					
外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。							
非該当							

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
4	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 日中活動がない休日は、ご利用者様に対して散歩やドライブ・買い物等を促し、外出や活動の機会を積極的に作っています。	積極的に外出や活動機会が作られており良いと思われますので、今後とも継続して実施していただくようお願いいたします。 意思決定支援の視点から、利用者から余暇に関する要望があるのか、要望に応じたサービス提供をしているのかご教示ください。 可能な限り体験を受け入れていただきますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。	
		体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数を記入) 5名（令和6年度）		
		(体験利用の事例を記入) 令和6年度は、2泊3日～8泊9日までご希望の日程に合わせて体験利用を受け入れました。令和6年9月に満室になったため、現在は体験利用を受けられなくなっております。		
5	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	・通所事業所の概要について		
		事業所名		
		サービス種別		
		利用定員		
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容		
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況		
【GHからの利用人数】	人			
【通所の頻度】	1週間に	日程度		
・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み				
6	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 第三者委員会聞き取り時やモニタリングに積極的にご家族にお声をかけ参加していただいております。また、町内会に参加し、行事にも積極的に参加しようと心がけております。	施設から利用者家族へ声掛けをしていただけるのはありがたい、良い取り組みと思われますので、継続して実施をお願いいたします。 また、町内会活動に積極的に参加できており、コロナ禍後は地域のイベントも増えてきているため、積極的な参加をお願いいたします。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
		受け入れ人数		実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人
		受入実績なし		
7	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 11 人 うち市の事業による受け入れ： 0 人	受け入れ状況は良いと思われます。空きがある場合には緊急・一時的な支援の受け入れについてもご検討ください。 また、松戸市の地域生活支援拠点への登録についてご検討ください。	
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 短期入所は常にフル稼働であるとともに、グループホームも満室であることから、緊急的な受け入れに関しては実績がありません。		
8	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 配置基準に加え、人員配置体制7.5：1の世話人と生活支援員を加配しています。おもに平日日中は、常時8名以上を配置しており、土日は6名以上を配置しています。	加配自体は良いことと思いますが、平日日中の加配が必要であるか、また、5と重複いたしますが、生活介護事業所だけでなくグループホームに職員が適正に配置されているかご確認をお願いいたします。	
9	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・常時各相談支援専門員と連絡を取り合い、その利用者に対するより良い支援を相談しながら行っております。 ・単身での外出が難しい利用者には、移動支援、行動援護、訪問看護の事業所と連携し、外出のお手伝いをしております。	関係機関と連携が取れているほか、他のサービス事業所と連携のうえ外出支援ができており、良いと思われます。今後とも継続して実施をお願いいたします。	

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
10	従業員の資格取得 状況や実務経験に ついて	・支援スキルの高い管理者を置いているか。	スキルの高い職員が配置されており、良いと思われます。 現在の事業所で何年勤務されているか次回の評価部会にてお示しください。
		・障害福祉に関わる業務歴15年 ・介護福祉士資格保持 ・強度行動障害実践研修修了者	
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。	良いと思われます。
		・障害福祉に関わる業務歴11年 ・介護福祉士資格保持 ・強度行動障害実践研修修了者	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。	良いと思われます。
		・精神保健福祉士資格（2名） ・介護福祉士資格（3名） ・強度行動障害実務者研修修了者（4名） ・実務者研修修了者（1名）・初任者研修修了者（1名） をそれぞれ配置しております。	
11	障害福祉関連事業 における経験がない従業者に対する 対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ・3週間に1回、障害者福祉向けのWeb動画を用いて研修（虐待・身体拘束・感染症予防・BCP作成等、動画視聴後簡単なテストおよび研修報告書提出にて終了） ・勤続半年をめぐり強度行動障害基礎研修を受講していただいています。	研修の受講計画に受講期間目安が提示されており、良いと計画と思います。今後も継続的な実施をお願いいたします。 Web動画を用いた研修は個別に実施されているかご教示ください。 また、強度行動障害基礎研修受講においては、職員と利用者の双方を守るためにも、半年を待たずに受講をしても良いのではないかと感じました。
		・資格取得への取り組みはあるか。 法人内の資格取得支援制度を活用しています。 ※別紙参照（非公表）	良い制度であると思います。継続して実施していただき、利用者様へ還元していただきますようお願いいたします。
12	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確な基準は設けてはいませんが、重度障害者の受け皿になれるよう運営をしており、現在そのような方々が住まわっています。見学や数回の体験入居を経て、その環境で穏やかに過ごせる方であれば特に問題はございません。	見学や体験入居を経て穏やかに過ごせる場合に入居可能とされており、公平な受入れのためにある程度の基準の設定や会議による決定が必要ではないかと考えられます。 定員20名に対し、14名の強度行動障害者が生活することは職員の支援スキルを要するため、一つのグループホームで対応するのではなく、資源の創出を含めて検討していただく必要があるのではないかと考えられます。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 直近1年間にしまして、見学・体験入居を経ての受け入れを拒否したことはございません。	継続して受け入れをお願いいたします。見学や体験入居そのものを拒否した事例があるかをご教示ください。
13	災害等における体制整備及び防災への備えについて	・日勤帯、夜勤帯それぞれ別日で設定しての災害避難訓練を実施。 ・ご利用者様、職員数分の水と食料を3日分備蓄。 ・BCP計画書作成（別紙）（非公表）	日勤帯・夜勤帯それぞれで災害訓練を実施できており良いと思われますので、継続して実施いただくようお願いいたします。

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
14	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)	<p>5.重度の障害をお持ちの利用者が引きこもりにならないように、との思いで同一法人で生活介護も運営しております。ご自宅から当グループホームへ転居された方はまず引きこもりにならないように同法人の生活介護に通っていただいておりますが、元々他の生活介護事業所に通われていて、グループホーム転居後も継続をご希望される方には、そのまま元の生活介護事業所に通っていただいております。</p> <p>6.8.9.のご指摘に関しましては、本文をご参照ください。</p> <p>10.昨年度中に「こども発達リハビリクリニックむさしの」から「こころと眠りのクリニックみさと」という精神科と契約変更をし訪問診療をお願いしております。それに伴いまして、「柏ホームケアクリニック」という内科系クリニックとも新たに契約し、訪問診療をお願いしております。</p>	<p>重度の利用者が多いため、引きこもりになりがちなところを生活介護の利用により工夫されているほか、必要な医療や看護、福祉サービスの提供があり、良いと思われます。</p> <p>訪問診療に関しては高齢化に伴い、内科の診療も必要になると考えられることから、精神科だけではなく、両面から適切な医療が受けられることが望ましいと考えられます。</p>
		<p>加えまして、新規入居者に関しましては入居時に、今まで通院されていた病院か訪問診療かを選択していただき、ご本人や保護者の方のご意向に沿うような形を取っております。</p> <p>12.13.15.のご指摘に関しましては本文をご参照ください。</p>	<p>今まで通院していた病院とグループホームにて契約をしている訪問診療を選ぶことができ、選択的医療が受けられる点が良いと思われます。利用者の利便性や意向が尊重されていると感じました。</p>
15	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間帯の職員を多く配置することで、朝食や身支度等の支援を手厚く行え、通所へ出発する際スムーズに送り出すことが出来ております。 ・建物内の窓、物置を除くすべての扉を吊り引き戸にし、バリアフリーにしております。 	<p>夜間帯の職員を多く配置することで、利用者がゆったりと一日を過ごせるように工夫されており、強度行動障害の方への対応として適当であると思われます。</p> <p>職員の確保が難しいと思われますが、人員面で配慮がされているほか、施設についても利用者の安全が考えられており、素晴らしい配慮であると感じました。</p>

報告・評価シート

事業所名		パンピのおうち・いずみ					
項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
1	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	年	月	日	参加者の調整に難航しており、利用者家族は遠方居住者や高齢の方が多く参加可能な方がいないとのことですが、お便りなどで概要をお知らせすることも方法のひとつであるかと思われます。 民生委員のみならず、福祉領域にも知見を有する方の参加が望ましいと考えられます。相談支援専門員、基幹相談支援センター、特別支援学校関係者等の参加もご検討くださいますようお願いいたします。 議題の設定は良いと思われます。 施設と地域の連携に重点を置き、連携推進会議だけでなく、日頃より地域との繋がりを意識した支援を実施していただくことが重要であると考えられます。 連携推進会議の前に訪問の機会を設け、会議でご意見を諮れるようにすると良いと思われますので、ご検討をお願いいたします。 ホームページ等で広く公表していただくようお願いいたします。	
		参加委員数					5人
		開催方法					対面
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	サービス管理責任者 利用者・利用者家族 民生委員 自治会長				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		予定 ・障害について ・施設と地域の連携について ・日常生活の様子について ・支援者の様子について					
		地域連携推進会議における要望・助言等について					
		（会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		地域連携推進員の訪問について					
		（施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）					
議事録の公表方法について							
2	設立目的・運営方針	【設立目的】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営規定 第1条をご参照ください。（非公表）			日中サービス支援型の目的を理解して運営されており、問題ないと思われます。		
		【運営方針】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営方針 第2条をご参照ください。（非公表）					
3	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。			生活に沿った日中サービスが提供されているほか、利用者の衛生管理ができており、良いと思われます。定期的な訪問看護についてはぜひ引き続き実施していただき、医療や福祉との連携を継続していただくようお願いいたします。 立地上の問題から、医療機関の受診にバス等交通機関の利用が必要なため、受診に同行していただけるのは大変ありがたいです。反面、受診者が多く、職員の同行に苦慮されているとのこと、往診の活用等負担を減らす工夫をしていただくことが良いと考えられます。 日中サービス支援型の中では比較的中度の方が多いように見受けられますが、どの程度のADLの方を支援しているのか次回の評価部会にてお示しください。		
		生活に沿った支援を重視しています。 ・掃除や洗濯等の日常生活の支援 ・食事や入浴、排泄等のADLの支援 ・検温や体重測定を含め訪問看護（月2回）連携し健康管理支援 ・受診同行等の支援 利用者に合わせ、出来ない部分を支援し一緒に行っています。					
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について					
		外部の日中活動 サービスの利用者人数： 4 人					
		生活介護3名・就労支援B型1名					
外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 ・自分に合う活動場所を検討中、相談員やご家族・病院等と相談し見学や体験をしています。活動場所側の受入れ待ちの利用者も含まれます。 午前 図書館や地域包括支援センターへ 外出 午後 買物同行 居室や居間でネットを使用して調べもの・ノートにまとめる・職員と歓談・散歩・塗り絵・プラモデル作成・受診同行・ゲーム・掃除			活動内容は良いと思われます。 地域包括支援センターは年齢的に外出先として適当であるのか疑問に残りました。記載内容から、利用者の個別のニーズに対応したものと読み取れました。				

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>買い物支援や地域交流を積極的に行っている点が良いと思います。地域連携を継続していただくことで、顔見知りの関係ができることより良いと考えられます。</p> <p>余暇活動につきましても継続的な実施をお願いいたします。外出先については近隣だけでなく、利用者の希望を確認し、取り入れていただくこともご検討ください。</p> <p>グループホーム自体の生活イメージを把握していただくための体験である点が良いと思います。今後も積極的に体験を受け入れていただくようお願いいたします。</p> <p>また、空き状況に応じて緊急・一時的な受け入れ等が想定されるため、初めての方に提供するサービスとして日中サービス支援型のグループホームが適当かどうかは相談支援等、関係機関の判断が重要であると感じました。</p>
		体験的利用等のニーズに対応しているか。	
		5名	
		<p>(体験利用の事例を記入)</p> <p>・グループホームが初めての利用者様にホームでの暮らしを体験できるようにしています。</p> <p>・体験から本入居への移行だけでなく今後の入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用しています。</p>	
5	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について	
		事業所名	
		サービス種別	
		利用定員	
		・通所事業所での日中活動の具体的な内容	
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況	
		<p>【GHからの利用人数】 人</p> <p>【通所の頻度】 1週間に 日程度</p> <p>・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</p>	
6	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<p>近隣の方と交流が図れるよう挨拶や会話などをされている点や、家族の来訪が自由な点が良いと思います。</p> <p>ご家族の来訪は利用者が安心して生活が送れる反面、防犯等の問題もあるため、来訪の時間帯等、具体的な対応について次の評価部会にてお示しください。</p> <p>実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。</p>
		ご家族は常に来訪可能で、入居者の部屋への出入りは自由になっています。また、散歩や買い物等同行の際に、近隣の方と交流を図れるように挨拶や会話等を行っています。	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数	
		実習生： 人 ボランティア： 人	
7	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数	<p>受け入れの状況は良いと思われますので、継続的な受け入れをお願いいたします。緊急の利用希望に対する受け入れにつきましても期待いたします。</p> <p>また、松戸市の地域生活支援拠点への登録についてご検討ください。</p>
		受け入れ人数： 6 人 うち市の事業による受け入れ： 0 人	
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
8	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	<p>記載から支援体制は確保されていると思われますが、夜間帯が1名体制のためメンタルケア等、勤務スタッフへのフォローがあると良いと思います。</p> <p>また、身寄りがいない利用者が多いとの説明がありましたので、災害時を想定し、夜間帯は加配していただくことが望ましいと思われます。</p>
		<p>平日（日中）：利用者3名/10名に対して3名 （夜間）：利用者9名/10名に対して1名</p> <p>土日（日中）：利用者6名/10名に対して2名 （夜間）：利用者6名/10名に対して1名</p>	
9	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>・入居者本人はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題についてどのようにしたらより良いのか共に模索している。</p> <p>・怪我や体調の変化があった際には、必ず関係する事業所等へ情報共有し、どのように支援していくかなど連携している。</p>	<p>関係機関と連携を取り、支援内容を検討されている点が良いと思います。今後も適宜連携をお願いいたします。</p>

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
10	従業者の資格取得 状況や実務経験に ついて	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 就労継続支援A型 生活支援員/職業指導員 7年 介護職員実務者研修 サービス管理責任者基礎研修 受講予定	スキルの高い職員が配置されており、良いと思われます。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ・就労継続B型・就労移行 支援員 6年 ・サービス管理責任者 7年	研修受講等で取得が可能な資格については取得していただくことが望ましいです。法人として資格取得が推奨されていることから、管理者・サービス管理責任者の受講状況について次の評価部会にてお示しください。
		・初任者研修 ・社会福祉主事任用資格	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 ・社会福祉士 ・介護職員初任者研修 ・介護職員実務者研修 ・介護福祉士 ・強度行動障害者支援者養成研修（基礎・実践）	良い配置であると思われます。社会福祉士の方が、事業所内でどのような業務を行っているかをご教示ください。
11	障害福祉関連事業 における経験がない 従業者に対する 対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 年間研修計画に沿って実施予定 外部研修については、その都度案内に従い該当する職員に受講を促している。	年間計画に沿っての実施をお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。	資格取得が手当として給与に反映されている点が良いと思います。 市内で実施される研修等へ参加していただくと、有益な情報を得られる可能性がございますので、ぜひご確認ください。
12	利用希望者の受け 入れ可否の判断基 準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 体験利用で経験した上で本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合受け入れ可能としている。相談支援事業所・関係機関等と最終的な調整会議を行い判断している。	体験利用で本人が順応できる場合に受け入れ可能としておりますが、調整会議で最終決定を行うなど、受入れの可否について共有が図られており、適切な判断だと思われます。今後も適切な判断のもと受け入れていただければと存じます。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 離設（利用者が無断で施設外に出てしまう）等、建物の構造上で防ぐことのできない障害があった。体験時に他利用者とのトラブルがあった。 障害特性により共同生活を行う事が困難であった。	障害特性上の課題は今後もあるかと思われますので、適宜判断していただくようお願いいたします。
13	災害等における体制整備及び防災への備えについて	「非常災害対策計画」別紙参照（非公表）	計画に沿って体制整備がなされており、良いと思われます。継続的な備えをお願いいたします。
14	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)		
15	その他	・トイレ等は分かりやすくピクトグラムを掲示 ・極力段差の解消によるバリアフリー化 ・1階洗面台は車椅子の方でも使いやすくなっている。 ・浴室に転倒防止用に手すりを多く設置している。	利用者の様々な障害に対応できるよう工夫されており、とても良い施設と感じましたが、玄関の段差だけ気になりましたので、対応していただくようお願いいたします。 2階へのエレベーターがないため、利用者に必要なが生じた際の想定をお願いいたします。 職員への負担となっている病院への受診同行ですが、特に多科受診が負担であると考えられるため、内科については訪問診療に一本化し、必要時に眼科や皮膚科を受診する等の方法についてご検討ください。 また、一般内科で眼科や皮膚科等に関する一部の疾患に対応できる医療機関もありますのでご参考にしていただければと思います。

報告・評価シート

事業所名		サニースポット松戸上本郷					
項目		【事業所記入欄】				【市町村協議会等記入欄】	
		具体的な内容				要望・助言・評価	
1	地域連携推進会議 の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	2025年	7月	25日	町内会のみならず、福祉・経営に知見のある方の参加も望ましいと考えられます。 その中で、グループホーム等支援ワーカーとの連携は効果的であると思われます。他に、相談支援専門員、基幹相談支援センター職員、特別支援学校関係者等の参加につきましても検討をお願いいたします。	
		参加委員数	5人				
		開催方法	対面・サニースポット松戸上本郷				
		会議の構成員 （利用者家族、地域の関係者等）	女性利用者・男性利用者のご両親・GH支援ワーカー（地域関係者調整中）			利用者や利用者家族、地域の方などの理解が進むような議題設定を心がけてください。また、地域の福祉的なニーズを含め、グループホームとしてどのように関わられるか協議していただくようお願いいたします。	
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		地域連携推進会議における要望・助言等について （会議において推進員等からの要望や助言を記載）					
		地域連携推進員の訪問について （施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載）				様々な方から意見をいただき、運営に反映していただければと思います。 検討のうえ、実施をお願いいたします。	
議事録の公表方法について							
2	設立目的・運営方針	【設立目的】（別紙でも可） 別紙参照（非公表）				日中サービス支援型の目的を理解して運営されており、問題ないと思われます。	
		【運営方針】（別紙でも可） 別紙参照（非公表）					
3	利用者の主な日中の活動について	GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 AMは居室で過ごす時間、14時～15時30分は余暇支援（曜日で異なりますが主に水書道や椅子ヨガ、散歩）15時30分以降は通所先から帰宅した利用者とおやつタイムを行っている。				利用者の状況に応じた日中サービスが提供されており、良いと思われます。利用者の要望も取り入れながら、引き続き支援をお願いいたします。 居室で過ごす時間が午前中と決められている点について、何らかの理由があるのか気になりました。	
		外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について					
		外部の日中活動 サービスの利用者人数： 7 人 生活介護5名、就労継続支援B型事業所2名 移動支援を活用しております。				3名の利用者について、障害特性等の理由から日中サービスの利用ができていない状況と思われますが、将来的に何らかの日中サービスが利用できると良いと感じました。	
		外部の日中活動サービス等を利用していない方について					
		外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 （非公表）					
						他の事業所や福祉に知見のある方に相談していただくことで、最適な支援方法が見つかる可能性があると思われます。	

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
4	利用者に対する地域生活の支援状況について	利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 毎週、金曜日または土曜日に近所の公園やスーパーに散歩、買い物の外出支援を行っている。余暇活動は、水書道、椅子ヨガ、仏像ぬりえ、ゲームなど週変わりに行っている。	支援内容は良いと思います。近所の公園やスーパーに行くことで地域の方とも顔見知りになっていただけるとより良いと思われます。 体験利用の無料提供は、グループホームでの生活を体験することで本人の選択肢が広がるため、良い取り組みであると思います。今後も継続していただくようお願いいたします。 体験人数に対して実際の入居者が少ないことから、体験利用者の入居希望が少ないのか、グループホーム側が入居者を選定しているのか気になりました。仮に後者である場合には、日中サービス支援型グループホームとしての意義に関わる部分であると考えられます。	
		体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数を記入) 体験利用人数、30名		
		(体験利用の事例を記入) 2泊3日の体験利用は無料で提供している。		
5	同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	・通所事業所の概要について		
		事業所名		
		サービス種別		
		利用定員		
		・通所事業所での日中活動の具体的内容		
		・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度		
		・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み		
6	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 隣接しているライブラリ松戸上本郷で近所の教会から聖歌隊が来るなどイベントがあり参加させて頂いている。	地域資源を活用されていることを評価いたします。 今後、イベントの参加だけでなく、ボランティア等も受け入れていただけるとより地域に開かれた運営になると思われます。 実習生やボランティアの受け入れは地域の理解につながりますので、可能な限り検討をお願いいたします。	
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
		受け入れ人数		実 習 生： 0 人 ボ ラ ン テ ィ ア： 0 人
7	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 10 人 うち市の事業による受け入れ： 0 人	受け入れの状況は良いと思われます。 利用者の状況に応じて緊急・一時的な支援等の受け入れについて検討をお願いいたします。また、松戸市の地域生活支援拠点への登録についてご検討ください。	
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例		
8	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中は1ユニット10名に対し3名、2ユニットで計6名を配置しております。夜間は女性棟が1名、男性棟は2名配置しております。女性の夜勤者の確保が難しく、女性利用者の受け入れを制限しておりますので、早急に改善してまいります。	人材確保に苦慮されているのは理解いたしますが、夜間の女性棟1名の配置については、職員の体調不良等への対応が難しいと思われますので、早急に改善していただきますようお願いいたします。また、ストレスチェック等、職員へのケアやフォローについて実施をお願いいたします。 被災時でも考慮いたしますと、人材の確保は必須であると考えられますので、既存スタッフの雇用継続及び新規雇用にご尽力くださいますようお願いいたします。	
9	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援専門員、通所先、保護者と情報を共有している。また、支援が難しい利用者の場合、CAS発達支援センターの職員、サポーターを派遣してもらい担当者会議を開催しアドバイスを頂いている。それに沿って記録を残し分析している。	専門職の方を派遣していただくことは支援の個別化を図る上で重要であり、職員の経験の積み上げに繋がっていると思われますので、良い取り組みであると思います。 研修は散発的・単発的にならないように継続的・系統的に計画していただけると良いと思われます。	

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
10	従業者の資格取得 状況や実務経験に ついて	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 障害福祉サービス経験9年（支援員経験4年、管理者経験5年） 特例子会社・共同生活援助勤務 サービス管理責任者基礎研修修了 強度行動障害基礎・実践研修修了 介護初任者研修	支援スキルの高い職員が配置されており、特に共同生活援助の経験がある管理者を置かれていることを評価いたします。実務経験を満たした際はサービス管理責任者実践研修を受講していただくことが望ましいと考えられます。 良いと思われます。 看護師・准看護師が配置されていることを評価いたします。また、日中サービス支援型経験者の職員が在籍していることは頼もしく、良い配置であると思われます。 様々な職種の方が勤務されておりますので、個々の職員の専門性を活かした支援をお願いいたします。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 障害福祉サービス経験30年 （支援員経験23年 サービス管理責任者7年） 生活介護・就B・共同生活援助勤務 介護福祉士・相談支援専門員初任者研修	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 介護福祉士4名 保育士1名 看護師1名 准看護師1名 日中サービス支援型経験者2名、入所施設経験者1名、重度訪問介護経験者2名	
11	障害福祉関連事業 における経験がない 従業者に対する 対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 別紙参照（非公表）	計画に沿って外部研修を受講されており、良いと思われます。 入居対象者から、強度行動障害研修を受講し、資格取得を推進していただくようお願いいたします。取り組みについては良いと思われますので、今後の継続をお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 介護初任者研修・介護実務者研修取得制度あり 社内認定資格制度あり	
12	利用希望者の受け 入れ可否の判断基 準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 体験利用中に入居者との相性が悪かったりその影響でメンタルダウンや他害、自傷行為があった場合は受け入れ不可。	会議を経て決定していただく等、受け入れに関してある程度客観的な判断基準があると良いと思われます。 障害特性等につきましては創意工夫のうえ、ご対応いただきますようお願いいたします。 受け入れ可否の検討については慎重な決定をお願いいたします。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 女性利用者（強度行動障害11点）が見学中に壁や扉を叩く、リビングでの自慰行為を止める事が出来なかったので受け入れを断る。その後通所先へ様子を見に行ったりしたが支援が難しいと判断。	
13	災害等における体制整備及び防災への備えについて	BCP自然災害業務計画書作成済み。災害研修、災害シュミレーション訓練を行っている。備蓄に関しては、水とレトルトご飯を120食分保管。	自然災害業務計画書に沿って研修や訓練が行われており、良いと思われます。 備蓄の賞味期限等を確認していただき、継続的な備えをお願いいたします。
14	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)		
15	その他	・身体障害者用のリフト浴あり。 ・自閉症の利用者には絵カードを利用しスケジュールを組み立てる	利用者の特性に合った創意工夫がされており、良いと思われます。 待機利用者がいるとのことで、職員を補充のうえ解消をお願いいたします。

報告・評価シート

事業所名		障がい者グループホームなでしこ					
項目		【事業所記入欄】 具体的な内容			【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
1	地域連携推進会議の開催状況について（令和6年度未開催の場合は令和7年度の予定） ※会議の次第及び議事録を添付すること	開催日	令和7年	11月	日	<p>地域の方として民生委員を予定されているとのことですが、民生委員のみならず、福祉・経営に知見のある方の参加も望ましいと考えられます。</p> <p>町会関係者や、相談支援専門員、基幹相談支援センター職員、特別支援学校関係者、市の障害福祉関係者等の参加についても検討をお願いいたします。</p> <p>また、利用者の高齢化を考慮しますと、地域包括支援センターの関係者との連携も考えられます。事業所と地域の連携について、これまでの活動や今後の連携についてを議題として取り上げていただくようお願いいたします。</p> <p>計画的な実施をお願いいたします。</p> <p>社会福祉法人という性質上、議事録はホームページ等で公表が望ましいと考えられます。</p>	
		参加委員数	7人				
		開催方法	障がい者グループホームなでしこ				
		会議の構成員 (利用者家族、地域の関係者等)	利用者、家族、民生委員、職員				
		地域連携推進会議の主な議題・報告内容について					
		グループホーム内での1日の流れや日中活動について話をします。					
		地域連携推進会議における要望・助言等について (会議において推進員等からの要望や助言を記載)					
		地域連携推進員の訪問について (施設ごとの実施日や施設の訪問の方法等を記載)					
議事録の公表方法について							
2	設立目的・運営方針	【設立目的】 当法人はこれまで、高齢者を対象としたサービスを中心に運営してまいりました。しかし、地域の実情を把握する中で、介護を必要とする障がい者の方々が、適切な生活の場を確保できていないという課題に直面いたしました。私たちは、これまで培ってきた介護の知識と経験を生かし、そうした方々の支援に貢献できると考え、障がい者向けグループホーム事業を立ち上げるに至りました。			<p>建物にバリアフリーの配慮がなされているほか、中高年の利用者が多く、年齢的に病気や介護が必要となるであろう方へ対して、法人にて培った介護の知識と経験を活かした運営がなされており評価できます。</p> <p>居宅介護等で地域の障害者を積極的に受け入れていただいております。地域の実情を考慮して本事業を開始された目的が理解できました。引き続きの支援をよろしくをお願いいたします。</p>		
		【運営方針】 関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、適切かつきめ細かい共同生活援助サービスの提供を行う					

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
3	利用者の主な日中の活動について	<p>GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>ドライブ、買い物、散歩、体操、塗り絵、歌を聴く</p> <p>外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動 サービスの利用者人数： 12人</p> <p>生活介護事業所 10名 就労継続支援B型事業所 2名</p> <p>外部の日中活動サービス等を利用していない方について</p> <p>外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>午前中、地域を散歩したり掃除を一緒にしています。午後は、体操や歌を歌ったり輪投げや塗り絵装飾活動を行っています。</p>	<p>利用者の状況にあったサービスが提供されており、良いと思われます。今後お菓子作りや野菜栽培等、利用者の希望を取り入れた活動を行う予定とのことで、より利用者の方に取り組んでいただけることを期待いたします。</p> <p>知的障害の方が多いため、支援の構造化をしていただくことが望ましいと考えられます。</p> <p>報告・評価シート作成時と評価部会開催時で入居者数に差異がありましたので、次年度以降の評価部会で同様の場合には丁寧な説明をお願いいたします。</p>						
4	利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>天気の良い日には散歩に出かけたり、毎日体操を行っている。行事レクではお花見で桜を見に行ったりしている。</p> <p>体験の利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>(これまでの体験利用者の人数を記入) 8人</p> <p>(体験利用の事例を記入)</p> <p>近い将来グループホームに入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用</p>	<p>地域に積極的に出ており、良いと感じました。</p> <p>町会のイベントなどを一緒に参加できるとより地域に溶け込めると考えられます。</p> <p>お花見などの季節のイベントについて評価いたします。引き続きの実施をお願いいたします。</p> <p>将来の入居を想定して体験入所されることで、今後の生活設計の一助になると考えられますので、良い取り組みと思われます。</p> <p>グループホームの体験の場は地域生活支援拠点としても必要な位置づけであることから、日中サービス支援型のグループホームに協力いただけるのは大変ありがたいです。今後とも、継続的な実施をお願いいたします。</p>						
5	同一敷地内に設置した通所事業所について <u>※該当する場合のみ回答</u>	<p>・通所事業所の概要について</p> <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> <p>・通所事業所での日中活動の具体的な内容</p> <p>・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況</p> <p>【GHからの利用人数】 人</p> <p>【通所の頻度】 1週間に 日程度</p> <p>・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</p>	事業所名		サービス種別		利用定員		
事業所名									
サービス種別									
利用定員									

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6	地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 家族はお部屋に入ってもらったり、共有スペースで日常生活の話をします。町内会に入会しており、ゴミ当番等を行っている。	町会に入会することで地域に溶け込む努力をされており、地域の方との繋がりが見える点が良いと思われます。 実習生の受け入れについては松戸市や近隣市にある大学・専門学校等への協力依頼もご検討ください。
		・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	
		受け入れ人数 実 習 生：0人 ボランティア：0人	
		今後、検討し積極的に受け入れる	
7	短期入所の併設について	・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数：0人 うち市の事業による受け入れ：0人	令和7年6月より短期入所を開設される予定とのことで、受け入れについて期待しております。
		・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例	
		なし	
8	支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 各フロアに利用者がいる限りは、十分な体制を整えている。職員は常に2人以上配置している。	職員の体調不良などに備え、複数人の配置を心がけていただくようお願いいたします。 また、評価部会実施時は入居者が満室となっておりますが、想定通りの人員配置が実際にできているか、次回の評価部会にてお示しください。
9	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	入居者はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題について、どのようにしたらクリアできるか共に模索している。	良い連携状況であると思われますので、引き続き継続していただくようお願いいたします。 年齢や障がいの特性によって利用者のニーズも変化いたしますので、情報共有を密にして顔が見える関係の構築をお願いいたします。
10	従業員の資格取得状況や実務経験について	・支援スキルの高い管理者を置いているか。 高齢で約20年経験を積み在宅、施設等のサービス経験している。法人では介護主任や訪問介護の責任者もしている。松戸市のグループホーム連絡協議会で研修を毎月行い実践している。介護福祉士、社会福祉主事、相談支援専門員、サービス管理責任者（今年夏取得予定）	スキル・経歴ともに申し分なく、高い支援スキルを有していると思われます。 グループホーム連絡協議会やサポサポ等、地域の会議に積極的に参加している点も評価いたします。 様々な経歴があり、多角的な視点を持たれていることが感じられて良いと思います。
		・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか 精神科病棟で相談系の仕事をされ、成田市の障害福祉課で勤務も3年されている。サービス管理責任者として15年様々な障害分野での実績あり。（放課後のデイ、生活介護等）精神保健福祉士、相談支援専門員、サービス管理責任者、強度行動障害研修終了。	
		・支援スキルの高い従業者を置いているか。 他社で10年以上重度の障害者入所施設、生活介護での経験があり、専門性も高く入所された利用者に対して対応策や関わりの指示が出せる。身体拘束や虐待防止の研修担当をこなし職員に教育ができる。介護福祉士、社会福祉主事、強度行動障害実践研修終了。	

項目		【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11	障害福祉関連事業における経験がない従業者に に対する対応	・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 年間計画を立て、それに基づいて研修を実施している。（別紙参照）（非公表）	年間計画に沿って研修が実施されており、良いと思われます。計画の通り実施をお願いいたします。
		・資格取得への取り組みはあるか。 実務者研修、介護福祉士取得のサポートしている。その他サービス管理責任者、強度行動障害への研修を積極的に行う	国家資格である介護福祉士の資格取得サポートは職員にとっても有益な内容であると考えられます。 その他の研修においても利用者の対象範囲から適切であると考えられ、資格受講の要件を満たされている方への積極的な受講も良いと思われます。
12	利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確なものではなく、体験利用でGHの暮らしを経験した上でご本人が家族を離れた生活に順応し、入所を希望した場合受け入れ可能としている。その際、相談支援事業者や家族、関係機関等による最終的な調整会議を行い判断している。	受け入れに際し、調整会議によって判断されており、良いと思われます。利用者が生活の変化に順応しやすくなるよう対応をお願いいたします。 医療行為に関しては人員配置上、致し方ない側面もありますが、将来的に医療的なケアは必要になると考えられるため、想定しておく必要があると考えられます。
		・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 医療行為が必要な方（インシュリン、痰吸引）	
13	災害等における体制整備及び防災への備えについて	別紙参照（非公表）	計画に沿った対応をお願いいたします。
14	協議会からの要望、助言への対応 (2回目以降記入)		
15	その他		将来的に形態食への対応や利用者の医療的ケアが必要になることが想定されますので、看護師の配置について検討していただくと良いと思われます。

報告・評価シート

事業所名	パートナーガーデン愛宕							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 散歩・買い物・入浴・通院などが中心ではある。 その他YouTubeでアニメ鑑賞や折り紙や塗り絵などを実施している。	【要望】 ・通所先の事業所と連携して、支援方法について検討いただきたい。 【評価】 ・利用者全員が外部の日中活動サービスを利用できている。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について							
	外部の日中活動サービスの利用者人数：15人							
	(主な外部の日中活動サービスの種類について) 生活介護							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 公園への散歩や買い物などを行っている。	【質問】 Q:金銭管理、行政手続き、通院について、グループホームで対応できるか。 A:金銭管理については、原則として現金のお預かりはしていないものの、金庫を用意して部屋に置き、鍵を預かることで対応している。行政手続きについては、ご家族に協力いただく方もいるが、難しい場合にはグループホームで対応している。通院についても対応は可能。訪問看護や相談員等との連携を図り対応している場合もある。 Q:利用者の余暇活動について、グループホームで企画しているものはあるか。 A:昨年はクリスマス会を実施し、今後も予定している。また、食事イベントも検討している。						
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 地域生活拠点事業の体験の利用等は0名							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 毎日、日中は3～5名程度の配置を行っている							
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 近所の方へのあいさつ、家族・相談員は頻回に来訪され、他の利用者の方や職員との日常的な会話がなされている 今年度中に地域連携推進会議も兼ねた家族会を実施予定	【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。 ・地域のイベントに参加するなど、地域との交流に努めて頂きたい。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%;">実 習 生：</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア：</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人
	受け入れ人数		実 習 生：	0人				
	ボランティア：	0人						
実習指導者がいないため、実習生の受け入れは体制が取れるようになってから、検討する								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 野田市内の方でご依頼がある方の受け入れを中心に行っている							
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。							
	緊急の受け入れの依頼であったが、約2か月半対応し、次の居住の場へ繋がった							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・相談支援事業所の方とは頻回に情報共有を実施 ・生活介護事業所の方とは送迎時に情報共有を実施 ・共通の利用者の支援方法も合同で組み立てて支援するなど、他法人の方々と連携を図っている ・研修を依頼し実施していただいた実績もあり ・今後、事業所を超えての研修を実施予定	【評価】 ・他事業所と連携が図られている。						

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	【設立目的】 弊社は高齢福祉を25年以上運営しております。そこを利用されているお客様から障がいを抱える子供たちの将来を案じるご意見を複数頂戴しておりました。その声を拾い、障がいを抱える方とその家族が安心して暮らせる環境づくりが私たちの目指す介護と考え障害者GHを運営させていただく事となりました。 経験を重ねるごとに家族様の大変さ、重い障がいを抱える方の行き場のなさを痛感し、安心して暮らせる環境づくりというコンセプトに合致するということから日中サービス支援型の展開を行うようになっております。						
	【運営方針】 1. 生涯安心して過ごせる環境を提供します。 2. 透明性のある適切な事業運営をいたします。 3. 入居者様の個別性を尊重いたします。						
8 職員の研修体制 ※施設概要補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【要望】 ・知的の利用者が多いようなので、多くの職員が強度行動障害の研修を受講した方がよい。			
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	2人	【評価】 ・研修体制が整っている。			
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	15人	【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか。			
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	無	人	A:自社と外部、両方の研修を実施している。事業所にてグループホーム等支援ワーカーの方に実施していただいた。また、グループホーム等支援ワーカー主催の研修にも参加した。			
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有	10人				
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	15人				
	対人援助技術に関する研修	有	15人				
	障がいの理解に関する研修	有	15人				
	グループホームの業務に関する研修	有	15人				
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	野田市援護者数	9人（男性 非公表・女性 非公表）					
	市外援護者数（県内）	4人（男性 非公表・女性 非公表）					
	市外援護者数（県外）	2人（男性 非公表・女性 非公表）					
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【要望】 ・若い人が多く、積極的に地域の人と関わりを持って欲しい。 【評価】 ・利用者全員が外部の日中活動サービスを利用している。	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表		
	日中活動は毎日でない方もいっらしり、体調不良や気分が乗らない等により欠席されることもある						

報告・評価シート

事業所名	ソーシャルインクルーホーム野田上花輪					
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 学習支援(漢検の問題集、中高の英語・数学等)をプリントして学習しております。買物支援(同行)は利用者様の必要な物を一緒に見て購入しています。他には季節ごとのイベント、通院同行、訪問サービス利用(往診・散髪・看護・歯科)。 外部の日中活動への参加が難しい方に関して、主治医と相談しながらスモールステップを踏みながら外部へと繋いでいきます。現在移動支援を利用しながら自分の行きたいところ(イオン・ミスト・ユニクロ)に安心して外出することができています。ご自分で購入された食事をご自分で温めたり、お皿を用意したりできるよう支援しています。 食事に関しては、食材を業者から取り寄せ、ホームの職員が調理し出来立てをその場で提供しています。入浴もバイタルチェックし異常がないか確認してから入浴を助めています。 利用者様の「できること、できないこと」(個別支援計画やアセスメントシート等)に応じて、すべて支援しております。	【評価】 ・日中支援が充実している。 ・様々な日中支援をされているため、生活の変化があって良い。 ・日中支援で学習支援を取り入れていることはめずらしく、良い取り組みである。 【助言】 ・慣れてきたタイミングで、安全面の配慮、トラブル予防に留意いただきたい。また、アセスメントを実施し、より良い支援を目指してもらいたい。				
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 8人					
	生活介護 COCORO：4名 ありがとうの花：3名 きょう花：1名					
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出はまめバスを利用して外食、清水公園、運動公園などに行っています。毎月、利用者の希望やニーズに合わせたイベントを実施、中でも、いちご狩りは利用者様のお気に入りのイベントとして毎年実施しています。天気の良い日は毎日桜木神社まで散歩に行き、神社に手を合わせている利用者様もおられます。	【評価】 ・余暇活動への支援が充実している。 ・トライアル利用は良い取り組み。				
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 4名 ご本人及びご家族から入院療養よりも通院治療を継続のうえ、地域での生活を希望されているとのこともあり、積極的に受け入れしております。ソーシャルでは「トライアル(無償体験)」を行っています。					
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中、平日、土日に関係なく日勤2名以上夜勤2名以上配置しています。有資格者3名(介護福祉士・精神保健福祉士・社会福祉士各1名)が在籍しています。緊急時も訪問医、看護師、薬剤師に24時間連絡できる体制になっています。訪問看護は業務委託を結んでおり、定期的な訪問看護で健康管理をして頂いています。24時間365日のオンコール体制(看護師に相談できる)も整って	【評価】 ・十分な支援体制が確保されている。 ・有資格者の存在は心強い。				
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 今年度より義務化されている地域連携推進会議の取り組みも含め、自治会長様にも協力をお願いしております。 毎年恒例の中学校のバザー、運動会、お祭りにも出来る限り参加させて頂き、少しずつですが交流の機会が増えていっています。	【要望】 ・より地域との交流を深め、地域に根差した運営をお願いする。 ・今後の実習生やボランティアの受入れを期待する。 【評価】 ・近隣の学校との交流があることは素晴らしい。				
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">受け入れ人数</td><td style="text-align: center;">実 習 生： 0 人</td></tr> <tr> <td></td><td style="text-align: center;">ボランティア： 0 人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0 人		ボランティア： 0 人
	受け入れ人数		実 習 生： 0 人			
	ボランティア： 0 人					
現在は受け入れができていませんが、野田市のボランティアセンターを活用して、今年の夏まつりの催しにゲストとして参加してもらおうと企画中で						
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 建物の構造上、女性の短期入所のみとなっておりますが、現在市内の方でご家族様のレスパイト目的で毎月利用されています。	【評価】 ・常に受け入れできる体制が整えられていることは良い。				
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 常時職員を配置しているため、緊急時もすぐ情報共有して受け入れ体制を整えております。					
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	今年度より地域連携活動報告として、毎週のように相談員、ご家族、通所先等にご利用者様の様子をお伝えしています。また通院状況、服薬情報等の情報共有も行っております。	【評価】 ・実際に他の事業所からも訪問、メール、電話での情報共有が出来ているとの話が上がっている。				

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	【設立目的】 「ここでくらしたい」を創る ご利用者様にとってグループホームはまさに家そのものだといえます。家族のように温かいスタッフたちとのコミュニケーションを通してホームでの暮らしを楽しんでいただきたいと思います。「ここでくらしたい」と思ってもらえるよう日々真摯に向き合い続けます。					
	【運営方針】 入居者様それぞれの特性を理解し、安心して心地よく暮らしていただくために寄り添った支援を行います。職員全員が協力し合い、一人ひとりを尊重した、温かいコミュニケーションに溢れる職場を実現します。職員一同ホーム運営に積極的に関わり、より良い支援を行うために一人ひとりが率先して行動します。物事にプラス思考で向き合い、ソーシャルインクルーに関わる人たちの幸せを目指します。「あたりまえ」を大切にすることが入居者様の幸せに繋がる」ことを胸に日々真摯に向き合います。					
8 職員の研修体制 ※施設概要補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【要望】 ・利用者の障害種別から、精神障がいのある人の支援に関する研修の充実も必要と考える。		
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	1人	・強度行動障がいのある人の支援に関する研修への受講人数を増やして欲しい。		
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	3人	・医療的ケアのある人の支援に関する研修をより充実化し、受入れ強化を図って欲しい。		
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有	3人	【評価】 ・職員全員が研修を受講できている。		
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	無	0人	【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。		
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	12人	A:オンラインでの動画研修サービスを利用している。		
	感染症・食中毒に関する研修	有	12人			
	緊急対応に関する研修	有	12人			
	障がい特性に関する研修	有	12人			
	誤薬防止・誤薬に伴うリスクに関する研修	有	12人			
ハラスメントに関する研修	有	12人				
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	野田市援護者数	2人（男性 非公表・女性 非公表）				【要望】 ・野田市援護者が少ないため、今後は市内在住の方の受入れを望む。
	市外援護者数（県内）	3人（男性 非公表・女性 非公表）				
	市外援護者数（県外）	4人（男性 非公表・女性 非公表）				
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	【助言】 ・高齢者が多いため、年齢に合わせて日中活動への支援にも工夫が必要と思われる。 ・高齢者が多く、耳が遠くなる方も増えるかと思うので、伝え方について配慮するよう意識した方が良い。
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	

報告・評価シート

事業所名	ソーシャルインクルーホーム野田尾崎					
項目	【事業所記入欄】 具体的内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	【要望】 ・外部の日中活動サービスを受けていない利用者に対し、個人に合わせた支援が必要。				
	【食事】 食事は管理栄養士が組み立てたメニューを予め業者に発注、ホームで調理し利用者様の機能に合わせて提供 【入浴】 「出来ること・出来ない事」に応じて支援、体調やご希望に合わせてシャワー浴や清拭に切り替える 【排泄】 排泄後の拭き上げ、リハビリ使用等「出来ること・出来ない事」に配慮 必要に応じて排泄物を観察、医療者に共有 【その他】 ・通院介助(定期受診・緊急受診)・買い物支援(同行・代行) ・運動支援・契約等各種手続きのお手伝い・こぶし園への送迎 等 ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について					
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 13人					
	内訳： あすなろ2人 こぶし園2人 ありがとうの花1人 えーる1人 ほのか2人 みやび2人 ハナファイ2人 ケアパートナー野田1人					
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	【要望】 ・余暇活動が少ないように感じる。				
	通院同行や送迎、買い物の同行、送迎を行っています。 市役所や銀行等の手続きの代行、送迎や同行を行っています。 移動支援での買い物、訪問看護ステーションと連携し看護師同行での買い物、散歩を行っています。					
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。					
	体験入所をご希望される方には弊社システムの『トライアル』という食事代も含め無償体験をご利用いただけます。 江戸川病院から本入居ご希望の方の体験短期入所がありました。 退去予定日と入居希望日が合致せず、江戸川病院との間でご相談、調整頂き本入居となりました。					
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか					
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	【要望】 ・積極的に地域と交流するための活動をして欲しい。 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。				
	風邪症状や感染症の疑いのある方がいる場合は相談員やご家族の来所を見合わせていただくこともありますが、時間に関係なくご来所いただけるよう努めています。 玄関に来訪者名簿、非接触体温計、アルコール手指消毒を設置し、ご記入等ご協力をお願いしています。 見学にも随時対応させていただきます。 地域連携推進会議の準備を会社全体で進めています。					
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td>実 習 生： 0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア： 0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0人		ボランティア： 0人
	受け入れ人数		実 習 生： 0人			
	ボランティア： 0人					
昨年の評価の際ご助言いただいた野田市ボランティアセンターにご協力いただき利用者様が楽しめるイベントを企画したいと考えています						
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	【評価】 ・入居者に配慮した上で、短期入所の受け入れが出来ている。実際に対応してもらい、利用した話も聞いている。				
	満床などの理由で受け入れられない場合は千葉県の入居担当者と情報共有しご希望に合った弊社の近隣ホームをご紹介等相談させていただきます。					
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 ご相談いただいた時期に入居者様の不穏が強く体制が整わなかった為お待ちいただくことがありました。体制が整い次第ご連絡させていただく予定です。					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																																																																																																									
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	受診結果や訪問看護師からの情報を都度ご家族や担当相談員、後見人に最低でも月一回はご報告させていただいています。 支援における問題点や困り事をご相談させていただいています。 生活介護事業所とも連絡ノートや電話連絡、必要に応じて担当者会議で問題点や状況を共有、アドバイスをいただいています。	【評価】 ・事業所からも情報共有が出来ていると聞いている。																																																																																																									
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	【設立目的】弊社はこれまで介護包括型でGH運営を行ってまいりましたがより緊急性の高い利用者様・より重度の利用者様の受け入れに関して職員配置と人件費の問題があり一歩進んだ問題の支援に対して踏み込めない状況でありました。日中サービス支援型で事業運営させていただくことで今まで受け入れが難しかった日中活動先がない方、日中活動が困難な方の受け入れを進めてまいります。 【運営方針】住まいで困っている障がい者が「0」の社会を創る。 障がい者の住まいのインフラとなる。 障がい者が日本のどこでも自立を目指す環境を創る。 どこでも同じような安心のソーシャルインクルー品質を確立する。																																																																																																										
8 職員の研修体制 ※施設概要補足	<table><tr><th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr><tr><td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>0人</td></tr><tr><td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>誤薬防止/誤薬に伴うリスク</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>感染症対策</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>避難訓練</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>感染症食中毒</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>虐待防止・身体拘束等適正化</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>ハラスメント</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>権利擁護/接遇マナー</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>災害訓練(BPC・水害・地震・火災・夜間想定)</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr><tr><td>事業理念の共有(適切な支援について考える)</td><td>有・無</td><td>23人</td></tr></table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	0人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	23人	誤薬防止/誤薬に伴うリスク	有・無	23人	感染症対策	有・無	23人	避難訓練	有・無	23人	感染症食中毒	有・無	23人	虐待防止・身体拘束等適正化	有・無	23人	ハラスメント	有・無	23人	権利擁護/接遇マナー	有・無	23人	災害訓練(BPC・水害・地震・火災・夜間想定)	有・無	23人	事業理念の共有(適切な支援について考える)	有・無	23人	【評価】 ・職員全員が多くの研修を受講出来ている。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:オンラインでの動画研修サービスを利用している。																																																												
研修の種類	実施有無	受講人数																																																																																																									
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人																																																																																																									
精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人																																																																																																									
医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	0人																																																																																																									
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	23人																																																																																																									
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	23人																																																																																																									
誤薬防止/誤薬に伴うリスク	有・無	23人																																																																																																									
感染症対策	有・無	23人																																																																																																									
避難訓練	有・無	23人																																																																																																									
感染症食中毒	有・無	23人																																																																																																									
虐待防止・身体拘束等適正化	有・無	23人																																																																																																									
ハラスメント	有・無	23人																																																																																																									
権利擁護/接遇マナー	有・無	23人																																																																																																									
災害訓練(BPC・水害・地震・火災・夜間想定)	有・無	23人																																																																																																									
事業理念の共有(適切な支援について考える)	有・無	23人																																																																																																									
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	<table><tr><td>野田市援護者数</td><td>8人（男性 非公表・女性 非公表）</td></tr><tr><td>市外援護者数（県内）</td><td>4人（男性 非公表・女性 非公表）</td></tr><tr><td>市外援護者数（県外）</td><td>8人（男性 非公表・女性 非公表）</td></tr></table>	野田市援護者数	8人（男性 非公表・女性 非公表）	市外援護者数（県内）	4人（男性 非公表・女性 非公表）	市外援護者数（県外）	8人（男性 非公表・女性 非公表）																																																																																																				
野田市援護者数	8人（男性 非公表・女性 非公表）																																																																																																										
市外援護者数（県内）	4人（男性 非公表・女性 非公表）																																																																																																										
市外援護者数（県外）	8人（男性 非公表・女性 非公表）																																																																																																										
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	<table><tr><th>障がい種別</th><th>年齢</th><th>支援区分</th><th>日中活動</th><th>土日帰宅</th></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr></table>	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	【助言】 ・幅広い年齢層の利用者を受け入れているが、年齢に合わせて日中活動への支援にも工夫が必要と思われる。 ・高齢者が多く、耳が遠くなる方も増えるかと思うので、伝え方について配慮するよう意識した方が良い。
障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																																																							

報告・評価シート

事業所名	AMANEKU野田中里							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	【要望】 ・それぞれの障害種別の方がいるため、特性に応じた支援をして欲しい。						
	身体障がいの方に対して、歩行訓練の支援・見守りなどを行ったり、 昼食の提供、食事や入浴の介助、排せつの介助等も行っております。 行政やその他必要な手続きの支援なども行っております。							
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について							
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 16人 生活介護等							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	【評価】 ・余暇活動が充実している。 ・無料体験は良い取り組み。						
	散歩・パズル遊び・買い物同行等の日常の日中サービスや、DVD鑑賞 や外食レクリエーションなどの月一のイベント行事を行っております。							
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。							
	（これまでの体験利用者の人数）70人 弊社では、食費や光熱費などもかからない2泊3日の無料体験を行っております。とても好評をいただいております。たくさん体験のお申込みを頂いております。実際に本入居に繋がったケースも何件かあります。							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	【評価】 ・十分な支援体制が確保されており、安心できる。						
	当社のグループホームでは、各フロア常時2名体制が取れるよう、人員配置を行っております。日中、他の日中活動サービスをご利用されない利用者様にも支援ができるよう、24時間どの時間でも各フロア2名体制で支援を行っております。土日・祝日なども同様の体制を確保しております。							
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。 【評価】 ・移動販売車の利用は楽しさを増やす努力が感じられる。 ・地域と交流しようとする姿勢が見られる。						
	スーパーの移動販売をAMANEKU野田中里の駐車場に来ていただき、そこで買い物をしたり、近隣の公園に行きお花見などを行うことがあります。イベント行事に積極的に参加していきます。 地域連携推進会議が今後実施されていくため、お知らせをするタイミングで、移動販売もあることをお伝えし地域の方々にも利用いただくよう努めていきます。							
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%;">実 習 生：</td> <td style="width: 40%;">0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア：</td> <td>0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人
	受け入れ人数		実 習 生：	0人				
	ボランティア：	0人						
今後、ボランティアの受け入れを検討しております。								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	【評価】 ・積極的な姿勢は評価できる。						
	令和7年5月31日時点で27件の受け入れを行っており、利用が終わった後でも継続的に短期入所をご利用いただく方もいます。							
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 依頼があれば、積極的に受け入れをしていくことを検討していきます。							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	協力医療機関の野田病院を受診の際にはあまり待機することなく受診している。 通所先のありがたい花様等と連携し、細かい情報も相談員さんと情報共有を行っています。相談員さんを通じて、移動支援などを対応しております。							

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																																																
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	<p>【設立目的】</p> <p>当社は、障がいを持つ方々が地域社会で自立し、充実した生活を送ることを支援することを理念としています。これまでの運営経験を通じて、日中サービス支援が必要な障がい者の方々のニーズが急激に増加していることを実感しております。特に、日中の時間帯における適切な支援が不足している現状があり、これに対応するために新たなグループホームの開設が必要と考えました。</p> <p>地域社会における障がい者支援の充実、障がいのある方々だけでなく、その家族や地域全体にとっても大きなメリットがあります。日中支援型グループホームを通じて、障がい者の方々が社会参加を図り、自己実現を目指すことができる環境を提供することは、社会的観点からも重要です。また、当社はこれまでに日中サービス支援型において蓄積したノウハウと経験を活かし、質の高いサービスを提供する自信があります。スタッフの専門性の向上、個々の利用者に合わせたきめ細かい支援計画の策定、地域社会との連携強化など、総合的なサポート体制を構築し、障がい者の方々がより良い生活を送れるようサポートすることが私たちの目標です。</p> <p>このような背景から、新たなグループホームの開設による日中支援型サービスの提供は、地域における障がい者支援の質と量の両面での充実に寄与すると考え、本サービスの指定を希望するに至りました。私たちは、行政との連携を密にしながら、地域に根ざした質の高いサービスを提供し続けてまいります。</p>	<p>【評価】</p> <p>・素晴らしい考え。</p>																																																
	<p>【運営方針】</p> <p>「障がい」の有無に関わらず、全ての全ての人が自分らしくあるために、豊かな暮らしを創造することを企業理念としております。</p> <p>グループホームAMANEKUの運営には障がいのある方当事者も携わり、ホームごとに障がい特性や毎日の生活に配慮したコンセプト設定をしています。支援体制はもちろんのこと、新築の建物には利便性の良い立地、ユニバーサルデザイン、心地よい動線など、様々なこだわりを加え、居住される方が自分らしい暮らしを送ることができるようにサポートします。また、障害者の方が暮らすグループホームみに特化した専門の建設チームを有し、社内で建設事業も行っております。完成までの基礎工事から内部工事、住設備、外構工事の一連の流れを上記建設チームで行っています。</p> <p>上記の一連の流れを行うことによって、障害を持った方の支援に適した動線、設備、間取り、デザインにいたるまで様々な工夫を取り入れ、利用者様に寄り添ったグループホームの建設を実現させています。</p>																																																	
8 職員の研修体制 ※施設概要補足	<table><tr><th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr><tr><td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>14人</td></tr><tr><td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>9人</td></tr><tr><td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr><tr><td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有</td><td>14人</td></tr><tr><td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有</td><td>14人</td></tr><tr><td>支援力の向上1（基礎・障がい特性の理解、GHにおける支援）</td><td>有</td><td>16人</td></tr><tr><td>虐待防止・身体拘束適正化に関する研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr><tr><td>利用者に対してのコミュニケーション力向上研</td><td>有</td><td>16人</td></tr><tr><td>コミュニケーション向上研修2</td><td>有</td><td>12人</td></tr><tr><td>防災・防犯対策研修</td><td>有</td><td>16人</td></tr><tr><td>支援力向上研修</td><td>有</td><td>15人</td></tr><tr><td>危機管理・虐待防止・身体拘束適正化研修2</td><td>有</td><td>14人</td></tr><tr><td>ハラスメント防止・権利擁護についての研修</td><td>有</td><td>13人</td></tr><tr><td>感染症予防についての研修</td><td>有</td><td>9人</td></tr><tr><td>防災・防犯対策研修2</td><td>有</td><td>14人</td></tr></table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	14人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	9人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有	14人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	14人	支援力の向上1（基礎・障がい特性の理解、GHにおける支援）	有	16人	虐待防止・身体拘束適正化に関する研修	有	13人	利用者に対してのコミュニケーション力向上研	有	16人	コミュニケーション向上研修2	有	12人	防災・防犯対策研修	有	16人	支援力向上研修	有	15人	危機管理・虐待防止・身体拘束適正化研修2	有	14人	ハラスメント防止・権利擁護についての研修	有	13人	感染症予防についての研修	有	9人	防災・防犯対策研修2	有	14人	<p>【要望】</p> <p>・精神障がいのある利用者が多く見られるため、精神障がいに関する研修の充実が必要。</p> <p>【評価】</p> <p>・積極的に研修を受講していることは評価できる。</p> <p>【質問】</p> <p>Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。</p> <p>A:外部ツールを使用し、自社で行う。動画形式のeラーニングツールを使用している。</p>
	研修の種類	実施有無	受講人数																																															
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有	14人																																															
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有	9人																																															
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人																																															
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有	14人																																															
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有	14人																																															
	支援力の向上1（基礎・障がい特性の理解、GHにおける支援）	有	16人																																															
	虐待防止・身体拘束適正化に関する研修	有	13人																																															
	利用者に対してのコミュニケーション力向上研	有	16人																																															
	コミュニケーション向上研修2	有	12人																																															
	防災・防犯対策研修	有	16人																																															
	支援力向上研修	有	15人																																															
	危機管理・虐待防止・身体拘束適正化研修2	有	14人																																															
ハラスメント防止・権利擁護についての研修	有	13人																																																
感染症予防についての研修	有	9人																																																
防災・防犯対策研修2	有	14人																																																
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	野田市援護者数	7人（男性 非公表・女性 非公表）																																																
	市外援護者数（県内）	6人（男性 非公表・女性 非公表）																																																
	市外援護者数（県外）	6人（男性 非公表・女性 非公表）																																																

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容					【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	【助言】 ・様々な年齢、障害種別の方が利用されているので、個別化された支援をお願いする。
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	【質問】 Q:知的、身体、精神障がい、それぞれの障がい種別の利用者がおり、混合することで苦労をしているところ、良いところ、気をつけているところを教えてください。 A:精神の方で日中は静かに過ごしたい方、知的の方でホーム内をにぎやかに過ごしたい方、身体の方で一人暮らしを希望されている方等があり、お互いのご要望がぶつかり合ってしまうことから、支援調整の難しさがある。良いところとしては、他害や自傷等の特性を持つ方が自分とは違う障害の方と接することで、元々もっていた優しさや思いやり等が表面にでてきて他害や自傷を抑えられているケースなどがある。気を付けている点は時間の区切りやコミュニケーションの時間をそれぞれ設けることと職員間の情報共有に気を付けている。
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	

報告・評価シート

事業所名	イノベル野田上花輪	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>ご利用者様の生活に合わせた日常生活支援を行っています。</p> <p>【生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助全般（起床・身体・入浴・食事・就寝） ・通院等介助 ・買物同行支援、お散歩支援 ・個別スケジュールの管理、通所との連携 ・ご要望があった場合金銭管理 ・各種相談支援、行政手続き支援等 ・レクリエーション 創作活動（しりとりに、風船パレー、体操） <p>【健康管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、朝夕のバイタルチェック ・体重測定に関しては現在、車いす用の測定器を会社へ稟議中 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・往診：内科、歯科 ・訪問看護、リハビリ、理美容 <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>外部の日中活動サービスの利用者人数： 1人</p> <p>生活介護に行かれております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護 COCORO 様 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に対するサービス提供が来ている。 <p>【質問】</p> <p>Q:区分5、6の方々はどういう方法で外出（買い物、散歩）されているのか。</p> <p>A:基本的に精神障がい理由で外出が困難。買い物は可能な限り車等で同行するが、ご本人やご家族から職員に買い物を依頼することが多い。散歩は適宜。車イスで外出可能な方は気候により変動するが週2～3回近くの公園等に散歩する。</p>
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物支援（しまむら、ミニストップ、セブンイレブン、ファミマ） ・お散歩同行 ・移動支援 ・共有スペースのダイニングでテレビ鑑賞や会話支援 ・風船パレー <p>・体験の利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>（これまでの体験利用者の人数）0人</p> <p>将来的にグループホームをご利用したい方の見学を実施し、ご説明の上、体験利用を行わせて頂いたりしております。</p> <p>体験期間はご利用者様のニーズにお答えできるよう、一週間から最大50日まで体験を行っています。</p> <p>体験時の生活内容はご家族様のニーズに合わせた対応を心掛け、集団生活の場の提供を実施しております。</p> <p>現在までに入居されて利用者様は、体験を通して入居されております。入居前でなくても体験利用可能です。</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出や余暇活動の支援を検討されている。 ・体験利用を長く利用できることは良い取り組み。
3 支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>現在、イノベル野田上花輪では、スタッフは全員女性スタッフで勤務しております。ご利用者様のプライベートを考慮した考え方は勿論、同性介助で支援を行うことが安心・安全に繋がることだと考えて支援を行っています。スタッフに勤務の説明をして、日勤及び夜勤でフルタイムで働いているスタッフの方にも対応して頂いております。ご利用者様に長く支援して頂き、安心してお過ごし頂けるように体制を確保しております。</p> <p>夜勤スタッフについては1フロア2名体制を確保しつつあります。令和7年8月1日2階解放に向けて人員体制の確認及び地域の方々に利用して頂けるようお声がけをしています。</p> <p>日中（土日を含む）</p> <p>1ユニット 5～6名（管理者を含む）</p> <p>夜間専従者</p> <p>1ユニット 1～2名（管理者を含まない）</p> <p>にて支援を行わせて頂いております。</p>	<p>【質問】</p> <p>Q:以前「恵」に指摘した「浸水5m地区」における緊急避難体制と防災訓練はどのようにしているのか。</p> <p>A:別添のとおり避難確保計画を作成した。</p> <p>Q:2階解放に向けた人員体制の進捗について教えてほしい。</p> <p>A:1階の職員体制は日勤、夜勤とも充足している。2階解放に向け同時進行している。</p>

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。		【質問】 Q:地域連携推進会議の計画は進んでいるか。 A:計画中。遠方や他の事情でホームに来所されるご家族が少ないのでお知らせをしている。		
	・ご家族の訪問時、電話、SNS対応は勿論、ご連絡を頂いた時、また、普段のお過ごしやご質問のご連絡を致しております。 ・お買物時におきましても、ご利用者様方の楽しみで施設外に行かれたときも、地域の方がへスタッフとともにご挨拶を致しております。 ・散歩の時、公園などなどに地域の方とすれ違う際にご挨拶しております。				
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。				
	受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 0人			
実習生やボランティアの方をお受けしていきたいのですが、今現在まで実績がありません。 人員不足解消の為に検討していきたいと思います。何かしら、ボランティアを募る方法があればお教えいただきたく存じます。					
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。		【評価】 ・積極的な受け入れは評価できる。		
	・短期入所のお問い合わせが、相談員様などから有れば、積極的に受け入れています。 ご利用者様から、時折短期入所の利用のご質問を頂き事もございます。その際にもご対応しております。 また、野田市街の方からお話があればご案内させて頂いております。				
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。				
・ご家族のレスパイト等に関わらず、ご利用されております。 令和6年6月におきましても、千葉市在住の方から緊急でご利用していただくご連絡を頂きました。ご自宅から近い順に施設を発見できたようで、ご利用には至りませんでしたが、ご利用可能とご回答させて頂いております。					
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・相談支援事業者様とは、情報共有や交換を行いながら交流を図っております。短期入所のご案内など頂いております。 ・他のサービス事業所やリハビリ、訪問看護、往診医の方との連携を取り相談・助言などを頂いております。				
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	【設立目的】ピオネストグループ理念：社会にとって価値あるものを提供し、事業を発展させることによって、お客様と従業員の幸福を最大化する。 【運営方針】イノベルヘルスケアの理念：障がい福祉事業の新会社として、私たちに関わるすべての方々とともに成長し、今ここに無い未来を創造し、高い志を持って、社会に必要な基盤と明るい未来の実現に貢献する。				
8 職員の研修体制 ※施設概要補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【評価】 ・全職員が研修を受講できている。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加しているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:外部の研修では野田園域障がい者グループホーム等連絡協議会、松戸園域障がい者グループホームワーカー研修に参加。自社での研修も実施しております。	
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	13人		
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	13人		
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人		
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	13人		
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	13人		
	入社研修、管理者MTなど研修は一カ月数回をめぐりに行っております。	有・無 －	13人 人		
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	野田市援護者数	0人（男性 非公表・女性 非公表）		【要望】 野田市の利用者が増えると良い。	
	市外援護者数（県内）	4人（男性 非公表・女性 非公表）			
	市外援護者数（県外）	1人（男性 非公表・女性 非公表）			
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	【要望】 ・平均年齢が高いため、体調管理に気をつけてほしい。 ・平均年齢が高く、耳が遠い方もいるかと思うので、伝え方について配慮するよう意識した方が良い。
	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	

報告・評価シート

事業所名	イノベル野田尾崎	
項目	【事業所記入欄】 具体的内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 <hr/> ご利用者様の生活に合わせた日常生活支援を行っています。 【生活支援】 ・介助全般（起床・身体・入浴・食事・就寝） ・通院等介助 ・買物同行支援、お散歩支援 ・個別スケジュールの管理、通所との連携 ・ご要望があった場合金銭管理 ・各種相談支援、行政手続き支援等 ・レクリエーション ラジオ体操、卓上のゲーム等 【健康管理】 ・毎日、朝夕のバイタルチェック（入浴時も含む） ・体重測定（毎日、または月4回の方がいます） 【その他】 ・往診：内科、、外科、歯科、精神科 ・訪問看護、理美容	【要望】 ・栄養面を考えた食事提供をお願いする。 ・今後利用者が増えた場合でも、同様の支援をお願いする。 【評価】 ・健康管理を積極的に実施されている。 ・日常生活に対するサービス提供が出来ている。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 3人	
	生活介護や移動支援に行かれています。 ・ありがとうの花 様 ・あすなろ職業指導所 様 ・COCORO 様	
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 <hr/> ・買物支援（スーパー・コンビニ） ・お散歩同行（近隣の公園）	【評価】 ・外出や余暇活動の支援を検討されている。 ・体験利用を長く利用できることは良い取り組み。
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。 <hr/> （これまでの体験利用者の人数）0名	
	将来的にグループホームをご利用したい方の見学を実施し、ご説明の上、体験利用を行わせて頂いたりしております。 体験期間はご利用者様のニーズにお答えできるよう、一週間から最大50日まで体験を行っています。 体験時の生活内容はご家族様のニーズに合わせた対応を心掛け、集団生活の場の提供を実施しております。 現在までに入居されて利用者様は、体験を通して入居されております。入居前提でなくても体験利用可能です。	
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか <hr/> 日中は1ユニット 2～3名のスタッフを確保しつつあります。グループホームでのお過ごしを安全かつ安心して頂けるように、丁寧な声かけを一日を通してスタッフへ情報共有しております。 夜勤スタッフについては、1フロア2名体制が望ましく、現在も求人待ちながらご利用者様の支援に当たっております。 日中（土日を含む） 1ユニット 2～3名（管理者を含む） 夜間専従者 1ユニット 1～2名（管理者を含まない） にて支援を行わせて頂いております。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																														
4 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>・ご家族の訪問に関しましては、ご連絡があればご対応しております。ホームの状況などや質問などを、随時コミュニケーションを取っております。</p> <p>・散歩、買い物時などに地域の方とすれ違う際にご挨拶しております。</p> <p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1"> <tr> <td>受け入れ人数</td><td>実 習 生 : 0人</td></tr> <tr> <td></td><td>ボランティア : 0人</td></tr> </table> <p>実習生やボランティアの方をお受けしていきたいのですが、今現在まで実績がありません。</p> <p>人員不足解消の為に検討していきたいと思います。何かしら、ボランティアを募る方法があればお教えいただきたく存じます。</p>	受け入れ人数	実 習 生 : 0人		ボランティア : 0人	<p>【要望】</p> <p>・積極的に地域との交流を図って欲しい。</p> <p>【助言】</p> <p>・サンスマイルやおひさまといっしょに、文化祭などに参加するのはいかがか。</p> <p>【質問】</p> <p>Q: 地域連携推進会議の計画は進んでいるか。</p> <p>A: 遠方に住所を置いている利用者様もあり、ご来訪頂ける日が限られるため、その点も考慮して今後本部と話し合い計画・実施する予定。</p>																										
受け入れ人数	実 習 生 : 0人																															
	ボランティア : 0人																															
5 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。</p> <p>・イノベル野田尾崎での併設短期は御座いません。</p> <p>・イノベル野田尾崎では、別棟に単独短期棟が御座います。今現在、単独短期棟は稼働しておりませんが、短期入所のお問い合わせは多く寄せられており、地域における必要性を強く感じている所です。お問い合わせがあった場合には、グループ内の近隣施設のご案内を致しております。</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</p> <p>・上記の記載に御座います通りになります。</p>																															
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>・相談支援事業者様とは、情報共有や交換を行いながら交流を図っております。連絡協議会、圏域協議会に参加しております。</p> <p>・他のサービス事業所や訪問看護、往診医の方との連携を取り相談・助言などを頂いております。</p>																															
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	<p>【設立目的】ピオネストグループ理念：社会にとって価値あるものを提供し、事業を発展させることによって、お客様と従業員の幸福を最大化する。</p> <p>【運営方針】イノベルヘルスケアの理念：障がい福祉事業の新会社として、私たちに関わるすべての方々とともに成長し、今ここに無い未来を創造し、高い志を持って、社会に必要な基盤と明るい未来の実現に貢献する。</p>																															
8 職員の研修体制 ※施設概要補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>12人</td></tr> <tr> <td>精神障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>12人</td></tr> <tr> <td>医療的ケアのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>12人</td></tr> <tr> <td>その他重度障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>人</td></tr> <tr> <td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>12人</td></tr> <tr> <td>入社研修を始め毎月虐待防止を欠かさず行っています</td><td>有・無</td><td>12人</td></tr> <tr> <td></td><td>-</td><td>人</td></tr> </tbody> </table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	12人	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	12人	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	12人	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	12人	入社研修を始め毎月虐待防止を欠かさず行っています	有・無	12人		-	人	<p>【要望】</p> <p>・医療的ケアの研修を受講されているため、積極的な受け入れをお願いします。</p> <p>【評価】</p> <p>・全職員が研修を受講できている。</p> <p>【質問】</p> <p>Q: 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。</p> <p>A: 外部の研修では野田圏域障がい者グループホーム等連絡協議会、松戸圏域障がい者グループホームワーカー研修に参加。自社での研修も実施しております。</p>						
研修の種類	実施有無	受講人数																														
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	12人																														
精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	12人																														
医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	12人																														
その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人																														
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	12人																														
入社研修を始め毎月虐待防止を欠かさず行っています	有・無	12人																														
	-	人																														
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	<table border="1"> <tr> <td>野田市援護者数</td><td>2人（男性 非公表・女性 非公表）</td></tr> <tr> <td>市外援護者数（県内）</td><td>1人（男性 非公表・女性 非公表）</td></tr> <tr> <td>市外援護者数（県外）</td><td>2人（男性 非公表・女性 非公表）</td></tr> </table>	野田市援護者数	2人（男性 非公表・女性 非公表）	市外援護者数（県内）	1人（男性 非公表・女性 非公表）	市外援護者数（県外）	2人（男性 非公表・女性 非公表）	<p>【要望】</p> <p>・定員に近づくように努めて欲しい。</p>																								
野田市援護者数	2人（男性 非公表・女性 非公表）																															
市外援護者数（県内）	1人（男性 非公表・女性 非公表）																															
市外援護者数（県外）	2人（男性 非公表・女性 非公表）																															
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	<table border="1"> <thead> <tr> <th>障がい種別</th><th>年齢</th><th>支援区分</th><th>日中活動</th><th>土日帰宅</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr> <tr> <td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr> <tr> <td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr> <tr> <td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr> <tr> <td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr> </tbody> </table>	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	<p>【要望】</p> <p>・日中活動に繋がるように支援をお願いします。</p>
障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅																												
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																												
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																												
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																												
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																												
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																												

報告・評価シート

事業所名	グループホームほっと		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・GH内で主になどのような日中サービスを提供しているか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 昼食提供、散髪、余暇サービス等（散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加など） </div>		【助言】 ・昨今の夏の気温上昇を勘案すると、施設内での活動の充実も必要と感じる。 【質問】 Q:職員が不足し、週2、3日だけの利用となる時もあったと聞いたことがあるが、現在は職員不足の問題は解消されたか。 A:職員の補充により、週2、3日の利用は解消し、平日は利用者のほぼ全員が利用できている。土日は利用人数が少ないため、課題がある。 Q:買い物は具体的にどこに行かれているか。 A:近隣のショッピングモールが多い。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 外部の日中活動サービスの利用者人数： 14人 </div>		
	生活介護、放課後デイサービス、行動援護、一般就労		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 散髪、DVDレンタル付添、買い物、散歩、地域イベント参加 </div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・体験の利用等のニーズに対応しているか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">8人</div>		
	GH利用日数の段階的増加（2泊3日→3泊4日→平日全てGH利用、祝日自宅など） 外部の日中活動サービスとの支援の連携（生活介護事業所と同じ食事方法や排泄方法を般化したなど）		
3 支援体制の確保について	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 各住居に1名以上の日勤を配置 </div>		
4 地域に開かれた運営について	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 今年度中に、地域連携推進会議を計画 </div>		【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</div>		
	受け入れ人数	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実 習 生： 0 人 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> ボランティア： 0 人 </div>	
5 短期入所の併設について	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 新型コロナウイルスの密を避ける点を優先し、積極的に受け入れていない。 </div>		【要望】 ・感染症の持ち込みを防ぐことを意識し、短期入所の受け入れを検討いただきたい。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> GH入居時に他害行為を起こし、GHの利用を拒否するようになった生活介護の利用者1名に、GHを楽しく過ごせるように練習を実施。また、別法人の短期入所利用時に問題行動を起こした利用者1名の受け入れのため、構造化を導入。 </div>		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	生活介護事業所の支援内容をGHへ般化させ、GHの課題に対して生活介護事業所で再構造化し取り組むことができている。		【評価】 ・日中活動先とグループホームで連携が出来ている。 【質問】 Q:相談支援事業所とはどのように連携を図っているか。 A:利用者全員が法人内の相談支援事業所と契約をしているため、半年に一度のモニタリング時に個別支援計画を提出し、3か月～半年に一度近況の情報提供をしている。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容				【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	【設立目的】 障害者総合支援法に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事を目的とする。 「自立して生活できる」ことから「24時間いつでも幸せな生活」へと変えていくことを目標とする。					
	【運営方針】 共同生活援助事業は、知的障がいのある人たちが、地域において共同して自立した日常生活または社会生活が送れるよう、共同生活住居において相談その他の日常生活上の援助を行います。 グループホームの従業者は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援を行います。					
8 職員の研修体制 ※施設概要補足	研修の種類	実施有無	受講人数	【要望】 ・研修が少ないため、積極的に実施して欲しい。 ・強度行動障害の研修は全職員が受講するべき。		
	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	11人	【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:法人内の虐待防止・身体拘束適正化委員会で職員全体研修や、随時行われる権利擁護研修に参加。また、内容を委員会参加者がグループホーム内の職員に引き継ぐ場面を設けている。		
	精神障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人			
	医療的ケアのある人の支援に関する研修	有・無	人			
	その他重度障がいのある人の支援に関する研修	有・無	人			
	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	26人			
	※その他、法人で実施した研修があれば適宜追加	－	人			
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	野田市援護者数	14人（男性 非公表・女性 非公表）				
	市外援護者数（県内）	人（男性 人・女性 人）				
	市外援護者数（県外）	人（男性 人・女性 人）				
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	
	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	

報告・評価シート

事業所名	ハーモニーホーム		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ・本人のご希望に沿った生活内容で過ごしています。趣味である手芸(刺繍等)、テレビ・音楽・映画鑑賞、文字書き、折り紙、創作活動(壁面創作等)、買い物、散歩、等。その他、ご家族様と外出や通院等。 必要な支援は、排泄介助、入浴介助、食事介助、服薬支援、歯磨き支援、移動支援等。日中活動先と情報共有した中で、同じポイントでの支援を意識しながら、ホームの環境に合わせて個別支援の確立を行っています。 ・2か月1回訪問美容、毎月訪問歯科を案内(希望者) ・おやつ作り(希望者) ・天気のいい日は、玄関先にテーブルを出してお茶のみ(希望者)		【評価】 ・様々な日中サービスを提供できている。 ・利用者のご家族からグループホームへの感謝の声を聞いている。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数：16人		
	・生活介護、就労継続支援B型、一時支援		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・訪問歯科、訪問リハビリ、訪問美容を利用(希望者) ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等(希望者) ・散歩、買い物等(希望者) ・おやつ作り(希望者) ・他事業所の一時支援事業を(土)利用(希望者) ・毎月ボランティアさんによる定期演奏会を開催(希望者) ・GH連絡協議会主催イベントへの参加(希望者)		【評価】 ・利用者のニーズに合わせた外出支援に努めている。 【質問】 Q:体験利用については、空きがないため利用できないということか。 A:満床となっているため、体験利用をお受けすることができない状況。
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 実績なし (体験利用の事例について) 実績なし		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 6:00-10:00、16:00-21:00 男女等棟支援員各1人ずつ朝夕で配置 6:30-11:30、15:00-20:00 男女棟世話人各1人ずつ朝夕で配置 8:30-16:30 日中支援世話人1、8:30-17:30支援員1人を配置 16:00-翌朝9:00 男女棟夜勤者各1人ずつ配置 夜間は、緊急時に備え20:00-翌朝6:00宿直を1人配置		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・自治会で案内のあった夏祭りに参加等(希望者)。 ・年1回家族懇談会を開催(出席希望者)。懇談会という形にとらわれず、来たい時に立ち寄っていただくようにしています。訪問頻度は、週1回、月1回、必要に応じて、となっています。 ・定期演奏会、訪問歯科、訪問リハビリ実施時、希望されるご家族様には一緒に付き添い、参加していただいています。 ・支援学校PTA保護者様見学会実施。		【要望】 ・今後の実習生やボランティアの受け入れを期待する。 【評価】 ・自治会との交流があることは良い。 ・グループホームへのニーズが高まっているため、支援学校との連携による保護者見学会はとても良い取り組み。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 0人	
	・ご希望があれば積極的に受け入れをしていきたいと思っています。		
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・援護地野田市の方、短期入所令和6年度実績は、契約者数23人、延べ230人の利用がありました。		【要望】 ・緊急受け入れの申し出があった際には、ぜひ対応をお願いします。 【評価】 ・継続的に短期入所の受け入れができています。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 実績なし。 緊急事案については、障害特性含め現状の支援体制の中で受け入れ可能かを検討し、可能な範囲で対応していきたいと思っています。		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価																																																																																
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	事例（非公表）	【評価】 ・他の事業所との連携が図られている。																																																																																
7 設立目的・運営方針 ※施設概要補足	【設立目的】 野田みどり会の障がい福祉サービスをご利用されているご利用者様の保護者より「親も高齢になってきて本人の介護負担に限界を感じ始めているとともに、親亡き後の我が子の生活に不安を抱えている」等の相談が増えきた現状です。これを踏まえ、法人としてご利用者様を始め、地域の障がいのある人が親亡き後も住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、住まいの場を提供すると共に、障がいのある人が安心して地域生活を営むことができる地域作りをすることを目的とし設立しました。 【運営方針】 ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく「共同生活援助事業運営規程」を遵守し、かつ、社会福祉法人野田みどり会の理念「すべての人の幸せに」を基に、次のことを基本として事業を運営していく方針です。 ①利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、常時の支援体制を確保し、当該利用者様の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、相談、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の支援又は援助を適切かつ効果的に行います。 ②地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の指定障がい福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。 ③事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び関係法令等を遵守し、事業を実施いたします。																																																																																	
8 職員の研修体制 ※施設概要補足 ※兼務職員については、各事業所で研修実施。	<table><thead><tr><th>研修の種類</th><th>実施有無</th><th>受講人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>強度行動障がいのある人の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr><tr><td>虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修</td><td>有・無</td><td>8人</td></tr><tr><td>倫理及び法令遵守に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr><tr><td>感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研</td><td>有・無</td><td>8人</td></tr><tr><td>虐待防止及び身体拘束に関する研修</td><td>有・無</td><td>8人</td></tr><tr><td>非常災害時の対応についての研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr><tr><td>安全運転講習会</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr><tr><td>ヒューマンエラー防止対策研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr><tr><td>ハラスメント研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr><tr><td>労務管理研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr><tr><td>介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修</td><td>有・無</td><td>2人</td></tr></tbody></table>	研修の種類	実施有無	受講人数	強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	2人	虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	8人	倫理及び法令遵守に関する研修	有・無	2人	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研	有・無	8人	虐待防止及び身体拘束に関する研修	有・無	8人	非常災害時の対応についての研修	有・無	2人	安全運転講習会	有・無	2人	ヒューマンエラー防止対策研修	有・無	2人	ハラスメント研修	有・無	2人	労務管理研修	有・無	2人	介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修	有・無	2人	【要望】 ・より多くの職員が研修を受講できるようにしたい。 ・災害対応の研修が2人しか受講していない。関わる職員全員が対応できるように、研修や訓練を取り組んでもらいたい。 【質問】 Q:虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修について、自社で研修の用意をしているのか、外部の研修に参加されているのか、どこが実施している研修に参加されているのか、教えてほしい。 A:法人内研修の他、野田圏域グループホーム等連絡協議会研修会、千葉県社会福祉協議会研修会に参加。																																												
研修の種類	実施有無	受講人数																																																																																
強度行動障がいのある人の支援に関する研修	有・無	2人																																																																																
虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修	有・無	8人																																																																																
倫理及び法令遵守に関する研修	有・無	2人																																																																																
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研	有・無	8人																																																																																
虐待防止及び身体拘束に関する研修	有・無	8人																																																																																
非常災害時の対応についての研修	有・無	2人																																																																																
安全運転講習会	有・無	2人																																																																																
ヒューマンエラー防止対策研修	有・無	2人																																																																																
ハラスメント研修	有・無	2人																																																																																
労務管理研修	有・無	2人																																																																																
介護保険制度、高齢障害者の支援に関する研修	有・無	2人																																																																																
9 野田市援護者数 ※利用者状況補足	<table><tbody><tr><td>野田市援護者数</td><td>16人（男性 非公表・女性 非公表）</td></tr><tr><td>市外援護者数（県内）</td><td>人（男性 人・女性 人）</td></tr><tr><td>市外援護者数（県外）</td><td>人（男性 人・女性 人）</td></tr></tbody></table>	野田市援護者数	16人（男性 非公表・女性 非公表）	市外援護者数（県内）	人（男性 人・女性 人）	市外援護者数（県外）	人（男性 人・女性 人）																																																																											
野田市援護者数	16人（男性 非公表・女性 非公表）																																																																																	
市外援護者数（県内）	人（男性 人・女性 人）																																																																																	
市外援護者数（県外）	人（男性 人・女性 人）																																																																																	
10 利用者の詳細 ※利用者状況補足	<table><thead><tr><th>障がい種別</th><th>年齢</th><th>支援区分</th><th>日中活動</th><th>土日帰宅</th></tr></thead><tbody><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr><tr><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td><td>非公表</td></tr></tbody></table>	障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表	【助言】 様々な年齢に応じて個別化された支援をしてもらいたい。 【評価】 全員が日中活動に参加出来ている。 【質問】 Q:利用者の中に60代の方もいるため、夜間に急変等があった場合の連携体制について教えてほしい。 A:緊急時フローチャートにそって対応することとしている。夜間急変時、管理者の携帯電話に連絡をすることとし、管理者は場合によってはホームに向かう。内容を確認した上で保護者様にも連絡を取り、判断によっては救急搬送対応をするようにしている。その他、令和7年9月から訪問看護ステーションとの委託業務契約により24時間体制で医療との連携が取れる体制を整えた。
障がい種別	年齢	支援区分	日中活動	土日帰宅																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														
非公表	非公表	非公表	非公表	非公表																																																																														

報告・評価シート

事業所名	ソーシャルインクルーホーム成田本三里塚							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 (日中をGH内で過ごす利用者に対してどのような支援・サービスを提供しているのかについて) 3食の提供、服薬管理、排泄介助、入浴介助、食事介助、洗濯、掃除、通院同行(主治医への報・連・相)・買い物同行(外出支援)、代理での買い物支援、関係先との連携、各種相談、訪問看護(医療連携)、金銭管理、各種受給券の更新、訪問カット等の生活に関わる事全般の相談や対応	安全を守りながらも、土日祝日などの余暇支援にも取り組むと、さらに利用者の満足につながるのでは。 希望される方への料理をする機会の提供を引き続き検討していただきたい。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 10 人							
	(主な外部の日中活動サービスの種類について) ・就労継続支援B型事業所 ・デイサービス ・生活介護事業所							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 (GH内で過ごす利用者が充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例について) ・日中、通所などのない方々のために、ゲームを楽しんだり、天気の良い日は日光浴の支援を行い、楽しくリラックスしたムードで楽しめるようにしている。また同行での支援が必要な利用者に対して、買い物支援を行っている。	自治会などが行う地域の行事やイベント機会などを把握して参加してみようか。 (一部非公表)						
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 現在利用中の20名の内、17名は体験利用の上、入居を行っている。 体験利用後に入居されなかった方はいらっしゃらない。							
	(体験利用の事例について) 2023年7月5名、8月2名、9月2名、10月1名、11月2名 2024年5月3名							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (常時の支援体制確保状況の事例について) 実際1名ほどの不足人数が出ることもある。	研修体制は、入社時研修に加え、定期研修など実施できていると感じた。一方、昨年から複数の職員が退職しているということで、安定した雇用維持を目指してほしい。						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 (交流機会の事例等を記入) 家族や、以前からのご友人の訪問もあり、利用者様と自由に交流している。週末を家で過ごすなど、外泊も行われている。 地域のスーパーから移動販売車をお迎えして、買い物も行う。	法人の意向次第ではあるが、ボランティアや実習生の受入れについて、地域との交流があることで、入居者の生活の幅が広がり、また外部の目が入る事によりほどよい緊張感が生まれるため、引き続き受入れに努力されたい。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%;">実 習 生：</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア：</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人
	受け入れ人数		実 習 生：	0人				
	ボランティア：	0人						
(受け入れの事例を記入) ・現在は受け入れてきていないが、今後検討していく。								

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。</p> <p>(受け入れ状況について)</p> <p>短期入所の利用が低いため近隣の相談支援事業所と援護地へFAXまたは直接ご案内しています。</p> <p>病院からの相談も積極的に受入しています。</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</p> <p>(緊急・一時的な支援等の受け入れ事例について)</p> <p>退院後の次の行き先が決まるまで、一時的に受け入れを行ったことがあります。</p>	<p>・短期入所は地域でのニーズが高いため、緊急時の積極的な受け入れをお願いしたい。</p>
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>(具体的な連携状況の事例について)</p> <p>相談事業所との連絡は欠かさず行っている。</p> <p>成田市内のクリニックとの訪問診療や、地域に根付いた内科病院との医療連携、また各種看護ステーションによる、リハビリテーションや、精神カウンセリングなどもお願いしている。</p>	<p>地域の事業所との連携強化のため、自立支援協議会への参加について昨年に引き続き検討いただきたい。</p>
7 その他	<p>(市町村等において事業者に対して追加の確認がある場合、追加の質問事項等をこちらに記載してください。)</p>	

報告・評価シート

事業所名	ドットホーム成田（医療対応型障がい者グループホーム）							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 (日中をGH内で過ごす利用者に対してどのような支援・サービスを提供しているのかについて) ・排泄介助 ・入浴介助 ・食事提供 ・食事介助	入浴やトイレなど設備が整っており、よかった。 利用者が穏やかに過ごすことができていたように思う。 24時間365日面会対応とのことで、本人に会いたいときに会える環境が整っているの素晴らしいと感じた。 食事はクックデリを使用しているとのことだが、条件によっては「食事提供体制加算」の申請が可能では。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 4人							
	(主な外部の日中活動サービスの種類について) ・生活介護事業所（かしの木苑・十倉更生園）							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 (GH内で過ごす利用者が充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例について) ・祭礼の参加 ・社用車による外出支援	建物オーナーが近隣にいて地域と繋がる機会が確保されており、今後も地域の行事や活動への参加を継続されたい。 社用車による外出支援は、大変素晴らしいと感じた。 本入居前に体験をすることで利用者に合っているかどうか確認できるため、今後も体験入居は積極的に受け入れてほしい。						
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) ・7名							
	(体験利用の事例について) ・在宅での生活⇒共同生活に慣れる為の体験利用							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか (常時の支援体制確保状況の事例について) ・各フロアに支援員、世話人を配置している。	支援員・世話人は全員が正規社員であり、安定した勤務体制を構築できていると思われる。 (一部非公表)						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 (交流機会の事例等を記入) ・祭礼の参加（駐車場を休憩所として利用している）	祭礼への参加は、オーナーの意向で駐車場を貸し出しているとのこと。利用者は窓から眺めていると話だったので、今後は利用者と地域住民とのふれあいの機会があると良い。 実習生やボランティアは地域住民の理解を広げたり、将来的な人材確保のきっかけになることから、受け入れにも積極的に取り組んでもらいたい。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td><td style="width: 30%;">実 習 生：</td><td style="width: 40%; text-align: right;">0人</td></tr> <tr> <td></td><td>ボランティア：</td><td style="text-align: right;">0人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人
	受け入れ人数		実 習 生：	0人				
			ボランティア：	0人				
(受け入れの事例を記入) ・無し								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 (受け入れ状況について) ・1名	今後、地域の社会資源として、緊急時の短期入所の受け入れを積極的に行っていただけるとありがたい。						
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 (緊急・一時的な支援等の受け入れ事例について) ・対応事例無し							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	(具体的な連携状況の事例について) ・依頼は主に相談員からの受け入れ、ただし成田市の相談員からの問い合わせが少ない。	自立支援協議会への参加を積極的に検討してほしい。						
7 その他	(市町村等において事業者に対して追加の確認がある場合、追加の質問事項等をこちらに記載してください。) ・無し							

報告・評価シート

事業所名	グループホーム ABC	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>(日中をGH内で過ごす利用者に対してどのような支援・サービスを提供しているのかについて)</p> <p>当グループホームでは、日中をホーム内で過ごす利用者に対し、能力や特性に応じた軽作業や生活動作の支援を中心に活動を提供します。</p> <p>リサイクル活動：利用者と一緒にペットボトルや缶のラベルはがし・分別を行い、地域のリサイクル活動に貢献</p> <p>園芸・農作業：プランターや花壇での園芸、野菜の栽培</p> <p>生活動作支援：掃除や洗濯など、日常生活に必要な家事を利用者とともにを行い、自立に向けたスキルの習得</p>	<p>他者や周囲の環境からの干渉に敏感な利用者にとって、完全なプライベート空間が確保できている環境は魅力的な一方で、ワンルールの構造で浴室もユニットバスのため、入浴介助等支援者の負担が大きくなってしまいうことが懸念される。そのため、世話人への介護技術に関わる研修や、介助補助具の使用など、介護負担に配慮した運営をお願いしたい。</p> <p>アパート型で想定利用者の区分が高いことから、入居利用者の特性によっては居室内の衛生管理が心配である。衛生面に配慮した運営を期待したい。</p> <p>各居室の扉に設置されているドアガードについては緊急時避難や日常の見守りの観点から撤去した方が望ましい。</p>
	<p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>外部の日中活動サービスの利用者人数： 人</p>	
	<p>(主な外部の日中活動サービスの種類について)</p> <p>現在、利用者なし</p>	
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>(GH内で過ごす利用者が充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例について)</p> <p>現在は利用者がおりませんが、今後は買い物や散歩などの日常的な外出支援や、公園・地域行事への参加などの余暇活動を取り入れ、地域生活を楽しめるよう支援していく方針です。</p>	<p>日中サービス支援型で他者との関わりに拒否的な場合、余暇活動支援は難しいとは思いますが、個々のニーズに合わせた工夫をされたい。</p>
	<p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>(これまでの体験利用者の人数)</p> <p>1名</p>	
	<p>(体験利用の事例について)</p> <p>重度知的障害の利用者様が体験利用</p>	
3 支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>(常時の支援体制確保状況の事例について)</p> <p>現在は利用者がおりませんが、入居開始に備え、日中・夜間・土日を含めた常時の支援体制を確保できるよう、職員シフトを整備しています。利用者が安心して生活できる体制を構築しています。</p>	<p>生活全般個室での対応となるので、全室入居になった際、各利用者のニーズや必要な介助などの提供ができるかなどを考えながら支援体制を整えてもらいたい。</p>

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	今後地域交流の機会、ボランティア、学生の受け入れを積極的に取り組んでいただきたい。		
	(交流機会の事例等を記入) 入居後は家族との連絡・面会の機会を大切に、地域行事や自治会活動などにも参加できるよう支援し、交流の機会を確保していく方針です。			
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。			
	<table border="1" data-bbox="359 421 914 488"> <tr> <td data-bbox="359 421 603 454">受け入れ人数</td> <td data-bbox="603 421 914 454">実 習 生： 0人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 454 603 488"></td> <td data-bbox="603 454 914 488">ボランティア： 0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0人
受け入れ人数	実 習 生： 0人			
	ボランティア： 0人			
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	短期入所は地域でのニーズが高いため、緊急時の積極的な受入れをお願いしたい。		
	(受け入れ状況について) 地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れる方針で準備を進めており、安心して生活できる体制を整えています。			
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
	(緊急・一時的な支援等の受け入れ事例について) 現在は利用者おりませんが、緊急や一時的な支援が必要な場合にも対応できるよう、職員体制や連絡体制を整えて準備を進めています。			
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	(具体的な連携状況の事例について) 現在、相談支援事業者と定期的に連絡を取り合い、利用者受け入れに向けた情報共有や支援方針の調整を行っています。今後も必要に応じて、他のサービス事業所とも連携を図り、利用者に最適な支援が提供できるよう努めていきます。	成田市地域自立支援協議会などを活用し、他事業所との繋がりを進めるとよい。		
7 その他	(市町村等において事業者に対して追加の確認がある場合、追加の質問事項等をこちらに記載してください。)			

報告・評価シート

事業所名	グループホームイノベル佐倉		
項目	【事業所記入欄】具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	○買い物や季節のイベント開催、通院同行等を行っており、引き続き、各利用者の意向を踏まえて、日中サービスの提供をしていただきたい。	
	・買い物支援やお散歩支援で外出を支援。 ・季節事のイベント開催、おやつ作り、お誕生日会、受診同行、訪問看護、訪問診療、リハビリ、歯科、理容を入れている。 ・入居者様の希望に沿って日々買い物支援などはしております。		
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について		
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 15人		
	生活介護サービス		
	・生活介護：木の宮学園、はちみつ、きざし、アロハ ・就労B型：プライアアップ、ウーリー、リハスワーク ・デイサービス：げんきあん、さくらの丘		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	○外出や余暇活動の支援については同上。	
	・外出レクについて、近場では、ドン・キホーテなど行き、いろいろ興味の有るものを観たり買って帰るなど楽しみの一つとして行っています。 ・又、アンデルセン公園や千葉動物公園に皆さんで行ったり、ひまわりの種まきへ行き8月のひまわり祭りで自分達の蒔いた花を見るのを楽しみにしております。。本人のおやつと一緒に散歩に行きながら買いに行くのは勿論、ホームではおやつ作りをしたり、月に1度昼を欠食し材料を買ってきて利用者様と一緒にピザやちらし寿司など作ったり、折り紙、塗り絵などをしている。 ・又、（通院等の支援について）各入居者様の通院の予定を把握し、出来るだけ同じ職員で付き添い本人の要望や日々の行動などを相談して、各入居者様との関係も安心して貰える様に対応しています。また、保護者様と通院されるケースもございます。 ・保護者様と会える機会を楽しみにされている入居者様様もいらっしゃいますので保護者様と話し合いをさせて頂きながら都合の悪いときなどはホームにて通院同行させて頂いております。	○体験利用は、今後推進する予定である、地域生活支援拠点等の整備における5つの機能のうちの一つであり、積極的に受入れを行っていただきたい。	
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。		
	（これまでの体験利用者の人数）22名		
	（体験利用の事例について） ・入居前提の体験利用がほとんどですが、居室が空く予定の場合今後利用したい方の体験も可としております。 ・又、グループ内の施設で空きがある場合紹介頂ける環境ならお願いをしています。		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	○支援体制は確保されているため、引き続き、適切な支援を行っていただきたい。	
	・日中土日を含めた支援体制 －日勤者1ユニット2～3名（2ユニット4～6名） －夜間従事者1ユニット1～2名（2ユニット2～3名） ・必要常勤換算 世話人3.9／生活支援員4.5（令和6年度） ・人員配置体制20：1での支援体制となっております。 適時、7.5:1まで人員を配置していく予定としております。		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	○令和7年度からは義務化された地域連携推進会議を開催し、ボランティアを含め、地域との交流を図ることにより、質の向上に努めていただきたい。	
	・ご家族の面会。外出時などの挨拶運動を積極的に取り組んでいます。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数		実 習 生： 0人 ボランティア： 0人
	（受け入れの事例を記入） ・受入れは現在ありません。 ・今後出来るならば、ボランティア等に来て頂ける様に取り組みたい。		
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	○短期入所は、今後推進する予定である、地域生活支援拠点等の整備における5つの機能のうちの一つであり、積極的に受入れを行っていただきたい。 ○虐待が疑われる場合は、速やかに佐倉市障害福祉課（障害者虐待防止センター）に情報提供いただきたい。	
	・週末利用や親御さんのレスパイトの為の受け入れや、今後の人生の中で一人で暮せる様にと体験としての利用を受け入れています。 ・直近での実績（直近3ヵ月）3名		
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		
	・ご家族からの虐待、ネグレクトというケースで緊急受け入れを実施した。 （具体的な連携状況の事例について）		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・常に相談員さん、生活介護事業所など連絡をとり情報共有している。 ・空室予定やグループホーム内の活動について共有させて頂いております。 ・今後、ボランティアの方を積極的に参加されて欲しいので、我々も積極的にボランティアセンター等声がけていきます。	○利用者の社会生活の自立を促進することができるよう、引き続き、相談支援事業所や障害福祉サービス事業所等と連携を図っていただきたい。	

項目	【事業所記入欄】具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】要望・助言・評価
7 その他	<p>・利用者の権利擁護体制についてどのようにしているか。</p> <p>・虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置しており、想定会議など行い各事業所のケースを検討している。</p> <p>・事故報告は事業所より法人へ連絡を受け、マニュアルに則り対応している。またヒヤリハットにて予防を行う。</p> <p>・男性支援での女性職員の対応になるケースは現在ありますが、同性介助推進に向けて取り組んでおります。同性介助について女性利用者様に対しては、女性職員がすべて行っております。また、男性利用者様について入浴などは基本男性にて行っておりますが、食事介助、排泄介助など支援が重複する時間帯においては女性職員が対応するケースがあります。</p>	○虐待防止委員会への第三者の参加、マニュアル遵守の徹底、定期的な研修の実施等により、虐待防止の徹底を図っていただきたい。
	<p>・職員の研修体制についてどのようにしているか。</p> <p>・虐待防止委員会を事業所にて設置し、法人と合同虐待防止委員会を月に1度WEB会議にて開催し情報共有を図っております。</p> <p>・外部研修については、権利擁護研修やリスクマネジメント、事故防止対策等の、外部研修を受けに行っています。今年度、強度行動障害の研修や地域法人様主催の研修に参加したいと考えております。職員の福祉の専門性にかかる研修の実施を出来るだけ行うようにしていきたい。</p>	
	<p>・専門職の配置についてどのようにしているか。</p> <p>（看護師等専門職の配置状況について）</p> <p>・看護師配置について今後軌道に乗りましたら、日勤常駐として、配置となる予定です。</p> <p>・訪問看護、訪問リハビリ等、週1～3回診て頂いております。</p> <p>・服薬は、提携薬局に一包化、配薬をして頂いております。</p> <p>・また、提携往診医（月2回の往診）にて利用者様の健康管理をさせて頂いております。24時間オンコールにて相談環境もできております。</p> <p>・提携往診医・薬局との連携により入居者様の健康管理を進められております。</p>	○貴事務所は障害支援区分が重い障害者が多いため、看護師等の専門家を配置し、利用者の体調変化等に適切に対応し得る体制を整備していただきたい。
	<p>・いわゆるヒヤリハットのケースは何件あるか。</p> <p>（件数及びその改善状況について）</p> <p>・平均して月に20件程度、管理者およびサービス管理責任者、ケアリーダーによるケースの原因究明と再発防止の検討をし職員へ改善指示を致します。朝礼や夕礼の時間を有効活用しております。</p> <p>・ヒヤリ・ハット報告書は、管理者・サービス管理責任者、ケアリーダーにより即時確認・改善が基本運用となっております。</p> <p>・事実確認⇒原因究明⇒会議⇒再発防止策の提言・実施のスキームとなっております。</p>	
		○ヒヤリハットの一連のスキームを実施することにより、ヒヤリハット件数の減少や、大事故につながることをないようにしていただきたい。

報告・評価シート

事業所名	グループホームイノベル四街道	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	標準的な支援・サービスが提供されている。
	ご飯の提供および見守り、入浴の介助、トイレ介助、季節ごとのイベントやお菓子の提供や散歩等。	概ね適切だが、より充実した支援・サービスの提供に努められたい。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	標準的な利用人数及び内容である。
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 10人 生活介護はちみつ2名、 生活介護INNOVEL HEALTHCARE 8名	概ね適切だが、更なる利用人数の拡充と内容の充実に努められたい。
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	標準的な外出・余暇活動等の支援活動が提供されている。
	基本的には、生活介護にてイベントや活動を行い、GHでは休息や安心できる空間の提供を行っている。余暇はおかしの提供や散歩などリラックスできる時間を作っている。	概ね適切だが、より効果的な外出・余暇活動等の支援活動の提供に努められたい。
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	体験的利用の人数または内容に不足がある、または改善を要する。
	現状は体験等は行えていない。	状況が許されるには時間が必要であろうが、できるだけ早い時期に体験ができるよう体制を整え、体験の機会が得られるよう準備願いたい。
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	標準的な支援体制が確保されている。
	1年以上在職実績のあるスタッフの為、利用者様の対応には慣れており、安心した支援提供を行っている。	概ね適切だが、より効果的な支援体制の確保に努められたい。
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	交流の機会の確保に改善の余地がある。
	ご家族との面談等を行い、お住まいが遠い方は電話や手紙にて対応している。近隣の住民はほとんどいない為交流できていません。地域連携推進会議10月頃、開催予定しております。	施設見学などの交流の機会をもつことでGHを身近に感じてもらえることもあるので、積極的に交流の機会を確保してほしい。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	実習生やボランティアの受け入れに改善の余地がある。
	受け入れ人数 実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	短時間でも良いので、風通しが良くなるように実習生・ボランティアを入れてください。
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある人を積極的に受け入れているか。	障がいのある人の短期入所状況に改善の余地がある。
	受け入れられる状況がまだない	今後は職員の体制などを含め、受け入れが可能になるよう整備に努められたい。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	緊急・一時的な支援等の受け入れに改善の余地がある。
	受け入れられる状況がまだない	体制が整った際は、受け入れを願いたい。
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談事業所（レーヴェン勝田台、香取学園）とサービス担当者会議を行ったり、生活介護（イノベル、はちみつ）との連携を図っている。	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携が標準的に図れている。 概ね適切だが、より積極的な相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を図られたい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 利用者の権利擁護について	<p>・利用者の個人情報保護についてどのように実施しているか。</p> <p>利用者様の個人情報は鍵付き書庫に保管しており、許可なく見れない様にしてあります。</p>	<p>利用者の個人情報保護が標準的になされている。</p> <p>概ね適切だが、セキュリティ対策ソフトの導入や職員の意識改善などによる利用者の個人情報保護にも努められたい。</p>
	<p>・虐待等の権利侵害の予防・対応に関してどのように実施しているか。</p> <p>月に1度、スタッフとの面談や会議を行い、虐待に繋がりそうな案件や事象を整理して、未然に虐待を防ぐ様にしている。</p>	<p>標準的な権利侵害の予防・対応が実施されている。</p> <p>虐待防止・身体拘束・意思決定支援は常に意識をしてください。</p>
8 その他	<p>利用者の健康管理、医療との連携</p> <p>現状では、千葉シーサイドクリニックへ医療機関を改め、24時間での医療連携を行い、健康面での心配があれば、指示をもらって対応しています。月に2回の健康チェック等の、医師に往診をして頂き、サント薬局からの薬の処方をして頂いております。他に、医療的な部分で心配な方は紹介状をもらい、他の病院等での診察も行うようしております。</p>	<p>利用者の健康管理、医療との連携、職員の質向上等が標準的になされている。</p> <p>概ね適切だが、より積極的な利用者の健康管理、医療との連携、職員の質向上等に努められたい。</p>

報告・評価シート

事業所名	日中サービス支援型障がい者グループホーム リビットホーム四街道				
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価			
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	標準的な支援・サービスが提供されている。			
	・相談援助 ・入浴、排泄、食事などの介護 ・レクリエーションなどの余暇活動 ・利用者の職場や日中活動先などの連絡調整	利用者の視点にたって活動していることを評価する。それぞれが興味を示すこと等をヒアリングして、日中活動ができるような方向を目指すことを期待する。			
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	標準的な利用人数及び内容である。			
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 5 人 ・生産活動、創作活動 1名：四街道市福祉作業所 週5日 1名：TODAY若松町 週2日 1名：クローバーケア 週5日 1名：ウーリー四街道 週1日、 リハワーク千葉美浜 週2日 1名：リル四街道 週3回 アガペの里 週2回 風の村とんぼ舎さくら 週1回	利用者の障がいの状況に応じてよく対応されているが、粘り強く半数以上が日中活動ができるようにいろいろな工夫を検討願いたい。			
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	標準的な外出・余暇活動等の支援活動が提供されている。			
	・近隣コンビニへ同行支援 ・月に1回買い物支援（ドン・キホーテ等）	利用者の個別の希望に沿った余暇活動に引き続き取り組んでいただきたい。			
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	標準的な体験的利用が提供されている。			
	・親のレスパイトや入院時、親元を離れて過ごす体験	概ね適切だが、より積極的な体験的利用の提供に努められたい。			
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	標準的な支援体制が確保されている。			
	・24時間、365日支援員常駐	概ね適切だが、より効果的な支援体制の確保に努められたい。			
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	標準的な交流の機会が確保されている。			
	・家族来訪、週末帰省など家族交流あり ・近隣施設イベント参加 地域連携推進会議予定	地域の活動に積極的に参加願いたい。			
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。	実習生やボランティアの受け入れに改善の余地がある。			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td>実 習 生： 0 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア： 0 人</td> </tr> </table> 現在受入れ実績無し	受け入れ人数	実 習 生： 0 人		ボランティア： 0 人
受け入れ人数	実 習 生： 0 人				
	ボランティア： 0 人				
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある人を積極的に受け入れているか。	障がいのある人の短期入所受け入れが標準的になされている。			
	受け入れている 近隣住民の入居受入れ実績あり	概ね適切だが、より積極的な障がいのある人の短期入所受け入れに努められたい。			
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	積極的な緊急・一時的な支援等の受け入れがなされている。			
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	対応している 家族の体調不良によって短期、長期の受け入れをした実績あり	緊急の受け入れは利用希望者のアセスメントが不十分な場合が多いが、職員や他の入居者の安全に配慮しながら慎重に対応してほしい。			
	・障害者等の心身状況や環境について対面、電話や連絡帳にて連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携が標準的に図れている。 概ね適切だが、より積極的な相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を図られたい。			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 利用者の権利擁護について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個人情報保護についてどのように実施しているか。 ・契約時に個人情報使用同意書を取り交わしている 鍵付書庫内 利用者別に保管	優れた利用者の個人情報保護がなされている。 適切であり、水準の維持に努められたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待等の権利侵害の予防・対応に関してどのように実施しているか。 ・掲示物でどの利用者も確認できるように、援護地別に作成している 作成掲示物：『適正化に向けた体制整備について』・『リビットホーム四街道の適正可検討体制（委員・協力員名／検討委員会について）』・『相談、通報届出窓口の案内と従業員対象通報システム』	標準的な権利侵害の予防・対応が実施されている。 支援に困難の伴う場合に、個人が抱え込まないように職員が自由にその困難さを話せる雰囲気を大事にしてほしい。
8 その他	利用者の健康管理、医療との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護、診療、歯科、薬局を導入し定期的に受診できる状況を確立 職員の質向上等に関して実施した事例 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人人材4名在籍しているため、例えば夜勤強化月間として1か月指導するなど支援力向上に努める 	利用者の健康管理、医療との連携、職員の質向上等が標準的になされている。 外国籍のスタッフには日本人にはない支援が必要と思われるため、十分な支援と配慮で、雇用が少しでも長続きするよう努力していただきたい。

報告・評価シート

事業所名	はにかむ		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。		優れた支援・サービスが提供されている。
	日中活動に通所していない場合は、体力維持のため、ウォーキングやダンスを実施。余暇活動としては、創作活動、調理などを実施しております。		利用者の視点に立ったサービス・活動を行っており、更に継続することを期待する。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について		利用人数及び内容が優れている。
	外部の日中活動サービスの利用者人数：6 人 生活介護はちみつに通所しております。		生活介護とGHが近いため、急変時迅速な連携が取りやすいと言った利点を生かし、引き続きより充実したサービス提供に努められたい。
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。		標準的な外出・余暇活動等の支援活動が提供されている。
	外出については、年に2回実施予定です。 利用者たちと話し合い、意思決定支援を基本に場所を決定し外出に行きます。		利用者がGHの生活に慣れるに従って回数が増えるといい。
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。		積極的に体験的利用が提供されている。
	短期入所の受け入れを週に3日～5日行っております。 短期入所の受け入れを週に3日～5日行っております。		既存の利用者さんとの相性など難しい面もあると思うが、ニーズはあると思うので引き続き積極的な受け入れをお願いしたい。
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。		標準的な支援体制が確保されている。
	職員を多く配置しており、支援体制は確保しております。		職員の数だけでなく、経験年数や能力に応じたシフト体制等を考慮して対応することを期待する。
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。		積極的に交流の機会が確保されている。
	地域住民の方から、野菜や旬の食材などをいただいたり、生活介護はちみつの行事などに参加していただいております。ご家族の参加もお願いし交流を深めております。年1回のハフエスの開催、年に2回地域連携推進会議を実施予定（9月、1月）		地域との交流の中で清掃作業活動に協力していることは地域貢献になっており、継続することで更に地域との関係が良くなることを期待する。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		実習生やボランティアの受け入れに改善の余地がある。
	受け入れ人数 実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人 令和7年4月からの開所のため、まだ受け入れ実績はありません。	開所後、間もないため実績はないようだが、今後取り組まれることに期待している。	
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある人を積極的に受け入れているか。		障がいのある人の短期入所受け入れが標準的になされている。
	受け入れを行っております。週に3日～5日間短期入所利用されております。		概ね適切だが、より積極的な障がいのある人の短期入所受け入れに努められたい。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		標準的な緊急・一時的な支援等の受け入れがなされている。
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	地域生活支援拠点に登録しており、緊急・一時的な支援等の受け入れを行っております。		概ね適切だが、より積極的な緊急・一時的な支援等の受け入れに努められたい。
	個別支援計画は各相談支援事業所、日中活動である事業所と共有しております。本人の状態をできる限り細かく相談支援事業所及び生活介護事業所には伝えるようにしており、生活の場やご家族の状況の変化についても、同様に共有を図っております。		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携が積極的に図れている。 利用者の状況に応じたきめ細かい対応の継続を期待する。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 利用者の権利擁護について	<p>・利用者の個人情報保護についてどのように実施しているか。</p> <p>契約時に、個人情報使用同意書をご家族に書いていただいております。</p> <p>個人ファイルは施設外には持ち出し禁止。保管場所は施錠を行っております。</p>	<p>優れた利用者の個人情報保護がなされている。</p> <p>適切であり、水準の維持に努められたい。</p>
	<p>・虐待等の権利侵害の予防・対応に関してどのように実施しているか。</p> <p>年に二回（8月、3月）全職員対象の研修を実施。権利擁護について一日かけて研修を行っております。虐待防止委員会、感染症対策委員会を年3回実施予定。職員会議等で、虐待については、都度話し合い防止に努めています。</p>	<p>優れた権利侵害の予防・対応が実施されている。</p> <p>新しい情報を取り入れることは必要だが、基本的な内容を繰り返しすることも大切であるため、バランスの良い研修を期待する。</p>
8 その他	<p>利用者の健康管理、医療との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の食事の管理、検温の実施 ・月に一度の体重測定 ・希望者には通院同行を実施。GHでの状況や日中活動の場の状況を伝えております。 <p>職員の質向上等に関して実施した事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議（職員研修）の実施 1回／月 ・新人研修（生活介護はちみつでの日中研修）～2か月間 ・実務研修（はにかむ内での研修）～2週間 ・全職員研修 2回／年 	<p>利用者の健康管理、医療との連携、職員の質向上等が標準的になされている。</p> <p>細かな医療との連携をしていただきたい。また、職員の質向上等に関して実施している研修を継続実施されたい。</p>

報告・評価シート

事業所名	ハナミズキ						
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価					
1 利用者の主な 日中の活動に ついて	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。		/				
	・ 入浴、排泄、食事のほか、利用者様の障害特性を考慮した余暇活動を提供している。						
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について						
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 0人						
2 利用者に対す る地域生活の 支援状況につ いて	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。		・ 利用者に対して外出や余暇活動について （評価）前年度に比べてイベントも増え、最近では高等部を卒業する利用者に対して、在籍学校の校長等を招き簡易的な卒業式を施設で開催し、家族から大いに喜ばれたとのこと。また、季節毎のイベントを積極的に開催しており、利用者が地域で生活していく中で楽しめることを職員が工夫して開催していることを評価する。				
	・ 室内活動を中心とするなか、お正月の初詣に始まり、屋外では春先のお花見、夏場のプール遊び、初秋の法人秋祭りや日帰り旅行、屋内では回転寿司やクリスマス会、節分の豆まきなどを実施した。定期的な外出は難しい状況にあるが、できるだけ屋外の活動を増やし、外出の機会を創出したい。						
	・ 体験の利用等のニーズに対応しているか。						
	これまでの体験利用者数 4名 ・ 令和6年4月に2名、5月から6月にかけて1名、令和7年3月に1名実施。このうち、5月から6月にかけて実施した方についてはその後入所となっている。						
3 支援体制の確 保について	・ 日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		・ 日中・土日を含めた常時の支援体制について （要望）業務継続計画（BCP）について災害時及び感染症の蔓延に対して作成されているものの、計画の認識が利用者視点で作成されていると思われる。職員が被災・罹患した際の想定でいかにして業務を停止することのない体制が保てるのかという職員視点での見直しをされるよう要望する。				
	・ 平日においては、緊急時に速やかに対応できるよう常時職員を配置するとともに、休日等の日中については、各ユニットに2名程度の職員を配置し、利用者支援に当たっている。						
4 地域に開かれ た運営につい て	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。		・ 家族や地域住民との交流の機会について （質問）地域連携推進会議において参加必須となる地域の方はどなたになるか？ （回答）区長の出席を検討している。一方、利用者の出席について、障がい特性が強く、重い方が多い中でどのように会議を運営するか等、課題を抱えています。				
	・ 利用者様がいつでも家族と面会できるよう配慮している。地域住民との交流等については、現在のところ実施できていないが、強度行動障害を有する利用者様もいることから、そのような機会の際には十分な配慮が必要と考えている。						
	・ 実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%;">実 習 生 ：</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア：</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> </table>	受け入れ人数		実 習 生 ：	0人		ボランティア：
受け入れ人数	実 習 生 ：	0人					
	ボランティア：	0人					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。</p> <p>・現在のところ、受け入れ実績はなし。</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</p> <p>・要請があった際には、情報共有のうえ出来るだけ受入対応に努めたい。（3月下旬に母親の入院に伴い、一時的な受け入れを行った。）</p>	<p>・地域で生活する障害のある方の受け入れについて</p> <p>・地元に根差した社会福祉法人として、障がい特性の重い方、いわゆる、強度行動障がい者の受け入れをしており利用者とともに事業所も成長していこうと努力されていることを大変、評価する。今後も期待する。</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れについて</p> <p>（要望）3月の一時的な受け入れは、地域生活支援拠点としての役割を果たしたと言えるので、拠点としての機能を有する事業所として登録を要望する。</p>
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>・サービス管理責任者を中心に、利用者様の生活状況などに変化があれば、その都度、情報交換を行なうとともに、定期的なモニタリングにより利用者状況の共有を図っている。</p>	<p>・八街市、大網白里市、富里市、千葉市、柏市、佐倉市、山武市、香取市と県内から幅広い受け入れをしており、各市にある相談支援事業所が引き続き担当しているとのこと。モニタリングの機会に相談支援専門員が来所するため、外部の介入が図られることとを感じる。</p> <p>また、制度改正により、事業所が作成する個別支援計画書は相談支援事業所への提出が必須となっているので、このような関わりを活かして事業所との連携に取り組むよう要望する。</p>
7 その他	<p>・令和6年10月上旬及び12月下旬、市障がい福祉課に虐待の疑い有りとの通報があり、調査の結果、令和7年3月4日付で虐待認定通知を受けた。虐待防止に向け、職員の意識改革を図るための研修実施や支援体制の見直し、職員間の連携強化など、改善計画書に基づく再発防止に向けた取り組みを一丸となっていて行っているところである。</p> <p>苦情2件、ひやりはっと155件、事故報告14件、虐待1件</p>	<p>・昨年度、利用者の食に対する聞き取りや嗜好調査の実施を要望していたが、説明の理解が難しい利用者がほとんどであることから家族への聞き取りに留まっている。</p> <p>「意思決定支援のガイドライン」にも示されている、意思決定支援の基本原則を職員全体で理解できる研修が開催されることを要望します。</p> <p>・虐待案件については、強度行動障害のある利用者が多く、支援の難しさがあるのも確か。利用者への対応において、障がい特性の要因を探る目的があったことも把握しているが、職員全体で支援の目的を理解し、共通認識のうえで対応されるよう要望する。</p>

報告・評価シート

事業所名		ソーシャルインクルーホーム八街
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な 日中の活動に ついて	<p>・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>・ 食事の提供/通院同行/買い物同行/散歩同行/ ・ 食事介助/排泄介助/入浴介助</p>	<p>・ GH内での日中サービスについて （質問）買い物同行、通院同行に別途料金は発生するか？ （回答）別途料金の発生はない。</p>
	<p>・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>外部の日中活動サービスの利用者人数： 14人</p>	<p>・ 外部の日中サービスについて （質問）外部サービスを利用する方に係る事業所との情報共有はどのようにされているのか？ （回答）連絡帳の活用や送迎時のコミュニケーションによる。また、課題があれば、電話連絡やケース会議に参加。</p>
	<p>・ 就労支援B型 9人 ・ 生活介護 5人</p>	<p>（質問）通所先は市内外か？ （回答）市内、佐倉市、富里市、芝山町の事業所。 （要望）・当該共同生活援助には併設の通所施設がなく、半数以上の利用者が外部の日中活動サービスを利用しているため、送迎の際に外部の目が入ることから、透明性の確保はされていることと考える。一方で、終日、施設内で過ごす利用者については、特段決まったプログラムが組まれているわけではなかった。利用者が希望しているということもあるかもしれないが、一日中、自室に留まることのないようプログラムを組んだり、支援内容を見直す等の必要性があると判断したため、検討を要望する。</p>
2 利用者に対する 地域生活の 支援状況につ いて	<p>・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>・ 1回/月程度の買い物同行 ・ ドライブを兼ねて公園へお散歩 ・ 毎月の誕生会/季節イベントの実施</p>	<p>・ 利用者に対して外出や余暇活動について （質問）買い物同行は集団で実施されているのか？ （回答）基本的には個別。外出先が重複する場合等は、2名～3名が一緒に買い物することもある。 （質問）金銭管理はどのように行われるのか？ （回答）施設側で建て替えて、翌月に請求。</p>
	<p>・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>6名</p>	<p>・ 体験的利用等のニーズについて</p>
	<p>・ 基本的にはご入居前に無料のトライアル体験（6泊7日まで）を行っていただき、双方同意の上でのご入居となっております。</p>	<p>・ 体験利用について、利用者の多くは体験後に入居の可否を判断すると思われるため、利用者の希望と提供できるサービスとのミスマッチを防ぐためにも、体験利用におけるアセスメントをしっかりと行うよう要望する。</p>
3 支援体制の確 保について	<p>・ 日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>・ 現在、日中/夜間/土日各フロア2名体制がほぼ確保されています。 ・ 22：00～5：00の夜間帯は1時間に1回の巡回を行っています。但し、それが頻回だと感じる方に対しては念書を記入してもらおうことで実施しない場合もあります。</p>	<p>・ 日中・土日を含めた常時の支援体制について （質問）ほぼ確保されているの「ほぼ」とは？ （回答）基本的には1階、2階のそれぞれに2名シフトを組んでいるが、勤務開始の1時間前などで急遽、夜勤職員の欠勤が生じたこともあり「ほぼ」と記載している。</p>

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価					
4 地域に開かれた運営について	<div>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。</div> <div>・現在、遠方のご家族様が多く交流などが難しいため実施しておりませんでした。 (入居者の実施機関：八街市、印西市、成田市、芝山町より各1名でその他は全て都内からの入居者)</div> <div>・今後、ご家族様・地域の皆様には地域連携推進会議をきっかけに、議事録にて開示できればと思っております。</div>	<div>・家族や地域住民との交流の機会について</div> <div>(質問) 地域連携推進会議の議事録開示のみでは、地域交流は不足すると考える。事業所としての試み、意向は？</div> <div>(回答) 現時点では思い浮かばない。</div> <div>(助言) 利用者の多くが都内や他市町村の実施機関であることから、地域連携推進会議における、利用者の家族の参加も難しい課題となるのではないかと。議事録の開示のみでは地域との交流が図れているとは言い難い。本市には、ふくしフェスタというイベントが毎年開催されていることから、利用者とともに積極的に参加し、地域交流を図ることを助言する。</div> <div>(要望) 災害時等における地域住民との円滑な連携のためにも地域との繋がりを事業所として考えるべきです。また、事業所には、地域の障害者理解という視点も持ちながら事業運営をお願いしたい。地域連携推進会議について、遠方からの利用者が多いとのことだが、当事者や家族を含め、どのように人選をするのかしっかり考えてほしい。</div>					
	<div>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</div> <table><tr><td rowspan="2">受け入れ人数</td><td>実 習 生 :</td><td>0人</td></tr><tr><td>ボランティア:</td><td>0人</td></tr></table>	受け入れ人数	実 習 生 :	0人	ボランティア:	0人	<div>・実習生やボランティアについて</div> <div>(質問) 福祉系大学や専門学校の実習生の受け入れについて意向はあるか？</div> <div>(回答) 福祉人材の育成には力を入れたいと考えており実習生の受け入れは前向きに検討しているが、ボランティアについては安全面の確保も要することから慎重です。</div>
	受け入れ人数		実 習 生 :	0人			
		ボランティア:	0人				
<div>・昨年度の自立支援協議会で委員の方より、受け入れをすることでご入居者様のご負担になるのではないかとのご意見もあり、また職員も充足しているため、実施には至っておりません。</div>							
5 短期入所の併設について	<div>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。</div> <div>・随時、短期入所の受け入れあり。</div> <div>・ご相談があった際は積極的に受け入れをしております。</div>	<div>・地域で生活する障害のある方の受け入れについて</div> <div>(質問) 見学した際、2階に未使用の居室があったが、地域生活支援拠点として登録してはどうか？</div> <div>(回答) 現在、使途について検討中であるが、会議室や談話室、資料室など模索しているところです。</div>					
	<div>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</div> <div>・対応しております。</div> <div>ご家族のレスパイトなどご利用して頂いております。ただ、自傷・他害・大声や奇声など他人への迷惑行為がある場合は、受け入れが難しいこともあります。</div>	<div>・緊急・一時的な支援等の受け入れについて</div> <div>(質問) レスパイト利用の実績は？</div> <div>(回答) 令和6年度に家族事情で3~4名の実績です。佐倉市や山武市の実施でした。本市からの利用はなし。</div>					
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況に	<div>・ご本人様の状態が変化した時</div> <div>・各関係者間で情報共有が必要と感じた時</div> <div>・月次のご挨拶（電話/訪問/来所時）</div> <div>など、連携を図るようにしています。</div>						

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の質向上：月に1度、提供ホーム研修を実施（必須） ・協力医療機関：月2回の訪問診療（個人契約）や定期受診同行 ・医療連携：月2回の訪問看護 ・訪問看護：リハビリ等（個人契約） <p>苦情1件、ひやりはっと66件、事故報告24件、虐待0件</p>	<p>（質問）事故報告はどのような内容か？</p> <p>（回答）ほとんどが誤薬でした。</p> <p>（質問）苦情はどのような内容か？</p> <p>（回答）職員体制により、入浴時間の要望に応えられなかったことです。</p> <p>（要望）・本市では、障害者の重度化や高齢化、「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制として「地域生活支援拠点」の整備（施設の登録）をすすめており、貴事業所においても登録を前向きに検討してもらうよう依頼する。</p> <p>（要望）事故報告・ひやりはっとについては、当該事業所においてのみ発生していることではないので、自立支援協議会のくらし部会においても共有して。貰いたい。</p>

報告・評価シート

事業所名	ソーシャルインクルーホーム香取阿玉川		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	日中支援型グループホームは常時介護を要する方に対して常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した生活を営むことができるよう、共同生活住居において相談、入浴、排せつ、食事の介護等の日常生活の援助を行う場所であるため、利用者が求めているものをもう一度しっかりと把握し、それに対して充実した支援ができるような体制づくりに努めてください。	
	・買い物支援（同行・代行）・入浴支援・排泄支援（直接支援の他に排便コントロール含む）・食事提供（介助含む）・服薬支援・通院介助（定期受診・突発受診・薬受け取り）・外出支援・各々のレクリエーション（塗り絵・折紙・クイズ・ランプ等）・居室清掃（掃き掃除・消毒・布団干し等）・訪問サービスの利用（医療・歯科・理容・看護・薬局）		
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について		
	外部の日中活動サービスの利用人数： 7 人		
	・生活介護、就労継続支援B型、病院デイケア		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	月1回程度は、行事や外出などの機会を提供できるよう工夫して増やしていければいいと思います。 例）休日に5人グループで半日程度、買い物等に連れて行く等	
	・買い物同行では近隣のドラッグストアなどに行きご自身で商品を見て選んだり自身でお支払いされたりと利用者様のニーズに合わせて支援を行っております。		
	・余暇活動では昨年の夏にGHから少し歩いたところより打ち上げ花火を鑑賞しました。とても好評で「初めて打ち上げ花火を観た」という方もいらっしゃる毎年恒例にしたいと考えています。		
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。		
	18名		
	オープン時より、多くの方が体験利用された後、本入居となりました。 体験で入居拒否やお断りした事例は現在のところありません。		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	人材確保と定着に努めてください。 社内のOJT研修はもちろんのこと、外部研修なども積極的に活用し、人材育成に努めてください。	
	日中、土日においても規定人員配置しております。 日勤3～4名、夜勤3～4名（人員配置体制7.5:1取得） 基本的に昼・夜4名の職員配置でシフト作成しています。		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	令和7年4月から地域連携推進会議の開催が義務となります。 会議の関係は本社で決めるとのことでしたが、地域の行事に参加したり阿玉川地区とのつながりを持ちながら地域に開かれたグループホームとなるよう努めてください。	
	GH来訪に制限は設けておらず、毎週ご家族が来訪される方もいらっしゃいます。訪問が難しい場合、お電話にて近況をご報告しております。 近隣のドラッグストアでは店員さんがご利用者に合わせ声掛けをして下さったりしております。		
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数		実 習 生： 0人 ボランティア： 0人
	現在、受け入れは出来ておりませんが 本社にて受け入れ体制を協議しております。		
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。		
	関係各所へ随時短期入所のご案内し、必要に応じて受入しております。直近では短期入所の新規受入がありました。		
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		
	緊急時の受け入れ実績はありませんが空室の場合は積極的に受け入れを行っています。また当施設での受入が出来ない場合は近隣の弊社GHをご案内させて頂くことが可能です。		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援事業所とは毎月必ず連絡を取り、報告の記録も残すようにしています。近況報告や緊急時の対応、事故発生時は必ず共有しています。日中活動先へは体調や変化、通院と服薬などの情報共有をおこなっております。	相談支援事業者や他のサービス事業所との連絡体制や内部の情報共有（利用者の予定や服薬管理等）を徹底してください。
7 その他	・職員が急に休みになった時どのように対処しているか。	令和6年度は事故報告が何件ありました。 人材確保に努めるとともに職員の協力体制を充実させ、利用者の支援に支障がないように努めてください。
	社員のシフトを変更し代理で出勤を依頼、長期的な離脱が予想される場合は近隣の弊社GHより応援を要請、担当マネージャーが出勤したりとフォローが可能です。	
	・事故があった時どのように対処しているか。	
	事故発生時は社内事故報告と行政事故報告(援護地・県庁)を行い、現場では事故報告【第1報(発生時)、第2報(関係先への連絡)、第3報(振り返り)】を行うよう指導、必要に応じて担当者会議を開催し他支援者の意見を確認し共通認識のもと、対応方法の構築を行います。救急要請時は職員の同行→家族連絡、入院手続き等の実施をしております。	

報告・評価シート

事業所名	グループホームイノベル東金							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 3月には、お弁当を持ってお花見に行きました。日曜日には、支援員が同行で散歩にでかけます。支援員が同行して買い物にいきます。車で、ドライブにでかけます。	障害支援区分が重度の利用者が多く中で、個々のニーズや能力に合わせ、利用者が楽しく過ごせるよう支援を工夫しており、積極的な外出行事や外出同行の支援がなされている様子が窺え、評価できる。 外出は利用者にとって生活の質の向上に欠かせないことであるため、事業継承しているが、季節ごとの外出等を通じて、引き続き、継続的した利用者への支援を期待します。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 12 人							
	一般就労、就労B型事業所、生活介護事業所、デイサービス							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 支援員が同行し、洋品店やスーパーなど必要に応じて外出します。施設内では、イベントに向けて創作活動を行います。パズル、トランプ、塗り絵をしています。	外出支援を行うこととともに、イベントに向け、利用者が主体となって準備する創作活動など、利用者の生活の質の向上に配慮された取組であると評価する。 ただし、事業継承をして間もないこともあるため、グループホーム内での支援や近くでの外出支援となっているが、今後は季節ごとのイベントなどを取り入れ、支援員との関わりだけでなく、地域や外部の方との交流の場の提供を行うなど利用者の余暇活動の支援に努めてください。 今後、体験的利用のニーズに対応できるよう体制を整え、積極的な受け入れがなされることを望みます。						
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 体験利用人数 0 人							
	入所希望の方の大半が利用を希望することから、ご希望があった場合は、施設の受け入れについて検討・調整を図ります。							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中（土日含む）1ユニット1～2名 夜勤1ユニット1名体制	常時の支援体制がとられていると評価する。引き続き、24時間体制で支援するために必要な職員数の確保や非常事態を想定した訓練を定期的実施するなど適正な支援体制の整備を望みます。 特に、夜勤対応にあつては、非常事態発生時の対応につき、日頃より留意されたい。						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 利用者様の様子を定期的にご家族様にご連絡を入れています。週末に、ご家族が施設に来てくれます。散歩の際に近所の方々が挨拶をしてくれたりしてます。	家族の面会や散歩時に近隣住民との交流があるなど地域に開かれた運営ができていると評価できる。 今後は、事業継承前から検討事項となっていた実習生やボランティアの受け入れの実施や、地域住民との交流について、積極的に取り組まれるよう検討されたい。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。							
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%;">実 習 生：</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">0 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア：</td> <td style="text-align: right;">0 人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	0 人		ボランティア：	0 人
	受け入れ人数		実 習 生：	0 人				
	ボランティア：	0 人						
今後、実習生やボランティアの受け入れを検討していきたい。								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 37名	37名の利用者がいることでほぼ毎日2名利用していることで、積極的な受け入れができていることは、地域にとって大きな資源となっており、評価できる。 また、事例はなくとも、緊急・一時的な支援等の受け入れに対応可能な体制は確保していると思われる。緊急的な受け入れについて、引き続き体制を整え、積極的に対応されるよう期待する。災害時には要援護者の受け入れについても積極的に協力願いたい。						
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 まだ事例はありませんが、アナウンスは随時しています。積極的に受け入れていきたいと思います。							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	自立支援協議会、居住支援部会等に参加させて頂いています。生活介護事業所やB型就労作業所には、見学に伺っています。	自立支援協議会にも参加しているので関係機関と連携が図れており、事業所間との連携に努めていると評価できる。 引き続き、事業所間において利用者の日常生活状況の情報共有を図るとともに、地域の研修会や部会参加等を通じ、地域の情勢や課題の把握に努めていただきたい。						
7 その他	株式会社恵の運営する障害者グループホーム等を令和7年3月1日から承継しており、利用者様には継続した支援を行っております。	事業承継した経緯も踏まえ、利用者の生活環境と支援者支援体制を守っていただき、法令順守の上、利用者及び利用者家族に安心していただける適切な運営に期するようお願いしたい。						

報告・評価シート

事業所名	クロワール		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 (日常生活関連)身の周り全般の支援及び介護、食事提供、清掃、洗濯、受診同伴、金銭管理、服薬管理、健康観察等を提供。 (活動関連)全体朝礼(利用者ミーティング)、運動プログラム、買い物同行、買い物代行等。	高齢で障害区分の重度利用者が多い中、個々の状況や能力に合わせた支援を行い、充実したサービスを提供していると思います。 利用者の日常生活に必要な支援が包括的に提供されており、安心して生活ができる体制が整っています。また、利用者ミーティングを行なうことで、入居者同士のコミュニティが形成できる環境があり、とても良い取り組みだと思います。引き続き、利用者が自分らしく安心して生活できる活動を継続して頂きたいと思います。 特に問題なし。利用者の活動性が低下しないように支援を心掛けて下さい。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について		
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 9 人		
	生活介護、就労継続支援B型、介護保険における通所介護		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 季節行事として、納涼祭、みんなのまつり、クリスマスを他事業所と合同で開催し、家族や地域の関係者を招いている。 余暇活動支援として、日帰り旅行(銚子)、事業所内喫茶、お茶会、映画鑑賞会、カラオケ、創作活動、誕生会、エンジョイショッピング、ソフトバレー等を実施した。	季節に応じた行事や日帰り旅行等の活動支援の様々な地域生活支援に努めていると思います。 今後も利用者の安全等に留意しつつ、引き続き積極的な交流を図っていただければと思います。 法人行事をはじめ、様々なイベントや外出・旅行等を企画、参画されるなど、充実した余暇活動を適切に支援され、利用者の生活の質の向上が図れているようです。本利用の前に、併設の短期入所を活用した体験的利用が出来る体制が整っており、利用者が自己選択をすることが出来る。 地域資源を活用しつつ利用者の余暇活動が行えていると思います。継続してほしいです。	
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。		
	利用者の変動がなく体験利用者はいなかった。利用希望者については、体験利用の代わりに併設の短期入所を利用していたらいい。		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 24時間体制で職員を配置。定時巡回、所在確認、夜間の介助、急変時の救急要請等に対応している。	24時間体制で支援するために必要な職員数を確保し、適切な支援体制が整えられていると思います。 職員が24時間配置され、定期巡回や夜間介助も対応されており、十分な支援体制が構築出来ている。また、救急要請等も対応できており、利用者が安心して生活できる環境が整っている。 問題なし	
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・納涼祭(8月)、みんなのまつり(10月)はコロナ禍以降、家族や関係者に限定して招待している。 ・県が開催したバラスポーツ大会、及び大網白里市合同避難訓練に参加した。 ・家族会(カトレア会)が定例で総会・勉強会・懇親会を開催。	家族や地域住民との交流機会が確保されており評価できます。実習生やボランティアも積極的に受け入れしており評価できます。 法人行事に地域の方々をお招きしたり、地域の避難訓練に参加する等、地域との繋がりが出来ている。家族会もあり、定期的な交流が図られている。大学生の実習生やボランティアを多数受け入れられ、地域に開かれた事業所体制が構築されている。 学生のボランティアや実習生受け入れ等、積極的な取り組みが行われていると思います。今後も引き続きお願いします。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数		実 習 生： 35 人 ボランティア： 10 人
	城西国際大学、国際医療福祉大学他より実習生を35名、法人行事のみんなのまつりでは10名のボランティアを受け入れた。		
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 受け入れている	令和6年4月から始まった地域生活支援拠点として登録し、積極的に緊急対応をしていただいたことは評価できます。 山武圏域における、地域生活支援拠点として対応されており、緊急時の受け入れ実績が評価できる。今後も、山武圏域での重要な資源として期待したい。 問題なし	
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 地域生活支援拠点として登録。相談支援事業所、市町、基幹相談支援センターからの緊急の要請に対応し、4件短期入所を受け入れた。		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	8名が法人内の日中活動を利用しており、主に健康面や精神状態等について、密に連携を取っている。 法人外の生活介護や介護保険の通所介護を利用している方についても、同様に情報共有を行っている。	利用者の状況に合わせた対応をしており、他事業所との情報共有も図れており評価できます。 サービス事業所との情報共有が成されており、利用者の状態に応じて適切な支援が提供されている。 継続した情報の共有をお願いします。	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 その他	<p>利用者の入退所はなく、高齢化に伴い（平均年齢67.9歳）身体機能の低下は顕著である。毎日のバイタル測定に加え看護師面談等、健康管理に努めた。また介護の必要も年を追うごとに増えているため、看護師や介護専門職員による事業所内研修を実施し介護スキルの向上にも努めた。</p>	<p>利用者の重度化・高齢化に対応したサービスが提供されており、適切な支援が行われていると思います。今後もきめ細やかな支援を期待します。</p> <p>入居者の高齢化により、介護技術の向上に向けた事業所内研修を行なう等、サービスの質の向上に向けた体制が整えられている。今後も日々、状況の変わる利用者の変化に目を見張りつつ利用者支援を心掛けて下さい。</p>

報告・評価シート

事業所名	アミーゴプラス							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 食事提供・掃除・洗濯などの身の回りの生活援助 車椅子移乗や食事・入浴・排泄介助などの介護支援 体調管理・パルーンカテーテルの管理・自宅酸素療法の管理・服薬管理・排便コントロールなどの医療的ケア 金銭管理・買い物支援・通院支援	・利用者の生活に寄り添った支援を提供できています。 ・看護師の配置により、充実した医療的ケアが行われていることを評価します。 ・同性介助については、ハラスメント対策の観点からも体制確保に努めていただきたい。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について							
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 6 人							
	主な通所先：就労継続支援B型・生活介護							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 病院の付き添い・買い物支援・散歩・ドライブ ホーム内にてカラオケ・テーブル卓球・折り紙工作・将棋・オセロ等余暇活動 誕生日会やクリスマス会などのイベント	・外出や余暇活動の支援については、本人の意思に寄り添い充実した支援ができています。 ・個々のニーズを的確に把握した受入れ体制が整っています。						
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。							
	これまでの体験利用者の人数： 16人							
	体験前に入念に聞き取りを行い、必要な支援を行えるよう準備をしてから体験利用の受け入れをしています。							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 日中・夜間・土日の全ての時間帯において各利用者へバランス良く支援が行えるよう、世話人・生活支援員・看護職員を適切な時間帯に配置しています。	・すべての時間帯において、的確な支援が行えるよう充実した支援体制が確保されています。						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 家族やご友人との面会は自由に行っていただいています。 毎週水曜日に移動スーパーに来てもらい地域の方と交流できる場を設けました。また、定期的に利用者と共に地域のゴミ拾いを行っており、その際や散歩の時などに地域の方々へ挨拶を心がけています。	・自由な面会や地域のごみ拾いなどにより、開かれた交流の機会が確保されています。 ・移動スーパーにより、地域との交流へつなぐ取り組みを積極的に行っていることを評価します。 ・お仕事説明会の開催を積極的に行うことにより、実習生やボランティアの受け入れにつなげていただきたい。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%;">実 習 生 :</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">0 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア:</td> <td style="text-align: right;">0 人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生 :	0 人		ボランティア:	0 人
	受け入れ人数		実 習 生 :	0 人				
	ボランティア:	0 人						
実習生やボランティアの受け入れはまだ実現できていないが定期的にお仕事説明会を開催し、お仕事内容を動画で見ていただき障害福祉に興味を持っていただけるよう努めています。								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 相談支援員から地域でお困りの方がいないか聞き取りをし、積極的に受け入れを行っています。	・他のグループホームで適応困難な方を積極的に受け入れていることを評価します。 ・引続き、緊急等の受け入れができる体制を整えていただきたい。						
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。							
	現在まで短期入所での緊急受け入れはないが、共同生活援助での緊急受け入れは実施しています。短期入所でも緊急受け入れができるように体制は整えています。緊急でないが家族の心身休息の為に児童の一時的な短期入所を利用されるケースも受け入れています。							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	毎月利用者状況報告書を担当相談員へ提出し、情報共有を図っています。またトラブルが起こった際も連絡を取り合い改善に努めています。相談員のモニタリング時の同席。短期利用希望者・見学者の依頼対応。	計画相談員との情報共有や行政との連携を積極的に行っていることを評価します。						
7 その他								

報告・評価シート

事業所名	グループホームイノベル桜井新町						
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価					
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 （日中をGH内で過ごす利用者に対してどのような支援・サービスを提供しているのかについて） ・食事・入浴・排せつ介助等日常生活に関する支援の提供、日中活動の提供 ・（室内）ぬり絵、毎月のカレンダー等掲示物作成、行事用の装飾の作成 ・（外出）散歩、買い物 外部の日中活動サービスの利用者人数：15人（うち12人が法人外）	・グループホーム内は清潔が保たれ、静かな環境の中で過ごしている印象であった。 ・コロナ等流行り病の発生予防のために清潔を保つよう努力されていました。 ・主な外部の日中活動(生活介護等)事業所も、活動やりハビリなど5か所ほどと連携していて利用者さんに合わせてサービス利用できる印象を受けた。 ・本人の希望に合わせて外部サービスの利用も設けられていて良いと思った。					
	（主な外部の日中活動サービスの種類について）						
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 （GH内で過ごす利用者が充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例について） ・買い物支援、外部受診付添い対応、昼食外出支援 ・定期的な行事の企画（誕生日会、ハロウィンパーティ、カラオケ大会、クリスマス会など）	・今年から、お隣の会社や近隣の店と防災訓練を行うということで、地域で暮らす大切なことで評価できる。 ・季節の移り変わりを感じられる部屋作り、イベントなどのスケジュールも考慮に入れられていると伺えた。 ・買い物支援、通院送迎、散歩支援、車での外出支援もされている。					
	（これまでの体験利用者の人数）						
	1人						
	（体験利用の事例について） ・退院後の生活の場を探している等						
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか ・現在は1階（A棟）1ユニットのみご利用者様が入居されています。日中は1ユニット2名～3名の体制を確保し、夜間は1ユニット夜勤1名体制を確保しています。9：00～15：00までの時間帯を手厚く体制を整えて、入浴介助、見守り、レクリエーションなど職員の役割を決めて支援を行うよう努めております。	男性職員が他のホームに比べると多く、桜井新町から君津や幸町へ通院同行等の応援を出しているということなので、エリアでの協力が出来ていると思う。					
	（虐待防止や支援技術向上に向けた研修を行っているか）						
	虐待防止 感染対策 身体拘束 BCP 研修を行っている。						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご利用者様のお散歩の支援時に近隣の方々に挨拶を行い、ご利用者様が近隣の方々等地域の方たちとふれあいながら暮らしていただけるよう努めています。 ご家族様との交流について、利用者様の生活状況等について電話にて定期的にご報告を行っています。	・隣にある民間の会社と防災訓練を予定しているので地域とのつながりが出来ていると評価できます。					
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 30%; text-align: center;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%;">実 習 生：</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">0人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア：</td> <td style="text-align: center;">0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	0人	ボランティア：	0人
	受け入れ人数			実 習 生：	0人		
			ボランティア：	0人			
（受け入れの事例を記入）							
・今後、検討していきたいです。							
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	・短期入所枠は確保されているが、普通のベッドでの対応となり身体介護を要する方は利用が難しいと思われる。 ・地元の障がい者ももう少し受入れて欲しいと思う。 ・相談があった際に、その方の疾患や特性に合わせて同一法人内で入居の調整を行っている。職員の負担を考えると評価できることかと思う。 ・短期入所は常に1室空けて対応できるようにしているのは評価出来る。					
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。						
	（緊急・一時的な支援等の受け入れ事例について）						

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 相談支援事業者や 他のサービス事業所と の連携状況について	<p>(具体的な連携状況の事例について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に相談員にご連絡し、利用者様の近況報告を行っています。課題がある場合などは多職種で連携を図れるようWeb会議等も用いて課題解決に努めております。 	<p>利用者様の近況や課題の共有、各種研修や会議などもwebを利用し工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に本社とWeb会議や研修、近くのサービス事業者との連携を図っていると思う。
7 その他		

報告・評価シート

事業所名	グループホームイノベル木更津貝測		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 食事提供、入浴介助、トイレ介助、移乗介助、洗濯支援、通院同行、レクリエーション、相談	GH内はとても綺麗で、トイレや入浴の設備も充実していた。ホーム内には、日中活動に行かずに過ごしている利用者もいたが、それぞれのペースで過ごせる配慮が出来ていた。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について		
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 12人		
	(生活支援、リハビリ、B型就労)		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 (季節ごとのイベントによるレクリエーション、ドライブや散歩)	食事は株式会社恵が運営をしていた時と同じ業者が入っている。提供される食事は和食が多いため、レクリエーションの中でパンやカップラーメンを食べられる日を設けており、利用者の楽しみの一つになっていることは評価できる。 新規の受付を開始されて、必要な利用者に対して体験利用の機会を設けられるようになったことは良かった。一方で、受け入れるための職員体制も確保し続けるようお願いしたい。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。		
	(30人)		
	(入居前にグループホームの生活に慣れるために体験利用していただいている)		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。 (常時、1F・2Fには支援員が各1名以上勤務、土日については各2名以上が勤務している)	各入居者の食事形態や水筒の洗い方等、一人ひとりの特性に合わせた対応について、職員が見える場所に掲示されていた。日中は2～4名の女性利用者がホームで過ごすとのことなので、常時の支援体制は継続するようお願いしたい。 本部主体の研修が月に1回あり、現場での研修が随時行われていて、参加が出来ない職員に対しては記録を見れる体制を整えているとのことだが、今後研修の内容もどんどん充実させて欲しい。	
	・職員研修を実施しているか		
	(虐待防止委員会等の研修を毎月行っている)		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 (年に数回の自治会によるごみ拾いに参加。施設周りの草取りを実施)	今後も引き続き自治会活動等周辺住民との交流を確保していただきたい。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数		実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人
	(実習生、ボランティアについては受け入れ可能だが、今のところなし)		
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 (可能な限り受け入れている)	今後も継続して、地域の障がいのある方を受け入れていただきたい。	
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		
	(他事業所から強制的に退居させられた方の受け入れ、家族の急病時等の受け入れ)		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	(利用者の健康状態を把握するため、他事業所、相談支援員、医師等と情報を共有している)	今後も継続して、利用者が関わる他事業所や相談支援事業所、医療機関と情報共有を務めていただきたい。	
7 その他	(特になし)		

報告・評価シート

事業所名	オーシャンテラス							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 平日の日中は生活介護事業所に通所するが、通所せずにGHで過ごすことを希望する利用者や、体調不良等で外出の出来ない利用者に対しては、GH内で介護支援を実施して、生活の質の向上を図っている。また、休日には、敷地内でバーベキューや焼き芋、調理実習やドライブなど、利用者が楽しめるサービスを提供している。	人が住んでいる生活の匂いが全くしない事が気になりました。清潔が保たれているといえそうなのかも知れませんが。不自然さを感じました。ホーム内や居室内等にももう少し利用者の嗜好や個性が出せると良いかと思います。 建物内の間取りがシンプルであるため、利用者にとっては、分かりやすく良いかと思います。 施設長が利用者に声を掛けていたり、話しかけられる様子を拝見し、管理職の方も利用者としっかり関わっているという印象を受けました。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 18人							
	生活介護事業所では、ドライブ、遠足、クリスマス会・夏祭り・運動会などの行事、映画鑑賞、リズム体操等の運動、海岸通りの散歩散策、パズルやゲーム、野菜や草花の栽培、袖ヶ浦事業所との合同イベントに参加など、利用者の希望も取り入れながら幅広くサービスを実施している。また、集団での活動が苦手な利用者のために、小区画の生活介護施設についても現在検討中である。							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 車でのドライブや公園内の散歩散策、スーパーマーケットやコンビニ店での買い物支援など、人との触れ合いを大切にした支援を心掛けている。また、地区自治会に加入して、地域の防災訓練や清掃活動に参加したり、地域の行事等に積極的に参加している。	今後も地域住民との関わりを大切にしていきたいと思います。 食事について、グループホームではタイヘイ株式会社、生活介護では日清医療食品等と業者を分けることで入居者が飽きないように工夫されていると思いました。						
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 体験利用を積極的に受け入れている。 木更津事業所の全体で、2024.8.1～2025.6.30まで117人を受け入れて、うち29人が本入居となっている。							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 国・県の定める基準に従い職員を配置しており、常時支援体制を確保している。	昨年度の評価で職員のメンタルケアについて触れていましたが、管理職との面談を定期的に行い、職場内の環境を整えていると伺えました。今後も継続して欲しいです。 全体の職員数が100人以上、新人も10人以上いる中、教育が大変重要と思います。教育の中身も詳しく伺いできたらと思います。						
	・職員研修を実施しているか 年間を通して、虐待防止研修、強度行動障害支援者養成研修、自閉症・ダウン症基礎研修、個別支援計画作成研修、感染症研修、AED救命研修、ハラスメント防止研修などを実施。							
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 当法人の企画するお祭りやクリスマス会、バーベキューなどで、利用者のご家族との交流の場を提供している。また、地区自治会に加入し、お祭りや清掃活動、地域主催の津波避難訓練など、地域の行事等に積極的に参加するようにしている。	今後も家族や地域との交流は積極的に続けていきたいと思っています。入居されてる方の年代も持病も様々だと思います。地域の訪問看護の利用なども検討していただけると良いかと思います。 入居者の希望や特性に応じて、外部の日中活動（B型や生活介護等）の利用が出来ると思います。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td><td>実 習 生：</td><td style="text-align: right;">0人</td></tr> <tr> <td></td><td>ボランティア：</td><td style="text-align: right;">0人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人
	受け入れ人数		実 習 生：	0人				
	ボランティア：	0人						
大学生の実習生等、受け入れ対応はしているが、希望者が少ないのが現状である。								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 2024年9月から定期的に施設見学会も実施しており、現状では他市町村の利用者が多いが、近隣からの希望があれば受け入れについては積極的に対応している。	昨年度新規受け入れ実績が45名ということで、必要なニーズに対して応えている姿勢は感じましたが、もう少し地域の方を積極的に受け入れて欲しいと思いました。 2024年9月から定期的に施設見学会を実施しているとのことだが、君津圏域で案内は来ているか疑問に思いました。東京都や神奈川県等を対象にしているのかと思いました。						
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 入所については体験を優先しているが、要望により短期入所も一時的に受け入れている。また、緊急時の受け入れについては、木更津市と2025年6月に「災害時における福祉避難所の開設及び運営に関する協定」を締結し、協力体制を構築している。							

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	県内のみならず関東近県の相談支援事業者等と連携を取りながら、入所希望者を募っている。また、近隣の相談支援事業所に、当法人の利用者の計画相談や利用計画の作成を依頼している。	利用者の6割が県外援護者、就職説明会も東京で実施するなど、木更津にある施設という感じが薄く感じました。
7 その他		ベッドやリネンがレンタルである事に驚きました。衛生面は良いと思いますが、自分が普段使っている寝具を使える方が安心するのではないのでしょうか。

報告・評価シート

事業所名	万石の家		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 利用者それぞれに合わせた個別課題・合同作業・ドライブ・施設庭園での運動やBBQ等とニーズに併せて訪問リハビリを依頼し、買物・整容整髪・入浴・通院・往診の支援、手作りの食事やおやつ提供等		・重度の方が多く利用されており、個々に合わせた日中活動を穏やかに過ごされている様子であった。特に、食事に関してはコストを抑えつつも『美味しく、暖かい食事』と言った印象で、料理のいい匂いも家庭的に感じる。 ・庭での野菜作り、それを使ったBBQ等季節を感じられると共に手作りの家庭的な雰囲気を利用者・職員で共有できることは良いと思った。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 0 人		
	日中サービス支援型のため外部の日中活動サービスの利用は無い。		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 通院や買い物の同行と畑作業やドライブや近隣の散歩、外食の中で人とのふれあいや物品の選択等と様々な感覚に触れていただき、日々の活動の中での何かしらの活力となるよう思慮を重ねている。		・20人規模の日中支援型GHで住宅街にありながら、地域の方々との交流もあり地域に馴染んでいる印象があった。 ・入居希望者に対して、本人のペースに合わせて無理のないように見学・体験をすすめているので利用者・職員お互いに理解した上で新生活を迎えられることは評価できると思った。
	・体験の利用等のニーズに対応しているか。 （これまでの体験利用者の人数）28人		
	（体験利用の事例について）体験前のGH見学⇒昼食時間帯の体験⇒1泊以上の体験（日数を増やし回数）⇒本入居		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか （情事の支援体制確保状況の事例について） 国や県の定める基準に従い職員配置を行っており、24時間体制の支援を確保している。また、外国人（スリランカ）労働者を採用しており、手厚い人員配置の支援体制。		・職員の半数近くを特定技能実習生(スリランカ)にて確保し、昨年よりも職員が多く手厚い印象。ただ、直接処遇職員全員が女性であるとのことで、驚きと大変な面もあるのではと感じた。 ・昨年度と比べると職員配置が手厚くなって、個々の職員の負担軽減に繋がっていると感じられた。一方で技能実習生を多く受入れていることもあり、実習生へのフォローの時間など苦労もあるかと思う。
	・職員研修を実施しているか （虐待防止や支援技術向上に向けた研修を行っているか） リモートやマニュアルを基に社内でも研修実施		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 家族の面会や外出・外泊に加えてGHでのBBQにご家族などの参加、近隣住民に多目的ホールを開放し、イベントの実施とお茶会等にご利用いただいている。		・近隣住民への多目的ホール等を開放し、利用してもらい交流することで地域との垣根を感じない、住宅街にありながら自然な印象が持てた。 ・多目的ホールの開放は、地域住民とつながりや理解にも繋がっていると思われる。今後も継続して欲しい。 ・近隣住民から理解のある事業所であると思った。
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数	実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	
	受入れ体制は整っている。業務見学者は在り。		
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 お問合せいただいた際に、施設見学のご案内等を実施。		・今後も積極的に受入れの相談にのっていただきたい。
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		
	障がい福祉課・相談支援員・ケアマネージャーからの依頼から緊急時対応を実施している。		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	利用者のニーズに必要かつ向上を図れるよう定期的な連絡と状況変化の連絡をはじめ様々な分野で連携を取っている。		・外部の日中活動サービスを利用しないと届を出しているということだが、入居者の希望や特性から外部（B型等）の利用も検討してみるのも良いかと思う。
7 その他	なし		・トイレ介助の際、扉を閉めないままでの対応が見られ残念であった。 ・出来上がった食事の保管が、常温で新聞紙を被せるのみだったため、衛生管理的な問題が気になった。 ・棟が男女混合であるので、心配な面もある。

報告・評価シート

事業所名	Ka-Fu		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容		【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ・買い物、通院同行 ・アクティビティ（散歩や誕生日、季節ごとのイベント） ・ホーム内で折り紙や塗り絵、小物作りを行い、ホーム内に作品を展示 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に配慮した部屋割りとなっており、安心して過ごせる工夫が感じられる。 ・毎日入浴ができるよう、吊り上げリフト浴を各階に導入するなど、入居者のためにできることを行っている。 ・活動内容は利用者の希望を聞きながら決められており、なるべく多くの方が参加できるよう考えられている。 ・作品が多数展示され、ホームの明るさの象徴のようであった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 		
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 11人		
	就労継続支援B型、生活介護		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な支援は大変だと思うが、運動不足予防のために今後も継続していただきたい。 ・今ある資源（場所や車両）でなんとか工夫して様々な余暇活動を行おうとする姿勢が感じられる。
	ホームでの運動不足を防ぐために定期的な体操（ロコモコ体操）や公園までの散歩、バトミントン等を行い支援に努めている。また、余暇活動の一環で打ち上げ花火を鑑賞するなどの支援を行っている。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的利用等のニーズに対応しているか。 		
	体験利用人数 22名		
3 支援体制の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 		<ul style="list-style-type: none"> ・同一法人の介護包括型グループホームと協力し合い、人員体制を整えている。支援員が規定通り勤務していることは、利用者の安心安全に繋がるため、継続してほしい。
	体調不良により日中活動を休んだ場合や、土日祝日で活動がお休みの場合でも常時職員配置を行っている。		
4 地域に開かれた運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・入口ドアは開放されていて、来客や見学者をいつでも受け入れられる環境ができています。 ・家族や近隣住民も参加できるイベントを計画しており、地域との交流に繋がる取り組みを心がけている。
	家族：日常の様子や書類関係での内容を連絡したり、見学会の問い合わせに関しては随時対応している。 地域交流：自治会への挨拶や大量に収穫した野菜を近隣の方に配布するなど交流を心がけている。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 		
	受け入れ人数	実 習 生： 0人 ボランティア： 2人	
	知人からの依頼でボランティア2名を受け入れている。今後は実習生も受け入れていくために、実習指導の研修を受けた。		
5 短期入所の併設について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所枠はほとんど空きがないほど利用希望者が多いとのこと。宿泊が難しい方でもできる限り受け入れを行っており、積極的に対応されている。 ・介護包括型グループホームでは支援が難しい方の受け入れをする一方で、日中支援型でなくても問題がないと思われる方を介護包括型へ移行させるなど、それぞれの利用者に応じた対応をしている。
	地域で生活困難な方を随時受け入れ対応している。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	緊急時や一時的な支援を随時受け入れ対応している。		<ul style="list-style-type: none"> ・密に連絡を取り合うことで、それぞれの状況に合ったサービスの提供に繋がるので引き続き連携をお願いしたい。
	生活状況や日中活動の出来事を共有したりと密に連絡を取り合って利用者様一人ひとりの支援を行っている。		
7 その他			

報告・評価シート

事業所名	グループホームイノベル君津外箕輪		
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	・強度行動障害の方が4名入居されているとのこと。職員の負担も大きいと思われるが、個々に合わせた支援をされている。	
	塗り絵、ドライブ、買い物、行事の創作活動。月1回の外食やカラオケ等。		
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について		
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 5人		
	就労継続支援B型、生活介護		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	・一人一人の利用者に対し、希望を聞いてドライブや外食へ行くなどの寄り添った対応をしている。 ・家族の高齢化や在宅支援の難しさなどから体験利用のニーズも増えていると思われる。柔軟に対応していただけるとありがたい。	
	上記と同様。		
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。		
	対応している。		
	（令和6年度は受け入れを中止していたため利用者なし）		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	・直近2年間の職員定着率は高く、結束力が強い様子がうかがえた。 ・利用者の安心安全のため、引き続き人員体制の確保に努めてほしい。	
	人員は足りており支援体制確保されている。		
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	・現状は、あまり開かれた運営とは言えない印象。地域住民との交流は、災害時等に協力を得ることにも繋がり大切である。一部の方だけでも自治会活動に参加したり、清掃活動をしたり、または敷地内の空いている建物で交流会を開催する等、ぜひ他事業所の例も参考にしながら取り組んでほしい。 ・君津市社会福祉協議会にあるボランティアセンターを活用されてみてはどうか。	
	ご家族へ定期的に連絡を取っている。		
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数		実 習 生： 0人 ボランティア： 0人
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	・定期利用されている方が多いとのことで、家族のレスパイトや外泊練習において重要な役割を果たしていると思われる。引き続き対応をお願いしたい。	
	受け入れ実施している。		
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		
	受け入れ実施している。		
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	電話で近況を報告している。	・支援が難しい方の入居について、相談支援事業所から相談を受けることが多いと伺った。 ・日中活動先の事業所などとも連携をとり、個々の支援へ繋げていくことは継続してほしい。	
7 その他		・家族と連絡を取った際の記録を残していないと伺った。そのこと以外にも通ずるが、書類関係の整備をしておくこと業務改善や家族との信頼関係を深めることに繋がると思うので、ぜひ取り組んでほしい。	

報告・評価シート

事業所名	AMANEKU袖ヶ浦横田	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 身体障がいの方に対して、歩行訓練の支援・見守りなどを行ったり、昼食の提供、食事や入浴の介助、排せつの介助等も行っております。 行政やその他必要な手続きの支援なども行っております。	利用者のうち8名が、外部の日中活動サービスを利用しています。利用者が希望する日中活動ができていくか定期的な確認を行ったうえで、サービスの見直しが必要な場合には、適切な日中活動サービスが提供できるよう適切な対応を期待します。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 8人 (主な外部の日中活動サービスの種類について) 生活介護、就労継続支援等	
	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 散歩・パズル遊び・買い物同行等の日常の日中サービスや、DVD鑑賞や外食レクリエーションなどの月一のイベント行事を行っております。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数) 32人 弊社では、食費や光熱費などもかからない2泊3日の無料体験を行っております。とても好評をいただいております、たくさん体験のお申込みを頂いております。実際に本入居に繋がったケースも何件かあります。	
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 当社のグループホームでは、各フロア常時2名体制が取れるよう、人員配置を行っております。日中、他の日中活動サービスをご利用されない利用者様にも支援ができるよう、24時間どの時間でも各フロア2名体制で支援を行っております。土日・祝日なども同様の体制を確保しております。	定期的な外出や行事によって、余暇の充実に努めている様子が見えます。また、体験利用の受入を無料にて実施し、積極的に受け入れている様子が見え、地域移行の観点からも重要な取組だと考えます。 引き続き適正な運営をお願いします。
	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご家族様がいらっしゃった場合には、面談の機会を定期的に設け、ご利用者様の状況や変化を共有しております。 地域の方との交流に関しては、先日地域のお祭りで事業所の目の前にある駅に山車が来ていたため、ご利用者様複数で見に行きました。 今後も地域のイベントなどには積極的に参加していきたいと考えております。	地域のお祭りの見学など、地域との交流を試みている様子が見えます。 今後は、家族会の実施や、すでに地域で開催されているイベントへ参加する等により、家族や地域とのつながりを深めることが望めます。 また、社会的役割や人材育成への貢献のためにも、実習生やボランティアの受け入れを積極的に行われることを期待します。
3 支援体制の確保について	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 受け入れ人数 実 習 生： 0人 ボランティア： 0人 今後、ボランティアの受け入れを検討しております。	地域へのニーズにも対応しており地域の障がい福祉資源としての重要な役割を担っていることが伺えます。 また、緊急対応は利用者やその家族の安心につながりますので、積極的な対応を期待します。
	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 令和7年7月31日時点で127件の受け入れを行っており、利用が終わった後でも継続的に短期入所をご利用いただく方もいます。	
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 依頼があれば、積極的に受け入れをしていくことを検討していきます。	
	・相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について 通所先である、生活介護事業所や就労継続支援B型事業所等と連携を取っており、ほかにも相談員さんと情報共有を行い、密に連携を図っております。	
7 その他		

報告・評価シート

事業所名	大久保学園代宿第二グループホーム							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>利用者全員が外部の日中活動サービスを利用していることで、利用者が希望する日中活動に参加できている点が評価できます。地域の事業所と連携し、社会参加の機会を確保できていると言えます。</p> <p>体調不良時のみ日中サービスを提供しているとのことですが、利用者の状態変化等により、サービスの見直しが必要な場合には、適切な日中活動サービスが今後も柔軟に提供できるよう適切な対応を期待します。</p>						
	・基本的には全員が日中サービス支援事業所を利用している。平日は体調不良時の対応のみ。							
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について							
	外部の日中活動サービスの利用者人数： 人							
	・同一法人運営の生活介護事業所への通所 6名 ・同一法人運営の就労継続支援B型事業所への通所 1名 ・他法人運営の就労継続支援B型事業所への通所 2名							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>定期的な外出や行事によって、余暇の充実に努めている様子が見えがえします。</p> <p>引き続き適正な運営をお願いします。</p>						
	・月1回程度の外食や買い物外出の実施。 ・年1回一泊旅行または日帰り旅行の実施。 ・季節の行事(暑気払い、忘年会、クリスマス会等)の実施							
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。							
	・体験利用の実績はなし							
	・将来的な利用を希望している方については短期入所を利用されている。							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか ・日中、土日共に基準職員を配置し、生活面や余暇の支援に当たっている。	適切な支援体制が確保されていると思われます。						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<p>家族会の実施や、すでに地域で開催されているイベントへの参加により、家族や地域とのつながりを重視していることがうかがえます。</p> <p>また、実習生等の受入も行われており、社会的役割や人材育成への貢献がうかがえます。今後も継続して取り組んでいただくことを期待します。</p>						
	・家族会の実施（年3回）							
	・毎週公民館で開催される100才いきいき体操に参加。							
	・地域の行事（夏祭り、神社の祭礼、交流会等）に参加。							
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">実 習 生：</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">ボランティア：</td> <td style="text-align: center;">1人</td> </tr> </table>	受け入れ人数	実 習 生：	2人		ボランティア：	1人	
受け入れ人数	実 習 生：	2人						
	ボランティア：	1人						
	・千葉敬愛大学短期大学部実習生2名の受け入れ ・洗い物や掃除、支援補助のボランティアの受け入れ							
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	<p>昨年度と比較し、地域のニーズにも対応しており地域の障がい福祉資源としての重要な役割を担っていることが伺えます。</p> <p>また、緊急対応は利用者やその家族の安心につながります。引き続き継続して取り組んでいただくことを期待します。</p>						
	・日中活動に通所されている方が中心であったが、今年度は地域のニーズに対応して、当事業所を利用していない方の受け入れを開始している。							
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 ・保護者の病気や、冠婚葬祭などの行事の際に緊急的、一時的な受け入れを行っている。							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・袖ヶ浦市施設連絡協議会やネットワーク袖ヶ浦などを通じて情報交換、連携を図っている。 ・地域の重症心身障がい児施設と連携して、災害時に向けた訓練の実施、緊急時の受け入れ協力を実施している。	医療的ケアが必要な障がい児の災害時対応は重要な課題であり、受入協力を行い地域を牽引する存在になっていると思われます。今後も継続して関係機関との連携が図られることを期待します。						
7 その他								

報告・評価シート

事業所名	サエラ蔵波							
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 平日の昼間は基本的に外部の事業所を利用している為、グループホームでは日中サービスを提供していない。しかし、精神的に不安定な際や事業所への通所が妥当ではないと判断されたときは、グループホームにて過ごして頂き、日中サービスを提供している。休日は外出等の余暇支援や社会活動への参加、促しを行っている。	利用者全員が外部の日中活動サービスを利用していることで、利用者が希望する日中活動に参加できている点が評価できます。地域の事業所と連携し、社会参加の機会を確保できていると言えます。不安定時等のみ日中サービスを提供しているとのことですが、利用者の状態変化等により、サービスの見直しが必要な場合には、適切な日中活動サービスが今後も柔軟に提供できるよう適切な対応を期待します。						
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 人							
	生活介護 19人							
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 利用者からさまざまな外出の要望が寄せられており、日常的な買い物はもちろん、映画鑑賞や趣味の品物の購入、個人的な旅行にも対応している。また、地域のイベントへの参加時の付き添い支援や、通院、社会生活を送る上での各種手続きなど、地域での暮らしに必要な支援を幅広く提供している。	定期的な外出や行事の実施や利用者個々の要望に沿った対応が窺え、余暇の充実に努めている様子がうかがえます。引き続き適正な運営をお願いします。						
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 1名							
	施設入所支援を利用していたが、本人、保護者より地域以降の希望があり、体験利用を行った。							
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 生活支援員と世話人を変則勤務で常時配置し、利用者の日課全般（食事、入浴、服薬など）の支援を提供している。その他、適宜日常相談を受け付けている。	適切な支援体制が確保されていると思われます。						
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 最近では地域とのつながりが薄れていると言われていたが、蔵波地区では住民同士の結びつきがとても強いのが特徴である。地域のお祭りへの協力や日々の清掃活動、町会の行事参加はもちろん、住民の皆さんが交流できるよう、交流会やグラウンドゴルフ大会なども開いている。ご家族との交流も盛んで、たくさんの方が面会に来ている。ご家族向けの交流会も開催し、一緒に楽しむ機会を設けている。	家族との交流や、すでに地域で開催されているイベントへの参加により、家族や地域とのつながりを重視していることがうかがえます。 また、実習生等の受入も数多く行われており、社会的役割や人材育成への貢献がうかがえます。今後も継続して取り組んでいただくことを期待します。						
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td><td style="width: 30%;">実 習 生：</td><td style="width: 40%;">14人</td></tr> <tr> <td></td><td>ボランティア：</td><td>26人</td></tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生：	14人		ボランティア：	26人
	受け入れ人数		実 習 生：	14人				
			ボランティア：	26人				
実習生について、福祉系、保育系の大学を積極的に受け入れた。ボランティアについては、利用者の余暇支援の補助等を行っている。								
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 併設型短期入所は長期で利用している方がいる状況であるが、入居者が1名退所後は空床を利用して積極的に地域の利用者の受け入れを行っている。	空床利用により積極的な受け入れを実施することで、地域のニーズにも対応しており地域の障がい福祉資源としての重要な役割を担っていることが伺えます。また、受入困難な利用者を受け入れることは、利用者やその家族の安心につながります。引き続き継続して取り組んでいただくことを期待します。						
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 利用していたグループホームを退所して行先の無い方、通所施設での暴力行為により利用ができなくなった方等の受け入れを行っている。							
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援事業所とは密に連絡を取り合いながら、担当利用者の情報提供や定期的なケース会議を実施するほか、在宅者の新規情報等も受けている。サービス提供事業所との連携については、同法人内に通所している利用者が多い為、日々情報共有を行っている。その他のサービス提供事業所とも連携を深め、利用者個々がより充実した日々になる様に努めている。	今後も継続して関係機関との連携が図られることを期待します。						
7 その他	特になし							

報告・評価シート

事業所名	ひまわり	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
1 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。	<p>利用者全員が外部の日中活動サービスを利用していることで、利用者が希望する日中活動に参加できている点が評価できます。地域の事業所と連携し、社会参加の機会を確保できていると言えます。</p> <p>体調不良時のみ日中サービスを提供しているとのことですが、利用者の状態変化等により、サービスの見直しが必要な場合には、適切な日中活動サービスが今後も柔軟に提供できるよう適切な対応を期待します。</p>
	・ 16名が日中活動サービス事業所等を利用され、体調不良などで通所できない時に対応。	
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数： 16人	
	生活介護15名、就労移行支援事業所 1名	
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。	<p>定期的な外出や様々な行事によって、余暇の充実に努めている様子が見えられます。</p> <p>体験利用に関しては、積極的な受け入れが行われることが望まれます。</p> <p>引き続き適正な運営をお願いします。</p>
	・ 入居者様の誕生日外出を実施。	
	・ 鴨川シーワールド外出やスイカ割り、お楽しみランチ、クリスマス会・初詣など GH内外の行事を企画。	
	・ 近隣のコンビニエンスストアや店舗で買い物。	
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。	
	・ 体験利用なし	
3 支援体制の確保について	・ 短期入所を利用し、将来的にGHへの入居時期が来た時に向け準備をしている。	
	・ 日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか	適切な支援体制が確保されていると思われます。
4 地域に開かれた運営について	・ 世話人、生活支援員で日常生活支援が受けられるように行っている。	
	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。	<p>家族との面会や、すでに地域で開催されているイベントへの参加により、家族や地域とのつながりを重視していることがうかがえます。</p> <p>実習生等の受入については、社会的役割や人材育成のため、より積極的に行われることが望まれます。</p>
	・ ご本人やご家族様からの希望時、随時面会や外出外泊の機会を設けている。	
	・ 地区清掃活動に利用者様と参加。	
	・ 地区の祭事時、休憩場所として毎年提供。	
・ 実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数	実 習 生： 2人 ボランティア： 0人
	清和短期大学より保育士実習の受け入れ。	
5 短期入所の併設について	・ 地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	<p>地域のニーズにも対応しており地域の障がい福祉資源としての重要な役割を担っていることが伺えます。</p> <p>また、緊急対応は利用者やその家族の安心につながります。引き続き継続して取り組んでいただくことを期待します。</p>
	・ 毎月定期的にご希望時に受け入れています。	
	・ 緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・ 家庭の都合による冠婚葬祭等の緊急時に受け入れ。	
	・ 入居者の計画相談に伴う、モニタリング時に電話や来所にて入居者の利用状況など情報共有を行っている。	今後も継続して関係機関との連携が図られることを期待します。
	・ 日中活動サービス事業所との連携、情報交換。	
	・ GH支援ワーカー様との情報交換。	
7 その他		

報告・評価シート

事業所名	磯ヶ谷ボルトチャンス								
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価							
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 環境整備の支援・自宅の片付け・清掃等、入浴介助・洗濯の支援、食事の提供・一部介助、医療的支援・医師の往診・看護師医療的ケア・健康相談・作業療法士のリハビリ、病院受診の同行・送迎、訪問歯科・訪問理美容の受け入れ、各種手続きの代行・同行支援、入居者会議の実施、栄養士による栄養・健康相談、金銭管理代行、他科受診の送迎	<p>・精神障害の利用者に対し、医療機関との連携の下、医療面において手厚い支援が実施されている点は評価できる。</p> <p>・日中活動について、外部のサービス提供事業所の利用者が少ないため、利用者に多様な日中活動が提供されるよう地域の事業所等の活用について検討してほしい。</p> <p>・日常生活支援について、入浴の順番を男女で交互にすることや調理の会社をより良いところへ変更するなど、より良い暮らしができるように務めている点は評価できる。</p> <p>・精神障害の特性上、医療、看護、福祉の連携についても同法人の病院が隣接していることから、利用者の体調不良時に即座に対応できる体制があることは1つの利点である。</p> <p>・外部への通所について、生活介護、デイケアなど、積極的に利用を進め、利用者にとってメリハリのある暮らしが提供できるとよい。</p> <p>・GH内で軽作業などのメニューが用意できると良いと考える。</p> <p>・将来的に街中での暮らしを目指す中、病院とは違う環境で生活を整えるための場としての役割を当ホームが担えるとよりよい。</p>							
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 外部の日中活動サービスの利用者人数：7人（デイケア5人、入院中1人、B型1人）								
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 事例：毎週初めに日用品の買い物に送迎・同行支援、定期的に大型スーパーへの買い物、車でドライブに出かける、手芸・ゲーム（カードや将棋等）を行う、季節ごとにイベント（Xmas会等）、施設外への散歩、カラオケ、園芸	<p>・磯ヶ谷病院と連携し、入院患者のグループホームの体験利用を実施し、入院患者の地域移行に寄与している。</p> <p>・病院の送迎バスを使い、五井などで出かけられる方は、自由に外出できる環境が良い。また、介助を必要とする方についても、買い物やドライブなどの外出があることも良い。</p> <p>・四季に合わせた行事がGH内実施され、さらに行事の様子をGH内に張り出されることも良い。</p>							
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。 2人								
	体験は1回のみならず、数日・数回に分け入居まで本人納得できるようにしている。								
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 当施設のシフトは全日均一に整え、入居者に対応している。夜間も2人体制、看護師も常勤して医療体制も整っている。	<p>・同性介護の対応が出来ていない部分があるので、同性介護が提供できる支援体制の構築が望ましい。</p> <p>・医療法人による運営ということで、看護師のフォローが手厚いように見える。スタッフの人数も現在のところ確保できている。</p>							
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 特に行っていないが、家族会等も検討中。	<p>・今後、地域とのつながりを積極的に行われることに期待する。</p> <p>・市原刑務所、市原青年矯正センター、磯ヶ谷地区、川在地区など、近隣の機関や町会とは何か、一緒に出来ることを1年に1回でも、1つでも良いのでGHとして探していけると良い。</p> <p>・ボランティア、実習生の受入がないことは問題と捉える。ボランティアセンターへの登録を行い、受入を増やし外部の目を入れることで閉鎖的なGHにならないように努めてください。</p>							
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。								
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-bottom: 1px solid black;">受け入れ人数</td> <td style="width: 30%; border-bottom: 1px solid black;">実 習 生：</td> <td style="width: 40%; text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">ボランティア：</td> <td style="text-align: right; border-bottom: 1px solid black;">0人</td> </tr> </table>			受け入れ人数	実 習 生：	0人		ボランティア：	0人
	受け入れ人数			実 習 生：	0人				
	ボランティア：	0人							
現在の実績は無いが、希望があれば受け入れも可能。									
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 受け入れは条件によって可能。問い合わせも来ている。	<p>短期入所の定員が5名もあることは、相談員を始めあまり知られていない可能性がある。家族会などを通じて広報し、利用者がGHの暮らしにより近い環境の短期入所を利用経験することで、将来の親亡き後の選択肢として、GHが1つの選択になることを期待する。</p>							
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 受け入れは条件によって可能。								
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	事例（一部非公表） 入居者の転居希望に、関係者会議を行っている。		各関係機関と連携を図り、話し合いながら問題解決をしている様子が伺えた。						
7 その他	各機関が制度や役割が不明確な所がある為、責任の所在が難しい。								

報告・評価シート

事業所名		第2クローバー学園オハナ館	
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価	
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 日常生活に必要な支援の他、制作活動、個別課題、ドライブ、散策を日課の中で取り入れている。 外部ボランティアによる習字教室、ヨガクラブ、アロママッサージ、耳掃除等の実施。職員によるネイルやメイク、ハンド・フットマッサージ、巻き爪ケアを実施している。 永野病院の往診、永野歯科医院による訪問歯科、白金整形外科による訪問リハを利用し、健康的に過ごせるようできる限りのサービスを提供している。食事は（朝）ジョイントの食材を配送して頂き、1日3食提供している（刻み食、トロミ食、ソフト食）本体施設の栄養士、施設長に給食会議や食事作りに入ってもらい、食事提供のアドバイスや相談ののってもらっている。	・地域で他分野の領域との関係性を構築し、創意工夫のもと多彩な日中活動を実施していることは、評価できる。 ・個性の高い活動と、全体での活動のバランスがとれている。幅広い活動内容であることから、利用者が楽しんで日々暮らしていることが分かる。入所ではなく、GHの暮らしだからできることを意識して活動していることが伺える。 ・十分に職員を配置し、細部に行き届いた支援が実施されている。 ・医療的な支援では、看護師を配置するとともに、訪問診療や訪問リハ等活用、通院同行も実施し、手厚い支援を行っている。 ・食事について、決まったところからの提供により、安定した食事提供ができる一方、味の変化がないことや利用者にとって飽きが生じる可能性もある。月に数回、カレーやシチューや鍋などの変化があるとより良い。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について		
	外部の日中活動サービスの利用者人数：6人		
	第2クローバー学園 生活介護利用 農耕班、園芸班、手芸班、運動班の作業活動や行事に参加		
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 SDGsとしての取り組みとして、福祉ショップぶんぶんや農耕班、地域の方から規格外や返品となった野菜や果物を頂き、食事やおやつ作りに活用し、入居者の楽しみのひとつとなっている（食材の高騰もあり、大変助かっている） おやつデリバリー（キッチンカー）、近隣の公民館等での開催イベントへの参加、外部ボランティアによるイベントの開催、個人の買い物やグループホームの食材の買い出しは日課となっている	・地域とのつながりを強く感じられる。地域交流スペースを持っており地域住民の活動に開放しているほか、マルシェやイベント等、様々な出会いをきっかけにして、積極的に繋がりを形成している。そのつながりがスタッフの確保や利用者の活動に結びついています。また、バックアップ施設からの差別化に努めており、独自性を確立しようという意気込みが見られる。 ・外部のボランティアとタイアップし、創意工夫し、多様な余暇支援を実施していることは、高く評価できる。	
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。	・短期入所を活用し、サービスの体験利用を実施し、他のGH利用者と同様の支援を行っていることは評価できる。	
	8名		
	在宅の方で将来入居を希望されている方、自宅での対応が困難な方、自宅での入浴が困難な方		
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 平日、土日とも、日中、夜間を通し10名以上の生活支援員、世話人、看護師を配置、夜勤は各ユニットに職員1名を配置し2名体制で行っている。 感染症発生時には支援と調理のチーム体制を作り、それぞれが直接接しない感染症対策を取り支援体制の確保を行っている。	・5:1の基準のところ、2:1の職員配置がされている。また、職員は施設入所支援の経験者が担っており、職員の支援体制を十分に確保した上で、質の高いサービスが提供されていることが伺える。 ・本部や法人が運営する他事業所とオンラインによるミーティングを実施し、連携が図られている。 (一部非公表)	
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 【家族】コロナが5類となってから、面会、外出、帰宅を再開している。毎月おたよりと一緒に個々に写真を同封したり、SNSで活動を積極的に配信している。 【地域】地域交流スペースの貸出を実施し、講座、教室、打合わせ等に利用して頂いている。裁縫の集まりの方に入居者さんの衣類の繕い物やウクレレサークルの方にはミニコンサートをやって頂いた（貸出回数 38回 228名）	・施設内のスペースを地域の方に貸し出し場の提供を行うなど、日頃の地域との交流が行われている。 ・家族（親）も高齢化していることから、行事への参加や外泊など、徐々に難しくなるのではないかとと思われる。今後、身寄りのない利用者の対応に準備や必要と考えられる。 ・ボランティアや実習生も積極的に受け入れており、実習をきっかけに入職している実績もあり、地域交流とグループホーム運営が好循環を形成している。	
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数	実 習 生： 12人 ボランティア： 62回 84人	
	【実習】教育実習（保育士）、社会福祉士実習、福祉体験 【ボランティア】習字講師、アロマセラピスト、美容師、耳掃除、ヨガインストラクター、楽器演奏（ウクレレ、ハーブ、ギター）、フラダンス		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。	・市からの緊急時の受入れの要請に対応するため、日頃から短期入所の枠を確保するようにしている点は、拠点事業の推進の観点からも評価できる。 ・短期入所の受け入れについて、緊急性の高いケースも対応できています。市内の女性の短期入所枠が少ない中、柔軟な対応ができています。
	実施している	
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	
	保護者の緊急入院に伴い家庭での対応が難しいケースの依頼を受け、予定していた短期入所利用を調整して受入れを行った。	
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	モニタリングや定期的に支援会議を実施している。 他事業所からの見学希望があった場合には、随時受入れを行っている。市原市GH管理者会に参加し、管理者、生活支援員、世話人研修への参加、他圏域のケースワーカーの見学依頼を受け実施した。	・相談支援専門員と個別支援計画書等の情報共有できている。 ・圏域内の集まりにも積極的に参加する様子があり、見学先として受け入れるなど協力的である。 ・医療との連携についても、訪問診療（精神科、歯科）などを活用して、利用者の健康管理に意識が高く持っている。
7 その他	地域連携推進会議を令和7年1月に開催予定で準備を進めています。	毎月防災訓練を実施するなど、利用者や職員の安全対策に高い意識が持っている。

報告・評価シート

事業所名	グループホームふわふわ市原菊間					
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
1 利用者の主な日中の活動について	・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ・食事・入浴・排せつ介助等日常生活に関する支援の提供、日中活動の提供 ・（室内）ぬり絵、毎月のカレンダー等掲示物作成、行事用の装飾作成 ・（外出）散歩、買い物	・GH内でレクや創作活動の実施はできていた。GH内に活動で作成した掲示物もあった。 ・無断外出をしてしまうことで日中の受け入れ先がなく、GHで過ごしている方がいた。地域の通所事業所で受け入れ先が本当にないのか、基幹相談センター等へ相談があると良い。				
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について					
	外部の日中活動サービスの利用者人数：5人					
	（主な外部の日中活動サービスの種類について） 生活介護					
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・買い物支援、外部受診付添い対応、昼食外出支援 ・定期的な行事の企画（誕生日会、ハロウィンパーティ、カラオケ大会、クリスマス会など）	・地域のクリーン活動への参加意欲は感じられたが、実施に至っていない。まず、少人数で短時間でもよいので、参加できると良い。 ・近隣の高齢者施設との合同行事など、狭いコミュニティであるが、関係づくりを目指す様子は伺えた。 ・本入居を前提としない体験利用について、短期入所を活用した事例があったことは評価できる。				
	・体験的利用等のニーズに対応しているか。					
	（これまでの体験利用者の人数） 10人					
	（体験利用の事例について） ・退院後の生活の場を探している等					
3 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか ・現在は1階（A棟）1ユニットのみご利用者様が入居されています。日中は1ユニット2名～3名の体制を確保し、夜間は1ユニット夜勤1名体制を確保しています。9:00～15:00までの時間帯を手厚く体制を整えて、入浴介助、見守り、レクレーションなど職員の役割を決めて支援を行うよう努めています。	・職員はギリギリの状態であると感じた。 ・今後、新たな職員の確保を行う必要がある。また、在職している職員が離職しないよう対策として、面談を行う予定であったが、計画的かつ定期的に行うことが必要である。 ・令和5年度、事故報告が3件あった。職員の不足等を原因とする事故が生じることのないよう、支援体制の確保を求める。				
4 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご利用者様のお散歩の支援時に近隣の方々に挨拶を行い、ご利用者様が近隣の方々等地域の方たちとふれあいながら暮らしていただけるよう努めています。 ご家族様との交流について、利用者様の生活状況等について電話にて定期的にご報告を行っています。	・町会に加入し、地域との交流を試みていることは、評価できる。 ・ボランティアの受け入れをすることで、外部の目がある事は重要であるため、すぐにでも、実施したほうがよい。 ・ボランティアは地域（若宮や菊間）の方を中心に受け入れ、地域にも根ざした形で行うと良い。 ・ボランティアセンターの活用や、帝京平成大学等に出向きボランティアの募集を行う等の取組があるとよい。				
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受け入れ人数</td> <td>実 習 生： 0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア： 0人</td> </tr> </table>		受け入れ人数	実 習 生： 0人		ボランティア： 0人
	受け入れ人数		実 習 生： 0人			
	ボランティア： 0人					
（受け入れの事例） ・今後、検討していきたいです。						
5 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・地域の特別支援学校より短期利用の要望があり積極的に受け入れております。 受入実績 千葉市より1名 市原市より2名 大網白里市より1名	・まず、人員確保を行い、現在、入居している利用者が安全で安心できる暮らしが整ってから、再開するほうがよい。 ・介護者の急な不在による緊急の短期入所の需要が一定するため、緊急時に空床があれば協力をお願いしたい。				
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。					
	・ご家族の入院等、レスパイトなどで対応可能です。 受入実績 市原市より2名 千葉市より1名 大網白里市より1名					

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>・定期的に相談員にご連絡し、利用者様の近況報告を行っています。課題がある場合などは多職種で連携を図れるようWeb会議等も用いて課題解決に努めております。</p>	<p>・訪問看護や居宅介護、通所（週1回でも）などを活用し、GHだけで暮らしが完結しないように暮らしをコーディネートできることをのぞむ。課題や問題発生時、必要に応じて、GH等支援ワーカーの活用をすすめる。</p> <p>・計画相談が遠方についていないため、セルフプランの方が数名いる。日中サービス支援型を利用する重度の方や高齢の方は、なかなか自らの主張が難しいことを考えると、丁寧に要望や希望をくみとり、支援の実施をするためにも計画相談は必要と考える。</p> <p>・入居者全員、援護地が市原市外である。市原市の相談支援事業所、基幹相談センター等と連携を図り、市内のニーズを把握し受け入れることを期待する。</p>
7 その他	<p>①職員を研修に参加させているか。</p> <p>②本部と現場との連携体制を確保しているか。</p> <p>③今回の件を受け、組織として、改善や改革などは実施されたか。</p> <p>④その他</p>	<p>①職員のスキルアップ、職場定着につなげるための研修の実施は必須である。また、外部への研修参加も必要である。</p> <p>②会社と現場職員との連携がまだまだ足りていない。WebやLINE等だけでなく、対面での実施が良い。</p> <p>③食材料の発注方法を変更するなど、本部で対策が講じられた。</p> <p>④・昨年度の実績で計算した場合、利用者が17名で計算すると人員が足りない計算である。</p> <p>・重度の方、高齢の方を受け入れることが本来の目的である日中サービス支援型であり、半数以上が区分5以上であることは一定の評価ができる。</p>

報告・評価シート

事業所名	ドットホーム市原（医療対応型障がい者グループホーム）					
項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
1 利用者の主な日中の活動について	・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ・ 排泄介助、食事提供等の日常的支援	<p>・ 受け入れ先が少ない身体の方や重心の方、医ケア対応の方等を積極的に受け入れていることは高い評価ができる。</p> <p>・ 同性介助がなされていない。極力同性介助が実施できるように努めるべきである。また、異性介助の際は、複数で支援するように環境づくりが出来ると良い。</p> <p>・ 食事について、安価に提供できていることは企業努力が感じられた。一方で毎回同じ形態での提供にならず、変化がつけられると、利用者の楽しみにつながると考えられる。</p>				
	・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について					
	外部の日中活動サービスの利用者人数：10人					
	（主な外部の日中活動サービスの種類について） ・ 生活介護事業所					
2 利用者に対する地域生活の支援状況について	・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ・ 現在行っていない、余暇活動に関しては生活介護事業所の提案を行っている。	<p>・ イベント等の活動は行っていないと報告がある。理由としては、希望者は日中のサービス（生活介護等）につなげているとのことであった。日中のサービスを利用していない方は、部屋で各々過ごしていると報告があった。集団での活動や決まった活動に参加できない方もいることは理解できるが、健康を維持するためにも、日中の活動の支援の幅が増やせると良い。</p>				
	・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。					
	2人					
	・ 入居前の体験					
3 支援体制の確保について	・ 日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか ・ 確保されている。					
4 地域に開かれた運営について	・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ・ 家族の面会は24時間可能、地域住民との交流機会は無いが、問い合わせには対応している。（実績：1件）	<p>・ 祭りなど地域のイベントの有無を確認しておらず、地域生活へ向けての運営が意識されていない。隣の高齢者施設とのイベント開催や合同での防災訓練など、互いに助け合える関係づくりができると良い。</p> <p>・ 実習生・ボランティアの受け入れがない。立地上受け入れが難しいことは理解するが、実習生等の受け入れで外部の目が入ることで、支援の質の向上につながることも考えられるため、受け入れについて検討していただきたい。</p>				
	・ 実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。					
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">受け入れ人数</div> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実 習 生：</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0人</td></tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ボランティア：</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0人</td></tr> </table> </div>		実 習 生：	0人	ボランティア：	0人
	実 習 生：		0人			
ボランティア：	0人					
・ 受け入れ無し						
5 短期入所の併設について	・ 地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 ・ 受け入れている。	<p>しっかりと利用希望者の状況を踏まえて、受け入れの可否を決めている様子が伺えた。今後も、緊急性の高い事案に関しては、受入からその後の対応までをGHのみで行わず、市、または関係期間と連携を図り対応できると良い。</p> <p>緊急時に短期入所利用が未経験でないように、日頃から積極的に多数の方の受け入れができると望ましい。</p>				
	・ 緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。					
	・ 対応している、空きがあれば可能。					
6 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	・ サービス担当者会議の開催	・ 日中の活動先、訪問系サービスとの情報共有が少し足りていない。利用の前後や送迎時に、活動の内容、本人の様子など、日常的に互いに情報交換できる習慣があるとよい。				
7 その他						